

Hondaナビゲーションシステム取扱説明書

Gathers *Honda Multi Car-AV System*

デュアルサイズHDDナビコンポ

VXH-088CV

オーディオ編



Honda Access

この説明書はオーディオの操作について説明しています。
ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役立てください。

- 本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作につきましては、別冊の取扱説明書 ナビゲーション編をお読みください。
- 本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

機能

CD/DVD

Music Rack

VTR

Digital TV

FM

AM

M.S.

USB

DSP/SRS CS Auto・イコライザ・MP3/WMA

※上記表の■はAVソース画面に表示される各モードボタンを表します。

※M.S.とはメモリースティックモードのことを表します。

- 本製品には、株式会社リコーがデザイン制作したリコーJetフォントを使用しております。

このシステムでできること

はじめに／共通……………P11～43

- 本機を正しく使うための説明
- 映像やオーディオの調整
- カスタマイズソースの設定

など

録音設定／データ管理……………P45～71

- 録音方法（手動／自動）の選択
- 録音のしかた
- HDDの情報
- 画像の変更や追加
- ローカル／カスタムアップデート
- データの初期化

など

CD……………P73～83

- CDを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生

など

Music Rack……………P85～123

- Music Rackを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生
- 選曲メニュー（アルバム名／アーティスト名／ジャンルなど）から曲を選択する
- お気に入り登録
- タイトル情報の上書きやタイトル名の編集（変更）

など

MP3／WMA……………P125～139

- MP3／WMAを聞く
- フォルダや好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート再生

など

ラジオ……………P141～149

- ラジオを聞く
- バンド（AMまたはFM）を選ぶ
- 手動／自動／エリア／プリセット選局
- 道路交通情報を聞く

など

映像 DVD／テレビ／VTR ……P151～239

- DVDを再生させる
- 地上デジタルテレビ放送を見る（12+1セグ／ワンセグ）
- VTR機能を使う

など

M.S.／USB……………P241～286

メモリースティック／USBメモリデバイスに収録されているトラックを聞くことができる

その他……………P287～320

- カスタマイズ機能
- システム設定
- リアモニターについて（別売）
- 故障かな？と思ったときの対処方法や用語説明

など

※詳しくは各々のページを参照してください。

はじめに／
共通

録音設定／
データ管理

C
D

M
u
s
i
c
R
a
c
k

M
P
3
／
W
M
A

ラ
ジ
オ

映像
DVD
／
V
T
R
／
テ
レ
ビ

U
M
S
B
／

そ
の
他

目次(1)

はじめに／共通

P11~

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
メモリースティック／USBメモリ デバイスについて	16、17
オーディオ／テレビ／ラジオの 設定について	18
DVDビデオについて	19
はじめに	20、21
AVソース画面のモードボタンについて	22
AVメニュー画面について	23
音声はそのまま、 ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
映像の調整のしかた	27~29
画質調整を初期値に戻すには	29
メニューの配色を変える	30、31
オーディオの調整をする	32~41
音場(臨場感)を変えるには	32~34
パラメトリックイコライザ(音質)を 変えるには	35~37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整を するには	40、41
カスタマイズソース(Quick)を 設定するには	42、43

録音設定／データ管理

P45~

録音方法の手動／自動を選択する	46
録音する	47~51
本機のMusic Rack(HDD) 機能について	47
Music Rack(HDD)への 録音について	48
録音速度を選択し、録音方法／ 録音音質を選択する	49~51
データ管理	52~71
Gracenoteデータベースタイトル 情報追加の流れについて	52、53
Gracenoteデータベースの 更新をするには	54~58
Gracenoteデータベースのデータを 初期化するには	59
音楽データの修復をするには	60
音楽データの初期化をするには	61
HDDの情報を知る	62
画像を変える	63~65
画像を追加する	66~68
画像をメモリースティックに コピーする	69~71

CD

P73~

CDプレーヤーを使う	74~83
各部の名称とはたらき	74
表示部(再生画面)について	75
CDを聞く	76、77
CDモードを終了する	78
CDを取り出す	78
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ 選曲する(トラックを戻す／進める)	79
早戻し／早送りをする	79
再生モードを選択する(リピート／ ランダム／スキャン再生)	80、81
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	82、83

Music Rackを使う	86~123
各部の名称とはたらき	86
表示部(再生画面)について	87
Music Rackを聞く	88、89
Music Rackモードを終了する	89
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ 選曲する(トラックを戻す／進める)...	90
早戻し／早送りをする	90
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	91
選曲メニューより選択し 再生させる	92~99
再生モードを選択する(リピート／ ランダム／スキャン再生).....	100~103
再生中の曲を お気に入り登録する	104、105
再生中の曲のジャンルとミュージック エスコートを設定する	106、107
好きなアルバムを選ぶ	108
アルバムリストの編集 (曲管理)	109~115
トラックリストの編集 (曲管理)	116~121
お気に入りを管理する	122、123

ラジオを使う	142~149
各部の名称とはたらき	142、143
表示部について	143
ラジオを聞く	144
ラジオモードを終了する	145
プリセットを選ぶ	145
選局する	146、147
プリセットボタンにメモリーする...	148
交通情報を受信する	149

MP3 / WMAについて	126~131
MP3 / WMAを使う	132~139
各部の名称とはたらき	132
表示部(再生画面)について	133
MP3 / WMAを聞く	134、135
MP3 / WMAモードを終了する	135
MP3 / WMAディスクを取り出す...	135
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	136
早戻し／早送りをする	136
好きなフォルダを選ぶ	137
再生モードを選択する (リピート再生)	138、139

目次(2)

D V D	DVDプレーヤーについて ……152、153
	DVDプレーヤーを使う ……154～175
P151～	各部の名称とはたらき ……154～156
	再生を始める ……157～159
	DVDモードを終了する ……159
	DVDディスクを取り出す ……159
	再生を停止する ……160
	再生を一時停止(静止)する ……161
	再生中にチャプターを戻す／進める ……162
	早戻し／早送りをする ……162
	コマ戻し／コマ送りをする ……163
	スロー戻し／スロー送りをする ……163
	DVDメニューを使う ……164、165
	タイトルメニューを使う ……166、167
	好きな所から再生する (サーチ選択) ……168、169
	音声言語／字幕言語を切り替える…170
	時間の表示を替える ……171
	リピート(繰り返し)再生する……172
	アングル(角度)を切り替える……173
	VRモードディスク内の映像をリストより 選択し再生させる ……174、175
	DVDの初期設定について ……176～183
	各部の名称とはたらき ……176
	初期設定を変更する ……177～183

テ レ ビ (デ ジ タ ル T V)	テレビについて ……186、187
	地上デジタルテレビ放送について…186
P185～	地上デジタルテレビ放送の 番組受信について ……187
	B-CASカードについて ……188、189
	B-CASカードについて ……188
	B-CASカードを入れる／取り出す…189
	B-CASカードに関する お問い合わせ先について ……189
	Digital TVを使う ……190～235
	各部の名称とはたらき ……190～194
	パネル部について ……190
	パナー表示について ……190、191
	タッチパネル部のボタンに ついて ……192、193
	デジタルメニューについて ……194
	Digital TVモードにする ……195、196
	Digital TVモードを終了する ……196
	視聴エリアの変更 (地方／県域の設定をする)…197、198
	MFNサーチを実行する ……198
	エリアスキャンをする ……199
	チャンネルスキャン画面に ついて ……200、201
	選局する ……202～205
	番組表を見る ……206、207
	自宅チャンネルリスト／お好みチャン ネルリストを呼び出す ……208、209
	映像を切り換える ……210
	音声を切り換える ……211
	字幕表示を切り換える ……212
	チャンネル表示の設定……213
	郵便番号設定 ……214
	文字スーパーを切り換える ……215
	現在地確認設定 ……216、217
	受信モード(ワンセグ・12セグ・ 切換えなし)の設定をする ……218、219
	アンテナ電源の設定をする…220、221
	受信可能な放送局(チャンネル)および 受信レベルを確認する ……222、223

B-CASカード(ICカード)の	
テストをする	224、225
放送局からの情報を見る	226～228
設定を初期化する	229
データ放送を利用する	230～232
リレーサービスの番組を見る	233
臨時サービスの番組を見る	233
緊急放送を見る	234
エラーコードについて	235

VTR機能を使う	238、239
----------	---------

目次(3)

M.S.

P241~

(メモリスティック)

メモリスティックの音楽再生について	242~244
メモリスティックを使う	245~262
各部の名称とはたらき	245
表示部(再生画面)について	246、247
メモリスティックを聞く	248、249
M.S.モードを終了する	249
メモリスティックを取り出す	249
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	250
早戻し／早送りをする	250
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	251
選曲メニューより選択し再生させる	252、253
MP3／WMA／AACの再生モードを選択する	254~257
メモリスティックPROオーディオの再生モードを選択する(OMA)	258~261
好きなフォルダを選ぶ(MP3／WMA／AACの場合)	262
好きなアルバムを選ぶ(メモリスティックPROオーディオの場合)	262

USB

P263~

(USBメモリデバイス)

USBメモリデバイスの音楽再生について	264~266
USBメモリデバイスを使う	267~286
各部の名称とはたらき	267
表示部(再生画面)について	268、269
USBメモリデバイスを本機に接続するには	270
USBメモリデバイスを聞く	270、271
USBモードを終了する	271
USBメモリデバイスの接続をやめるには	271
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	272
早戻し／早送りをする	272
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	273
選曲メニューより選択し再生させる	274~277
USBフラッシュメモリの再生モードを選択する(MP3／WMA／AAC)	278~281
ウォークマンの再生モードを選択する(OMA)	282~285
好きなフォルダを選ぶ(USBフラッシュメモリの場合)	286
好きなアルバムを選ぶ(ウォークマンの場合)	286



はじめに／共通

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
メモリースティック／USBメモリデバイスについて	16、17
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	18
DVDビデオについて	19
はじめに	20、21
AVソース画面のモードボタンについて	22
AVメニュー画面について	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
映像の調整のしかた	27～29
画質調整を初期値に戻すには	29
メニューの配色を変える	30、31
オーディオの調整をする	32～41
音場（臨場感）を変えるには	32～34
パラメトリックイコライザ（音質）を変えるには	35～37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
カスタマイズソース（Quick）を設定するには	42、43

本機で再生できるディスク

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL		
		MP3	WMA	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※ はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CDG
- フォトCD
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SA-CD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態
- ディスクと本機の相性
- 記録に使用したレコーダによって
- CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3/WMAにつきましては「」 「MP3/WMAについて」 126～131ページをご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R/RWにビデオレコーディングモード（VRモード）で記録されたディスクを再生できます。
▶ 153、174、175ページ
 - BSデジタル、地上デジタルテレビ放送、一部のスカイパーフェクTVなどの「一回だけ録画可能（コピーワンス）」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RWにビデオレコーディングモードで記録されたものに限り可能です。
※DVD-R DLのVRディスクは再生できません。
：再生可能なディスクの一覧は153ページを参照ください。
- ※ファイナライズ処理が必要な場合があります。未ファイナライズのDVD-RのVRモードには対応していません。
- ※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、正常に再生できない場合があります。
- ※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。

■dts-CD（dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD）について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

ディスクレーベル面（印刷面）に[CDロゴ]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクやCDリングプロテクターを装着したディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■Dual Discについて

本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2007 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright©2000-2007 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください

[:www.gracenote.com/corporate](http://www.gracenote.com/corporate)



デトハイス

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク認識を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されること以外でのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意する。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。**Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。**GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

メモリースティック／USBメモリデバイスについて

■ “Memory Stick” 及び  はソニー株式会社の商標または登録商標です。

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“メモリースティック”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはメモリースティック、USBメモリデバイスは付属していません。

■2GBまでの容量の“メモリースティック”、または“メモリースティックPRO”に対応しています。ただし、パラレルデータ転送(高速データ転送)機能には対応していません。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATrac AD対応のウォークマンです。USBフラッシュメモリとATrac AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作補償できません。  264ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- メモリースティックのフォーマットは本機で行なってください。

 「システムの設定について」290、291ページ

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“メモリースティック Duo”／“メモリースティックPRO Duo”を使用する場合は、メモリースティック Duoアダプター／メモリースティックPRO Duoアダプターをご使用ください。

■“メモリースティック Duo”／“メモリースティックPRO Duo”をメモリースティック Duoアダプター／メモリースティックPRO Duoアダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。

■“メモリースティック Duo”／“メモリースティックPRO Duo”をメモリースティック Duoアダプター／メモリースティックPRO Duoアダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

■メモリースティック Duoアダプター／メモリースティックPRO Duoアダプターに“メモリースティック Duo”／“メモリースティックPRO Duo”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使い方をすると、機器に不具合が生じることがあります。また、“メモリースティック Duo”／“メモリースティックPRO Duo”が取り出せなくなる可能性があります。

■“メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をM2 スタンダードサイズアダプターに入れてからお使いください。

■M2 スタンダードサイズアダプターに装着されていない状態で挿入されると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。

■M2 Duoサイズアダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック Duo アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。M2 スタンダードサイズアダプターをお使いください。

■メモリースティック挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。メモリースティックやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■ “メモリースティックPRO” ／ “メモリースティックPRO Duo” をご使用の場合に、メモリースティックPROオーディオ (M.S.PROモード) の再生が可能です。

■ メモリースティックへのデータ書込中やHDDにデータ転送中、メモリースティック／USBメモリデバイスのデータ読み込み中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチをO (OFF) にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■ 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、メモリースティックやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 本機は右記(*)のマークの付いたメモリースティックを使用して下記機能を使用することができます。

*



- Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」52～58ページ
- 画像の追加やコピー  「画像を追加する」66～68ページ
「画像をメモリースティックにコピーする」69～71ページ
- 音楽再生  241～262ページ
※対応可能なメモリースティックと再生につきましては243ページを参照ください。

■ 本機はUSBメモリデバイスを使用してローカルアップデートと音楽再生をすることができます。

- ローカルアップデート  「Gracenoteデータベースの更新をするには」54、55ページ
- 音楽再生  263～286ページ

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音はいる場合があります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。受信状態が悪くなったら、受信状態の良いものを選局してください。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- テレビの受信は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信や携帯受信(ワンセグ)などの放送方式や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパーやエアコンのFANを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



DVDビデオについて



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕



■DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバース

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts

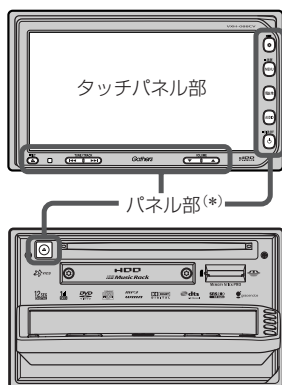


DTSおよびDTS2.0は、DTS, Incの商標です。

共通に
／

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について
／
DVDビデオについて

はじめに



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“〇〇ボタンをタッチする”
パネル部*のボタンはパネルの“〇〇ボタンを押す”と記載しています。
(*：使用するボタンは白色表示しています)

※本書のマークについて

-  ……本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、
知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
-  ……画面上でタッチパネル操作を表します。
-  ……操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。
-  ……操作を行なった結果を説明します。
-  ……パネル部のボタンを表します。
-  ……タッチパネル部のボタンを表します。

- パネル部の詳細につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編
43ページを参照ください。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはCD/DVD/Music Rack/VTR/Digital TV/FM/AM/M.S./USBモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (21ページ)へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切ったとき(車のエンジンスイッチを O (OFF) に入れたとき)に表示していたモードの画面になります。

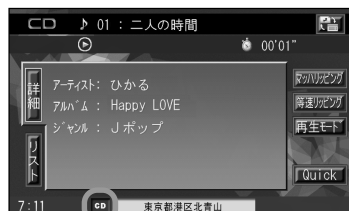
※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書 ナビゲーション編42ページを参照してください。



起動初期画面



モード表示画面(CDモード画面(例))



アイコン表示(CDモード選択中)

- | | | |
|---|---|---|
|  ……CD/MP3/WMAモード |  ……DVDモード |  ……Music Rackモード |
|  ……VTRモード |  ……Digital TVモード |  ……FMモード |
|  ……M.S.モード |  ……USBモード |  ……AMモード |



注意

I (ACC) (エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーションモード画面または他のモードが表示された場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AVソース画面のときは…

②にすすんでください。

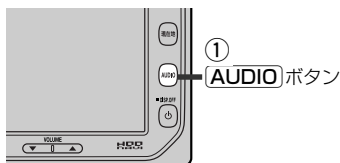
□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

②操作したいモード(**CD/DVD** / **Music Rack** / **VTR** / **Digital TV** / **FM** / **AM** / **M.S.** / **USB**) ボタンをタッチする。

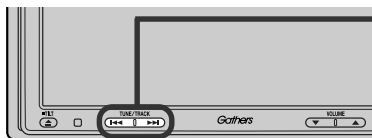


AVソース画面（例）



■ 操作したいモード画面が表示された場合

73～286ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。



●各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック ボタン…CD／MP3／WMA／Music Rack／M.S.／USB

選局 ボタン……Digital TV／FM／AM

スキップ ボタン…DVD

設定の保持について

決定 ボタンのある画面では、**決定** ボタンをタッチすると設定が保持されます。

決定 ボタンをタッチしないで **戻る** ボタンをタッチまたは **メニュー** / **現在地** ボタンを押すと設定は保持されません。

※ **決定** ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定（設定保持）となります。

（例：映像／オーディオ調整など）

AVソース画面のモードボタンについて

選択可能モードはアイコンが黄色表示*1



選択不可能モードはアイコンおよびモードが灰色表示



*1印：メモリースティック未挿入／USB未接続の場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

※USB接続コードを本機に接続し、USBメモリデバイスを接続していない場合

*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可となります。

※モードボタンの色はメニュー配色の設定より変更できません。[P.30、31ページ]

●CD/DVD表示について

CD/DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD/DVD未挿入時*2



CD/DVD選択再生後にディスクを抜いた時*3



CD/MP3/WMAディスクを挿入し再生時



DVDディスクを挿入し再生時



アドバンス

●各モードボタンをタッチすることによって各々のモードへと切り替わります。

CD/DVD = CD/DVD/MP3/WMAモード

Music Rack = Music Rackモード

VTR = VTRモード

Digital TV = Digital TVモード(地上デジタルテレビ放送)

FM = FMモード(ラジオモード)

AM = AMモード(ラジオモード)

M.S. = M.S.モード

USB = USBモード

※ **CD/DVD** ボタンはディスク挿入の有無によって **CD** ボタン、**DVD** ボタンと表示が変わります。

※ **M.S.** を操作するにはメモリースティックを本機に挿入しておく必要があります。

※ **USB** を操作するにはUSB接続コード(別売)とUSBメモリデバイスを本機に接続しておく必要があります。

AVメニュー画面について

AVメニュー画面は選択するボタン(**AUDIO設定** / **システム設定**)によってAUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

AUDIO設定のAVメニュー画面



システム設定のAVメニュー画面(例)



※AVメニューは最終選択時の状態を保持するため、状態によっては **AUDIO設定** または **システム設定** ボタン選択の操作は省略することができます。

※ **システム設定** ボタン選択時に表示されるAVメニューの各機能につきましては、 「システムの設定について」 290、291ページを参照ください。

はじめに
共通

「AVソース画面のモードボタンについて」
「AVメニュー画面について」

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1

各モードの画面で、
パネルの **現在地** ボタンを押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

CDモード画面(例)



1 **現在地** ボタン

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、今聞いているモードの操作が可能になります。

再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、
パネルの **現在地** ボタンを押してください。

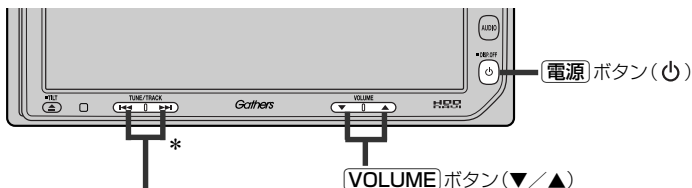


① **AUDIO** ボタン



アドバース

● 音量調整 (**VOLUME** ボタン)や◀▶を使っての操作やAV OFF/ON (**電源** ボタン)は、ナビゲーション画面のままでできます。



トラック ボタン / **選局** ボタン / **スキップ** ボタン (◀▶)

* 用途によって呼び名が変わります。

☞ 21ページアドバース参照

音声はそのまま、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

- 1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を2秒以上押す。
：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

CDモード画面(例)

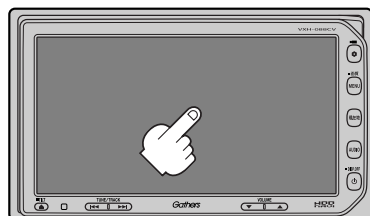


1 **電源** ボタン(⏻)

再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度 **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



アドバイス

音声はそのまま選択中モードの情報(トラック名や再生時間、時計表示など)を一部残し広範囲を壁紙表示にすることができます。

「壁紙を表示する」289ページ

はじめに

「ナビゲーション画面を表示する」
／
「画面を消す」

音量を調整する

CDモード画面(例)



音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(0～40)を示すVOLUMEが表示されます。
VOLUME表示は約2秒間表示されます。

1 VOLUME ボタン(▼/▲)

1

パネルのVOLUME ボタン(▼/▲)を押す。

▲側：音量が大きくなります。

▼側：音量が小さくなります。

※押しつづけて調整することもできます。



アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。
別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「音声案内の音量を調整するには」218、219ページ
- DVD/VTRモードの場合、音量は個別に設定できます。
※CDモードで音の大きさを“13”にした場合、MP3/WMA/Music Rack/Digital TV/FM/AM/M.S./USBモードも音の大きさは“13”となります。DVD/VTRモード時はもとの大きさを保持します。
- OPTION ボタン(🔊)にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 245、246ページ

映像の調整のしかた(1)

CD/MP3/WMA/Music Rack/ラジオ(FM・AM)/M.S./USBモード画面のとき、明るさ/コントラスト調整ができます。DVD/VTR/Digital TVモード画面のときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い調整/ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ/コントラスト調整となります。)



アドバンス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル/フル/ワイド/シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ/コントラスト調整となります。
- 画質は、CD/MP3/WMA/Music Rack/ラジオ/M.S./USBの画面、DVDの画面、VTRの画面、Digital TVの画面で別々に調整することができます。

はじめに

音量調整

映像調整

1

パネルの **[MENU]** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 **[MENU]** ボタン

2

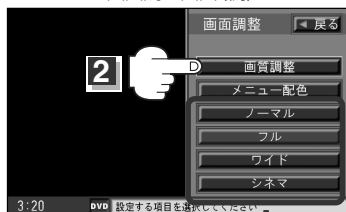
画面の **画質調整** ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

※ディスプレイ選択をする場合は29ページ

- **ディスプレイ選択の場合** を参照してください。

画面調整画面(例)

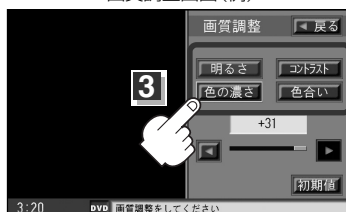


DVD/VTRモード画面の場合に表示されます。
(ディスプレイ選択*)

3

調整したい項目 (**明るさ** / **コントラスト** / **色の濃さ** / **色合い**) をタッチする。

画質調整画面(例)

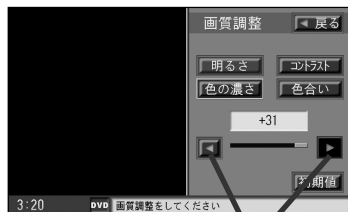


映像の調整のしかた(2)

4

画面の◀/▶ ボタンをタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)



アドハイス

- 調整はタッチパネルの◀ ボタンまたは▶ ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。
- 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、各々(明るさ/コントラスト/色合い)の調整値をメモリーしています。ライトをつけている/ライトを消しているときで、各々、お好みの値に調整してください。

■ 明るさ(1~31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると暗くなり、▶ ボタンをタッチすると明るくなる。

■ コントラスト(1~31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ ボタンをタッチすると白さが増す。



アドハイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(+側へ)▶ ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1~31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると淡くなり、▶ ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1~31)調整の場合

◀ ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ ボタンをタッチすると緑が強くなる。



アドハイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

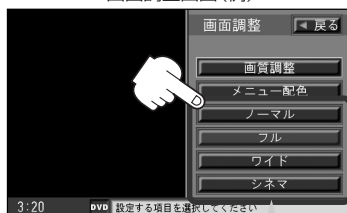
■ ディスプレイ選択の場合（DVD／VTRモード画面の場合）

手順 **1**（27ページ）で画面調整画面を表示する。

ノーマル／フル／ワイド／シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定（決定）となります。

画面調整画面（例）



ノーマル : 4 : 3の映像の画面
フル : 4 : 3の映像を左右に引き伸ばし、
16 : 9にした画面
ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面
シネマ : 4 : 3の映像をそのまま拡大した画面



アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5

設定を終わるには…

調整画面が消えるまで待つか画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

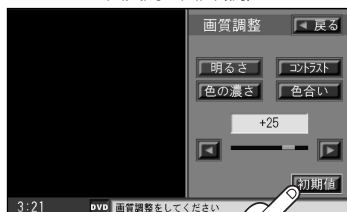
画質調整を初期値に戻すには

手順 **3**、**4**（27、28ページ）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

画質調整画面で画面の **初期値** ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面（例）



メニューの配色を変える

背景や情報バーなどの色を変えることができます。

1 パネルの **MENU** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

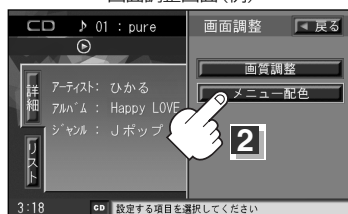
2 画面の **メニュー配色** ボタンをタッチする。

：配色設定画面が表示されます。

※画面調整画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。

☞ 「■ ディスプレイ選択の場合」 29ページ

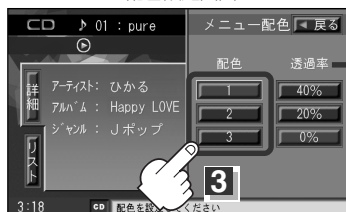
画面調整画面(例)



3 お好みの配色ボタン(1/2/3)をタッチする。

：3種類の配色パターンが選択できます。

配色設定画面



透過率を変更することができます。

☞ 31ページ

※透過率の値によって配色の雰囲気
に相違が出ます。

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

※すでに配色を設定した場合はその配色で確定(決定)されます。

□ 透過率を変更する場合

透過率を変更することができます。

- ①30ページ手順 3 のとき、
変更したい透過率の値
(40% / 20% / 0% ボタン)を
タッチする。

※透過率を変更してもDVD/Digital TV/VTR
モードなど(映像を表示するもの)では透過率は
設定できません。

配色設定画面



アドバイス

画面右側に表示される配色画面は約20秒間表示されます。

オーディオの調整をする(1)

音場(臨場感)を変えるには

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、音場(臨場感)を変えることはできません。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

1 オーディオモード画面で パネルの **MENU** ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを
2回押します。

※音場はLIVE/HALL/STADIUM/
CHURCH/SRS CS Autoの5種類です。



手順 **3** で選択した
音場が表示されます。

1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **音場設定** ボタンをタッチする。

：音場設定画面が表示されます。

AVメニュー画面(例)

2-2



2-1



アドバイス

- 交通情報設定画面( 149ページ)の場合、音場(臨場感)は得られません。(**音場設定** ボタンは選択できません。)
- AVメニュー画面につきましては  23ページを参照ください。

3 お好みの音場(DSP/SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

ライブ
LIVE：音場をライブハウス

ホール
HALL：音場をコンサートホール

スタジアム
STADIUM：音場をスタジアム

チャーチ
CHURCH：音場を残響音の多い教会
に設定します。

① **DSP** ボタンをタッチし、お好みの音場 ボタン(**LIVE** / **HALL** / **STADIUM** / **CHURCH**)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



DSP選択時SRS CS Autoは設定できません。
(※SRS CS Autoの同時使用はできません。)

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① SRS CS Auto をタッチする。

：SRS (の音場) 効果で再生されます。

● SRS CS Autoを選択したときは…

1. 各項目 (**FOCUS** / **TruBass** / **MixToRear**) と **−** / **+** ボタンをタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整することができます。



SRS ^{フォーカス} FOCUS : 耳の高さから音が聞こえるように調整できます。

SRS ^{トゥルーベース} TruBass : 低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)

SRS ^{ミックストゥリア} MixToRear : フロントの音をリアにふり分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

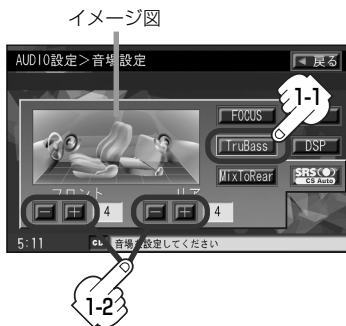
□ **FOCUS** を選択した場合



フロントまたはリアの音の高さを

- −** ボタンタッチで低くし、
- +** ボタンタッチで高くなります。(0~8)

□ **TruBass** を選択した場合



フロントまたはリアの低音のレベルを

- −** ボタンタッチで下げ(弱くし)、
- +** ボタンタッチで上げ(強くし)ます。(0~8)

はじめに／

「音場を変える」

オーディオの調整をする(2)

□ **MixToRear** を選択した場合



フロントスピーカーの成分をリアスピーカーへ

- [-] ボタンタッチでレベルを下げ(出力を弱める)、
- [+] ボタンタッチでレベルを上げ(出力を強め)ます。(0~8)



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合はその音場で確定(決定)されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は音場設定画面(32、33ページ手順 **3**)で **OFF** ボタンをタッチしてください。
- 手順 **3** で音場を選択するとパラメトリックイコライザの設定(35、36ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- **SRS CS Auto** はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。

パラメトリックイコライザ(音質)を変えるには

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザの中心周波数や効果を自在に調整することができるため、微妙な音響調整をすることができます。

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、イコライザの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの **[MENU]** ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は **[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **イコライザ設定** ボタンをタッチする。

：パラメトリックイコライザ画面が表示されます。

AVメニュー画面



2-1

 AVメニュー画面につきましては  23ページを参照ください。

3 お好みの音質の選択または中心周波数(周波数帯域)の設定をします。

■ お好みの音質を選択する場合

① 音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

 次ページ

パラメトリックイコライザ画面



1

 ポップス/ロック/ジャズは本機に既存の音質となります。ユーザー1/ユーザー2はイコライザの値がOFF状態(±0)となります。

※お好きな値に調整することもできます。  36ページ

はじめに／

「音場を変える」／「音質を変える」

オーディオの調整をする(3)

□ お好きな値に調整するには…

1. 値を調整する。

：イコライザ(のバー)をタッチする方法と▲／▼をタッチして調整する方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン



2. 登録 ボタンをタッチする。

：調整した値で上書き保存されます。

※イコライザのバーの—の部分が
値(レベル)を表します。

■ 中心周波数と効果を設定する場合

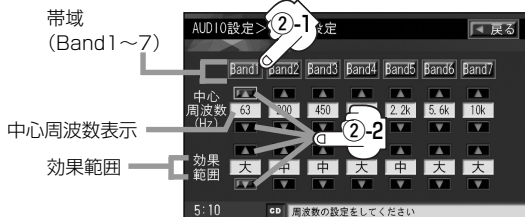
- ① 設定したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチし、
周波数設定 ボタンをタッチする。

- ② 調整したい帯域(Band1～7)を選択し、
中心周波数または効果範囲の▲／▼をタッチする。

(例) Band1を選択した場合



：周波数設定画面が表示されます。

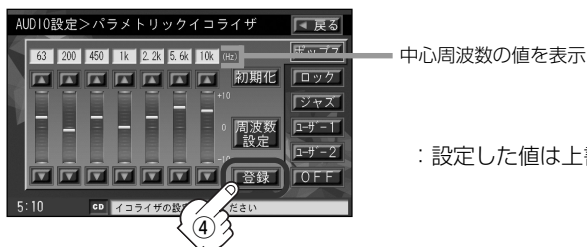


- ▲：中心周波数アップ／▼：中心周波数ダウン
- ▲／▼で効果範囲の大→中→小の切り換え

③ 戻る ボタンをタッチする。

：調整した値を保持しながらパラメトリックイコライザ画面に戻ります。

④ 登録 ボタンをタッチする。



中心周波数の値を表示

：設定した値は上書き保存されます。

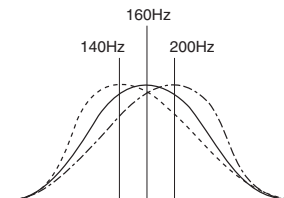


アドバイス

●中心周波数と効果範囲の設定について

- ・中心周波数を調整することによってレベル補正の中心となる周波数を設定することができます。

(例) 中心周波数を160Hz、レベルを+4dBに設定すると、160Hzの帯域で+4dB補正されることになります。

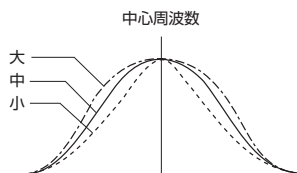


- ・レベルを調整したときのレベルの効果(変わりかた)を設定することができます。

大…中心周波数付近で大きくレベルが上がります。

中…大と小の中間となります。

小…ゆるやかにレベルが変わります。



- 調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

- ①パラメトリックイコライザ画面で初期化したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

- ② **初期化** ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



4

設定を終わるには…

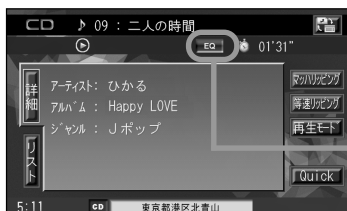
画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- パラメトリックイコライザ画面で **OFF** ボタンをタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。
- 登録** ボタンをタッチする前に **戻る** ボタンをタッチした場合、設定した値は保存されずオーディオメニュー画面に戻ります。
- 手順 **3** で音質を選択(イコライザの設定を)すると音場(**ア** 32~34ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- イコライザ設定中はオーディオモード画面のとき **EQ** マークが表示されます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



マーク表示

オーディオの調整をする(4)

スピーカーを設定する

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時(▶ 32～34ページ)の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置／大きさ	LARGE	SMALL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1

オーディオモード画面でパネルの
[MENU] ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **スピーカー設定** ボタン
をタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

AVメニュー画面



AVメニュー画面につきましては▶ 23ページを参照ください。

3

上記表を参照して画面の **LARGE** / **SMALL** ボタンをタッチする。

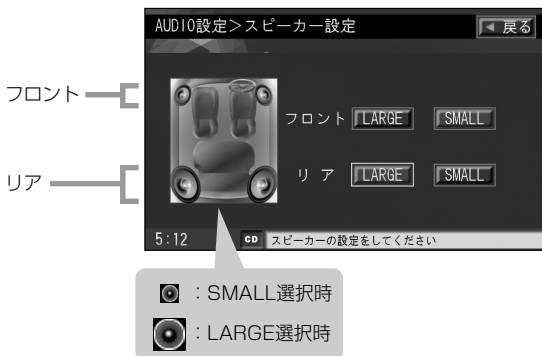
スピーカー設定画面



3



選択した結果が反映される



アドバイス

17cm以上の場合LARGE、16cm以下の場合SMALLの設定をおすすめします。

※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(5)

フェード・バランスの調整をするには

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

バランス
BALANCE：左または右スピーカーの音量調整

フェード
FADE：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **フェードバランス** ボタンをタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



AVメニュー画面につきましては、[P.23](#)ページを参照ください。

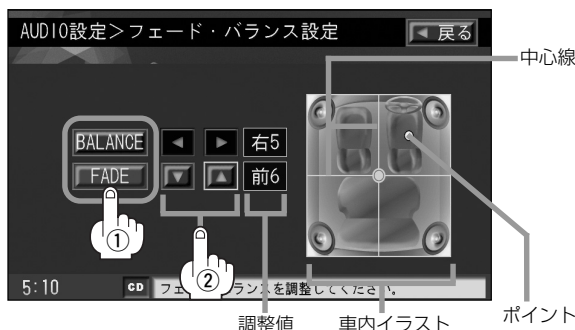
AVメニュー画面



3 値を調整します。

①調整したい項目(**BALANCE** / **FADE**)ボタンをタッチする。

②◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタンをタッチして値を調整する。



●車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

バランス (左9～右9)

◀ ボタンタッチ

：右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ

：左スピーカーの音量が下がります。

フェード (前9～後9)

▼ ボタンタッチ

：前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ

：後ろスピーカーの音量が下がります。



アドバース

- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバース

- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。

カスタマイズソース(Quick)を設定するには

よく使用するモードボタンをQuickメニューに登録することができます。

1

オーディオモード画面でパネルの
[MENU] ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **Quickメニュー** ボタン
をタッチする。

：Quickメニュー設定画面が表示されます。

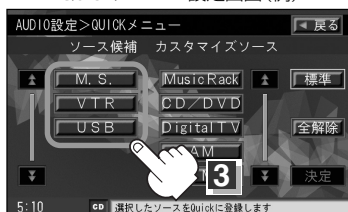


AVメニュー画面につきましては [P.23](#) ページを参照ください。

AVメニュー画面



Quickメニュー設定画面(例)



4

登録したいボタンを選択したら画面の
決定 ボタンをタッチする。

：カスタマイズソースの設定が確定(決定)され
AVメニュー画面へ戻ります。



順次、次のボタンが
くり上がって表示さ
れます。

カスタマイズソースに
登録したいボタンが
表示されます。



アドバイス

- 登録したボタンは各再生(TOP)画面で **Quick** ボタンをタッチすることにより選択することができます。
 「カスタマイズ(Quick)機能について」288ページ

※ナビゲーションでもよく使用する機能をQuickメニューに登録することができます。

- 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「Quickメニューの設定を変えるには」205、206ページ
- カスタマイズソースにあるボタンをタッチするとソース候補にボタンを戻すことができます。
- 標準** ボタンをタッチするとカスタマイズソースに表示されるボタンは工場出荷時の状態(初期設定 293ページ)に戻ります。
- 全解除** ボタンをタッチするとカスタマイズソースに設定したボタンをすべて解除(取り消し)にします。
- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示することができます。



録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)につきましては指定Webサイトから提供しております。(注)

(注) 操作方法につきましては、

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/>をご参照ください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音方法の手動／自動を選択する	46
録音する	47～51
本機のMusic Rack (HDD) 機能について	47
Music Rack (HDD) への録音について	48
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する	49～51
データ管理	52～71
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて	52、53
Gracenoteデータベースの更新をするには	54～58
Gracenoteデータベースのデータを初期化するには	59
音楽データの修復をするには	60
音楽データの初期化をするには	61
HDDの情報を知る	62
画像を変える	63～65
画像を追加する	66～68
画像をメモリースティックにコピーする	69～71

録音方法の手動／自動を選択する

AUDIO設定

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をMusic Rack (HDD)へ録音することができます。
録音には手動録音と自動録音があります。

1

オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※AVメニュー画面につきましては23ページを参照ください。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面 (CDモード画面 (例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **録音設定** ボタンをタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

AVメニュー画面 (例)



2-2

3

録音方法 (**手動録音** / **自動録音**) を選択する。

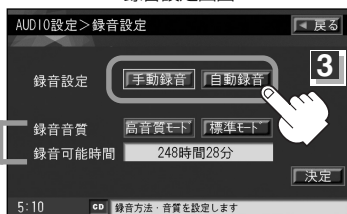


■ **手動録音** ボタンをタッチした場合

：CDモード画面で録音速度 (マッハリッピング / 等速リッピング) / 録音方法 (全曲録音 / 選択曲録音) / 録音音質 (高音質モード / 標準モード) を選択して **録音開始** ボタンをタッチすると録音を開始します。

 「録音速度を選択し、録音方法 / 録音音質を選択する」
49～51ページ

録音設定画面



■ **自動録音** ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機 (Music Rack) に録音 (等速録音) を開始します。

 76、77ページ アドバイス参照

※本機の録音方法 (初期設定) は “自動録音” に設定されています。

音質の選択や録音可能時間の確認もできます。 音質選択50ページ



- すでに本機 (Music Rack) に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。) 未録音の曲を録音したい場合は、**マッハリッピング** または **等速リッピング** を選択して録音を開始させてください。 49～51ページ
- 録音を開始する前に  「録音する」47、48ページを必ずお読みください。

4

設定を終わるには…

画面の **決定** ボタンをタッチする。

：設定は確定 (決定) されAVメニュー画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に、**[AUDIO]** ボタンを押すと選択中モード画面に戻ります。

録音する(1)

本機のMusic Rack(HDD)機能について

本機には主に下記に示すようなMusic Rack(HDD)機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加（Gracenoteデータベース収録済）
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどを選曲メニューの各ボタンに自動で振り分け
※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報取得可能
- マッハリッピング(高速録音)機能により録音時間の短縮化を実現
- 設定により手動録音／自動録音の選択が可能

- 選曲メニューの各ボタンへの振り分けは収録しているデータベースに合致した場合に行なわれ、自動振り分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

録音可能曲数☆	約3500曲
最大容量	14GB

※☆印：録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4000曲となります。)

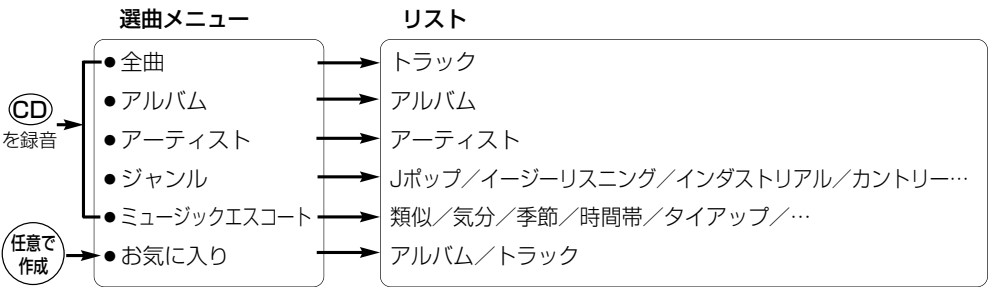
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack(HDD)には4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- マッハリッピング機能により通常の最大14倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。(マッハリッピング(高速録音)中はMusic Rack／CD／M.S.／USBモードでは無音となります。)
- Gracenoteデータベースについては14、15、52～61ページをご覧ください。

■ Music Rackの構成について

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲メニューの各ボタンに振り分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲メニューの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



録音設定／データ管理／録音方法選択(手動・自動)／Music Rack(HDD)の機能について

録音する(2)

Music Rack(HDD)への録音について

- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでにMusic Rack(HDD)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は手動で録音速度、録音方法を選択して録音を開始させてください。
- 自動録音中に録音を中止して他のモードにし、CDモードに戻すと1曲も録音されていない場合は再度自動録音が始まります。
- エンジンスイッチO(OFF)やオーディオをOFF状態にしても前回設定した録音方法／録音音質（ 46ページ）は保持されます。
- 本機への録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、ラジオ、テレビ、メモリースティック／USBメモリデバイスなどから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチをI(ACC)の状態では録音していると、II(ON)にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータがこわれる場合もあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - マッハリッピング時(音楽CDを録音中)にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。(ただしMusic Rack／M.S.／USBモードは曲の再生はできません。)また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 録音途中で録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
 - ※ 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには「**HDDの情報を知る**」162ページ(“音楽データ”部分)を参照してください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。

- 本機は初期設定が自動録音に設定されているため未録音のCDを差し込むと、同時に等速リッピング（録音）を開始します。

CDモード画面（自動録音設定時）
未録音の場合



録音を止めたい、等速リッピングをやめてマッハリッピングをしたい、選択曲録音をしたい場合は **録音中止** ボタンをタッチしてください。（下記画面が表示されます。）

※録音を中止してもすでに本機（Music Rack）に録音したトラックは本機（Music Rack）に保存されます。

- ※自動録音と手動録音の設定のしかたは「録音方法の手動／自動を選択する」46ページを参照してください。手動録音の場合、録音速度の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。
[P 49ページ]

録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する

録音の速度には、音楽を再生させながら録音する等速リッピングと通常の14倍速で録音するマッハリッピングがあります。

※ “マッハリッピング中、音楽CDは再生できません。（無音となります。）”

1 CDモード時、画面の録音速度 （マッハリッピング／等速リッピング）を 選択する。

：録音方法選択画面が表示されます。

■ マッハリッピング ボタンを選択した場合

：最大14倍の速さでディスクが回転して、録音します。
（マッハリッピング中Music Rack／CD／M.S.／USBモードでは音楽は再生できません。）

■ 等速リッピング ボタンを選択した場合

：通常の速さで再生録音します。

CDモード画面（手動録音設定時）



録音する(3)

2

録音方法、録音音質を選択します。

■ “録音方法” (全曲録音／選択曲録音) を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲のみ録音するかを設定することができます。

□ **全曲録音** ボタンをタッチすると…

：CD内にある全ての曲の録音となります。

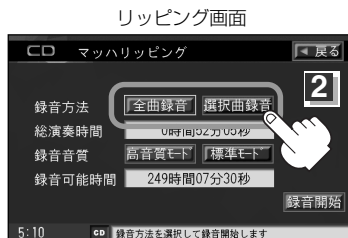
ただしHDD (Music Rack) の容量が足りない場合

全曲録音 ボタンは選択できません。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

□ **選択曲録音** ボタンをタッチすると…

：録音曲選択画面が表示されます。



1. 録音したいトラックをタッチする。



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

□：このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。(✓表示有／トラックは灰色表示)

2. **決定** ボタンをタッチする。



：録音したいトラックが確定(決定)され、リッピング画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチした場合は選択は解除(無効)となりリッピング画面に戻ります。



アドバイス

- Music Rackに録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“Trackxx”と表示されます。
※xxにはトラック番号の数字が入ります。
- 次ページがある場合、**▲**／**▼** ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

■ “録音音質” (高音質モード／標準モード) を選択する場合

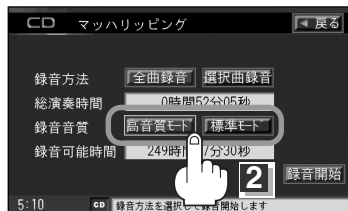
音の質(容量)を選択することができます。

□ **高音質モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。

□ **標準モード** ボタンをタッチすると…

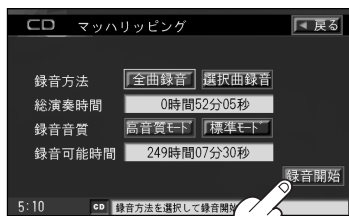
：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。



3

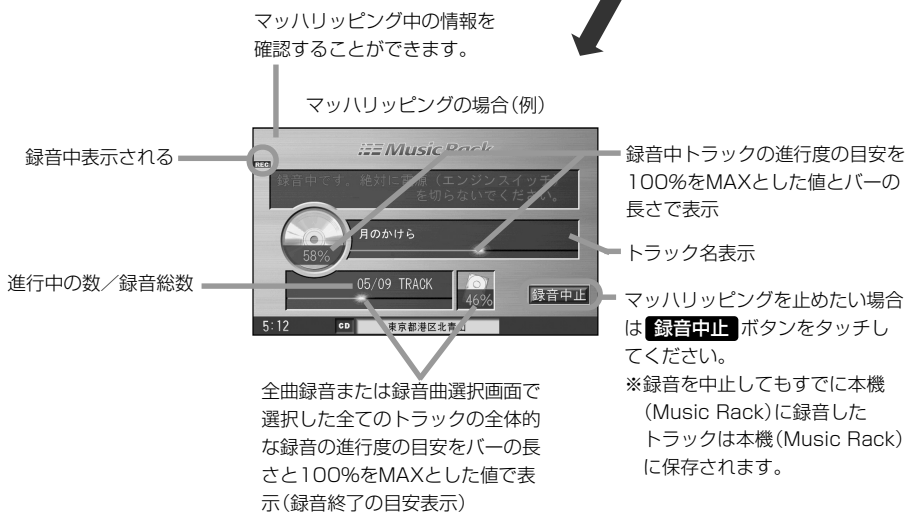
画面の「録音開始」ボタンをタッチする。

- 手順 **1** (49ページ) でマッハリッピングを選択している場合はメッセージとリッピング状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面 (50ページ) で選択した曲の録音を無音にて開始します。
- 手順 **1** (49ページ) で等速リッピングを選択している場合はCDモード画面に戻り、全曲または録音曲選択画面 (50ページ) で選択した曲を再生録音します。



録音設定
データ管理

〔全曲録音・選択曲録音設定／録音音質設定〕



アドハイス

- 録音 (REC) をしながら他のモードにすることができます。

〔現在地〕 ボタンを押す。：ナビゲーション画面を表示します。

※ただし、マッハリッピング中ナビのメニュー等の操作は限定されます。
さらに、録音時間は通常より長くなります。

〔AUDIO〕 ボタンを押す。： **Digital TV** / **FM** / **AM** / **VTR** ボタンをタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※マッハリッピング時に他のモードを表示させている場合、録音 (REC) が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

- マッハリッピング中に他のモードにしたとき、再度マッハリッピング画面に戻すには…

〔AUDIO〕 ボタンを押す→ **〔CD〕** ボタンをタッチ→ **録音中止** ボタンをタッチします。

- Music Rack (HDD) への録音可能時間の情報をすることができます。

〔HDDの情報を知る〕 62ページ

データ管理(1)

■本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースなどが収録されており、CDを再生するだけで自動で画面にアーティスト名・タイトル名などが表示されるため、入力の手間をはぶくことができます。(もちろん編集は可能です。)

本機に収録されていない情報の場合でもメモリースティックを使用して情報を書き出し、パソコンでGracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得し、本機にアップデートすることで最新の情報に更新することができます。

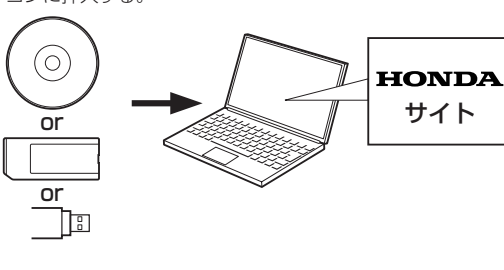
※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

また、MCDBデータベースを利用することにより属性DB(曲調にあわせた再生リストへの振り分け)が可能となりました。

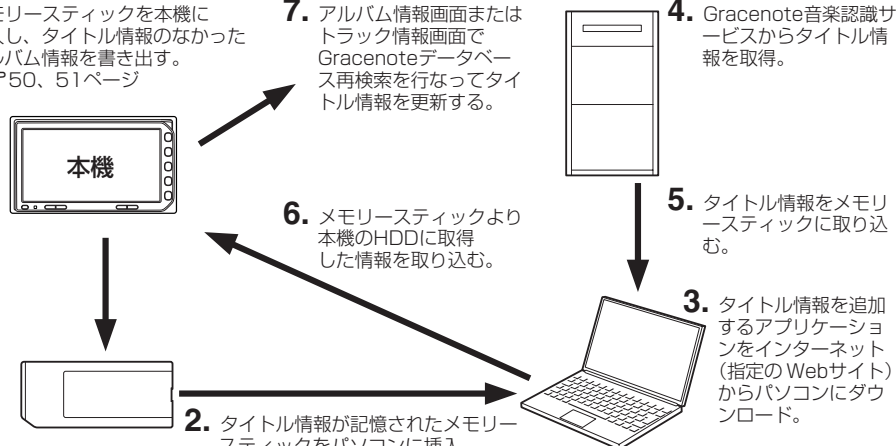
Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて

※番号にしたがって参照してください。

■ ローカルアップデートの場合

1. CD-RまたはメモリースティックまたはUSBメモリデバイスをパソコンに挿入する。
 2. 指定のWebサイトにアクセスし、ユーザー登録する。
 3. CD-RまたはメモリースティックまたはUSBメモリデバイスにダウンロードする。
 4. ダウンロードしたCD-RまたはメモリースティックまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入し、本機のHDDにダウンロードした情報を取り込む。その後アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。
- 

■ カスタムアップデートの場合

1. メモリースティックを本機に挿入し、タイトル情報のなかったアルバム情報を書き出す。
[P. 50、51ページ]
 2. タイトル情報が記憶されたメモリースティックをパソコンに挿入。
 3. タイトル情報を追加するアプリケーションをインターネット(指定のWebサイト)からパソコンにダウンロード。
 4. Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得。
 5. タイトル情報をメモリースティックに取り込む。
 6. メモリースティックより本機のHDDに取得した情報を取り込む。
 7. アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。
- 

※Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはメモリースティック8MB以上、パソコン100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダーなどインストールするにあたり動作環境をとのえていただく必要があります。また、上記手順の操作方法につきましては指定のWebサイトをご参照ください。

指定Webサイト[P. 45ページ参照]

※USBメモリデバイスを使用するには別売のUSB接続コードが必要です。

□ MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。

MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。



アドハイス

●ローカルアップデート／カスタムアップデートについて

ローカルアップデートとは…

- ・定期的に提供される更新ファイルをダウンロードする方法です。

カスタムアップデートとは…

- ・HDD内にあるデータベースに、一致するタイトル情報が入っていない場合に対象のアルバム情報を本機からメモリースティックに書き出しを行ない、パソコンを使用してGracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する方法です。
- ・ローカルアップデートのデータ更新よりさらに最新のデータベースが取得できます。
- ・間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理してください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

データ管理(2)

Gracenoteデータベース検索(オンライン検索)を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenoteデータベースの更新をするには

※Music Rack/M.S./USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1

オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**[MENU]** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **Gracenoteデータベース** ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

※録音中にこれ以降の操作はできません。

AVメニュー画面



2-2

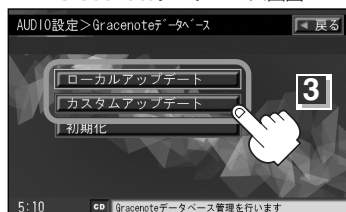


AVメニュー画面につきましては **5-23** ページを参照ください。

3

アップデートの方法(**ローカルアップデート** / **カスタムアップデート**)を選択する。

Gracenoteデータベース画面



●ローカルアップデートとはHONDAのWebサイトに定期的にアップデートされるGracenoteデータベース更新データを本機でアップデートする方法です。

5-55 ページへすすむ

●カスタムアップデートとはGracenoteデータベース検索で本機に収録されていないCDのタイトル情報を個別にアップデートする方法です。異なったタイトル情報が検索された場合もこの方法によって個別に再取得が可能です。

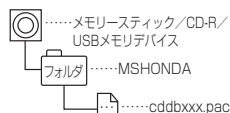
5-56 ページへすすむ

■ ローカルアップデート ボタンをタッチした場合



ローカルアップデートボタンをタッチする前に…

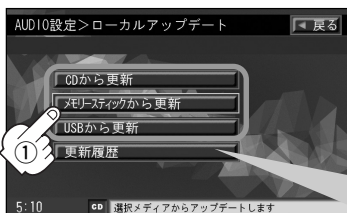
1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロード
2. データベースファイルをパソコンにダウンロード
3. メモリースティックの場合、ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して¥MSHONDAフォルダを作成／CD-RまたはUSBメモリデバイスの場合、手動でメディアに¥MSHONDAフォルダを作成
4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをフォルダの中に移動
5. CD-RまたはメモリースティックまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入または接続

録音設定
データ管理

Gracenoteデータベースの更新(ローカルアップデート)

①追加する方法(**CDから更新** / **メモリースティックから更新** / **USBから更新**)を

タッチする。※USBメモリデバイスの接続につきましては270ページを参考にしてください。

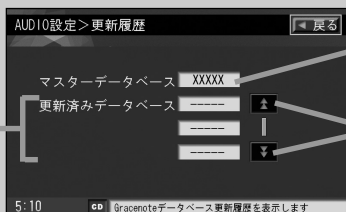
更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。

⚠ 注意

更新中は他の操作(モード切替/車のエンジンスイッチO(OFF)/電源を切る/CD・メモリースティック・USBメモリデバイスを抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 ボタンをタッチすると、CD-RまたはメモリースティックまたはUSBメモリデバイスからアップデートしたGracenoteデータベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



お客様が変更されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

工場出荷時のバージョンを表示

次ページがある場合、**↑** / **↓** ボタンタッチでページ戻し / 送り表示

②本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で

データベース再検索 ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☑ 109ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、116ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし ☐ **データベースから再検索するときは…** 113、119ページ参照

- ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理してください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)

データ管理(3)

■ カスタムアップデート ボタンをタッチした場合

※メモリースティックを本機に挿入(準備)しておく必要があります。

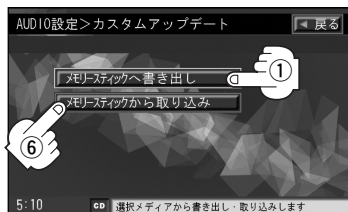
 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「メモリースティックを入れる／取り出すには」41ページ

● データの書き出しをする。



新規アルバム表示または、まちがったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

カスタムアップデート画面



□ 新規アルバム(No title表示)の場合

1. 右記手順①へすすんでください。

□ まちがったタイトルを表示(ミスヒット)している場合

● データベースに複数のタイトル情報があるときは…

1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

 109ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集**

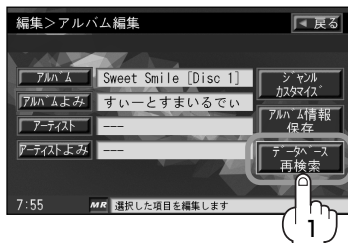
ボタンまたは、116ページ手順 **1**、**2** で

トラック編集 ボタンをタッチし、

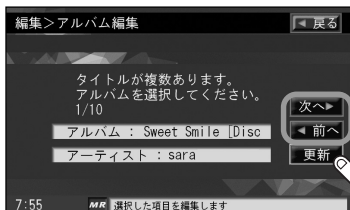
「 データベースから再検索するときは…」113、

119ページ参照し **データベース再検索** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして検索し、希望のアルバム名が見つかった場合は **更新** ボタンをタッチする。



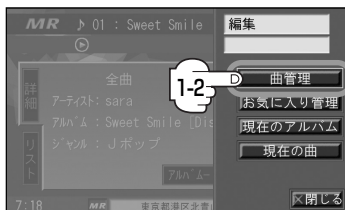
：タイトル情報が更新されます。

3. 58ページ手順 **4** へすすんでください。

※手順 2 のとき希望のアルバム名がなかった場合は右記手順
(・データベースにタイトル情報がないときは…)
にすすんでください。

● データベースにタイトル情報がないときは…

1. Music Rackを再生させて **編集** ボタンをタッチし、 **曲管理** ボタンをタッチする。



：曲管理画面が表示されます。

2. まちがった情報のアルバムをタッチし、

アルバム編集 ボタンをタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

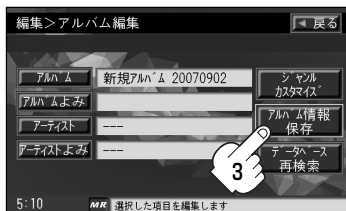
：まちがったアルバム情報を一旦本機(HDD)に保存します。

4. 54ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、
手順 **3** のとき **カスタムアップデート** ボタンを
タッチする。

5. 下記手順①へすすんでください。



アルバム編集画面



- ① **メモリースティックへ書き出し** ボタンをタッチする。

：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとメモリースティックにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

- ② 本機よりメモリースティックを取り出しパソコンに挿入する。

- ③ パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

- ④ 取得した情報をメモリースティックに取り込む。

- ⑤ メモリースティックをパソコンよりはずし、本機に挿入する。

● データの取り込みをする。

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑥へすすんでください。表示していない場合は54ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

- ⑥ **メモリースティックから取り込み** ボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとメモリースティックより取得した情報を本機に取り込みます。

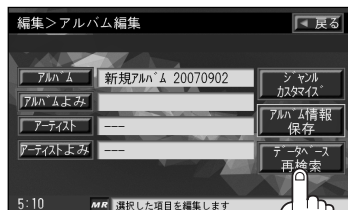
データ管理(4)

- ⑦本機に取り込んだ情報を反映するには、
アルバム編集画面またはトラック編集画面で
データベース再検索 ボタンをタッチして
タイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル
情報を更新できます。

- 「**109**ページ手順 **1** ~ **3**」で **アルバム編集** ボタンまたは、
116ページ手順 **1**、**2**で **トラック編集** ボタンをタッチし、
「**データベースから再検索するときは…**」113、119ページ参照

アルバム編集画面の場合



アドバイス

- **Gracenoteデータベースタイトル情報追加の流れについて** 52ページもご参照ください。
- **↑** / **↓** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

- ： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、**AUDIO** ボタンを押すと現在選択中の
モードの再生画面に戻ります。

Gracenoteデータベースのデータを初期化するには

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **Gracenoteデータベース** ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。



AVメニュー画面につきましては、[P.23](#)ページを参照ください。

AVメニュー画面



2-2

2-1

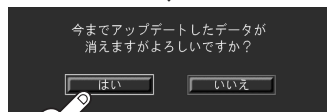
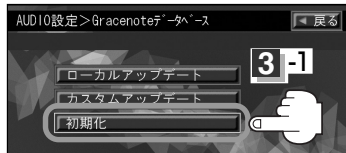
3 画面の **初期化** ボタンをタッチする。

※Music Rack/M.S./USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択するとデータを消去し、Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行なってください。

Gracenoteデータベース画面



3-2

4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート/カスタムアップデート)は消去され、二度と復帰しません。

データ管理(5)

音楽データの修復をするには

Music Rack(HDD)に録音(REC)した音楽データが見当たらない、録音(REC)中にエンジンスイッチを操作してしまいHDDがこわれたなどのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

※Music Rack/M.S./USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

1 オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

2

画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンをタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。

AVメニュー画面



2-2



AVメニュー画面につきましては、[P.23](#)ページを参照ください。

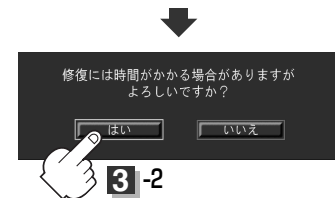
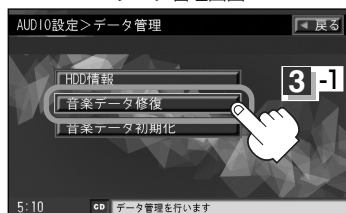
3

画面の **音楽データ修復** ボタンをタッチし、**はい** ボタンをタッチする。

：修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにしたがって長くなります。修復できない場合もありますのでご注意ください。

データ管理画面



4

修復が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの初期化をするには

Music Rack (HDD)に録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

※Music Rack/M.S./USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンをタッチする。

：データ管理画面が表示されます。



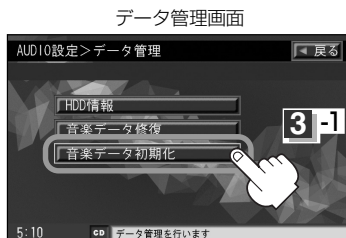
AVメニュー画面につきましては **23** ページを参照ください。



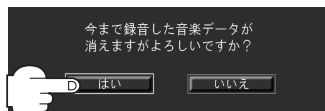
3 画面の **音楽データ初期化** ボタンをタッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択します。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。



3-2



4 初期化が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



- 初期化中(修復中)は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI (ACC)の状態からII (ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

データ管理(6)

HDDの情報を知る

HDD(本機)の使用状況を確認することができます。

1

オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンを
タッチする。

：データ管理画面が表示されます。



AVメニュー画面につきましては **23** ページを参照ください。

AVメニュー画面

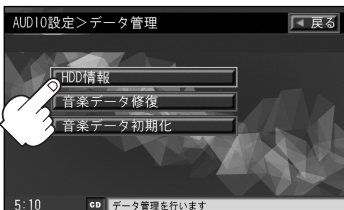


データ管理画面

3

画面の **HDD情報** ボタンをタッチする。

：HDD情報画面が表示されます。



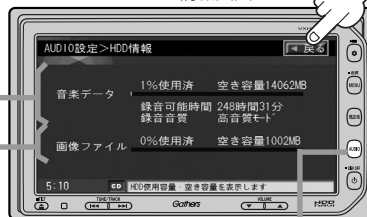
HDD情報画面

4

HDD(本機)の使用状況を確認したら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたは
パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の
画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと
現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



音楽データ
(Music Rack)
の使用情報

画像データファイルの使用情報

4 **AUDIO** ボタン

画像を変える

オーディオ画面(DVD/VTR/Digital TVモード以外)の背景をお好きな画像にすることができます。
※CDをMusic Rack(HDD)に録音中は設定できません。

1

オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AVメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の**システム設定** の **壁紙** ボタンをタッチする。

：画像設定画面が表示されます。

※走行中／録音中、これ以降の操作は選択できません。

AVメニュー画面



アドハイス

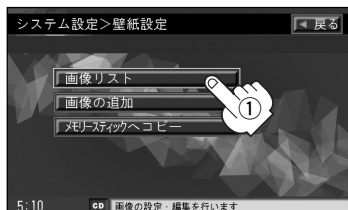
- AVメニュー画面につきましては、P23ページを参照ください。
- その他のシステム設定につきましては290、291ページを参照ください。

3

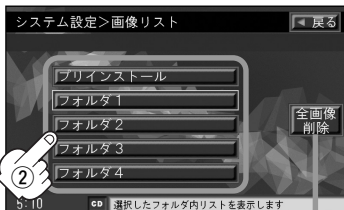
画像の変更や削除、スライド表示などをすることができます。

① **画像リスト** ボタンをタッチする。

画像設定画面



② **プリインストール** またはフォルダ1～4をタッチする。



全画像削除 ボタンをタッチするとプリインストールのぞくフォルダ1～4内の全ての画像データを一括で削除することができます。ただし、このとき、フォルダ名を変更されている場合は、フォルダ名が工場出荷時の状態に戻ります。
※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は、追加した画像データは削除してください。



アドハイス

- プリインストールには既存の画像(壁紙)がありますが、フォルダ名の編集(変更)や画像の削除をすることはできません。
- フォルダに画像がない場合は**戻る** ボタンをタッチしてフォルダを選択しなおしてください。

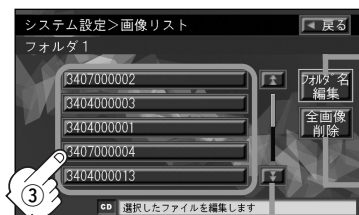
録音設定
データ管理

〔HDD情報〕
／〔画像(壁紙)変更〕

データ管理(7)

③表示したいファイル(壁紙)を選択しタッチする。

フォルダ1を選択した場合(例)



フォルダ名編集 ボタンをタッチするとお好きなフォルダ名にすることができます。編集のしかたは111ページを参考に入力してください。

全画像削除 ボタンをタッチすると選択中のフォルダ内の画像データを一括で削除することができます。

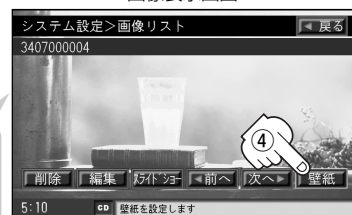
※画面にしたがって **はい** ボタンを選択してください。

次ページがある場合 **↑** / **↓** ボタンで1ページずつの戻し/送り表示

④ **壁紙** ボタンをタッチする。

：壁紙にしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、壁紙(背景)に設定され画像表示画面に戻ります。

画像表示画面



■ 画像表示画面のその他のボタンについて

● **削除** ボタンをタッチする。

：表示中のファイル画像を削除します。

※削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので

はい または **いいえ** のどちらかをタッチしてください。

● **スライドショー** ボタンをタッチする。

：一定の間隔で選択したフォルダ内の画像を順次表示します。

※スライドショーを終わるには画面をタッチすると画像表示に戻ります。

● **前へ** ボタンをタッチする。：1つ前のファイル画像を表示します。

● **次へ** ボタンをタッチする。：次のファイル画像を表示します。

● **編集** ボタンをタッチする。：画像の表示位置の調整や縮小/拡大をすることができます。



縮小 ボタンをタッチすると画像を縮小できます。



拡大 ボタンをタッチすると画像を拡大できます。

画像が画面に収まりきらない場合に画像を動かすことができます。(縮小画面も同等)

↑ ボタンをタッチする。：上に動きます。

↓ ボタンをタッチする。：下に動きます。

← ボタンをタッチする。：左に動きます。

→ ボタンをタッチする。：右に動きます。

* 1 : **戻る** ボタンをタッチすると結果を反映して画像表示画面に戻ります。

※選択できないボタンは暗くなります。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



アトハイス

- 800×480ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。あらかじめこの大きさで画像を作成しておくと、本機に表示したときに画像が切れたり、小さく表示されたりすることなく、きれいに表示されます。
 - JPEG画像を表示する場合、画面(800×480ドット)より大きい画像も、そのまま表示されます。
縮小 ボタンをタッチして小さくするか、 **↑ ↓ ← →** ボタンをタッチして表示位置の調整をしてください。
 - 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- ※本機は、ファイル名は拡張子を含め半角64文字までのファイルを認識できます。
(ファイル名は半角英数字・_(アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- 画像表示画面で、本機に画像を追加していない場合や **プリインストール** を選択した場合、 **削除** と **編集** ボタンは選択できません。

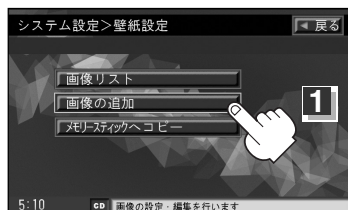
データ管理(8)

画像を追加する

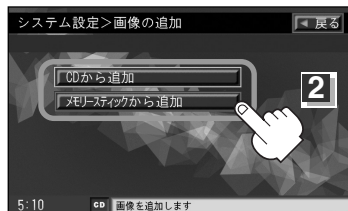
CD-Rまたはメモリースティックを使用して本機にお好きな画像を追加することができます。

※画像設定画面を表示する前にCD-Rまたはメモリースティックを本機に挿入しておく必要があります。
※Music Rack／M.S.／USBモードで再生中はコピーできません。また、CDを本機(Music Rack)に録音中はコピーも設定できません。

画像設定画面



追加方法選択画面



1

63ページの手順**1**、**2**にしたがって操作し、画像設定画面を表示させ、手順**3**のとき画面の**画像の追加**ボタンをタッチする。

2

追加する方法(**CDから追加**／**メモリースティックから追加**)を選択しタッチする。

：画像選択画面が表示されます。

※画像選択画面を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

3

追加したい画像ファイルを選択する。

画像ファイルはリストから直接選択する方法と、画像を表示させながら選択する方法があります。

■ リストから選択する場合

①追加したいファイルをタッチする。

：チェックマーク(✓)が付きます。

画像選択画面(CDから追加する場合)(例)



ファイルをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このファイルを追加します。

□：このファイルは追加しません。

プレビュー (🔍) ボタンをタッチすると画像を表示させながら追加するファイルを選択することができます。

ファイルを一括で選択することができます。
(全てのファイルにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したファイルを一括でやめる(取消)ことができます。
(全てのファイルのチェックマーク(✓)を消します。)

※1つずつ選択、解除する場合はファイルを1つずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(✓)の表示(選択)、非表示(解除)が切り替わります。

※⬆／⬆ ボタンタッチで1ページずつの戻し／送り表示することができます。

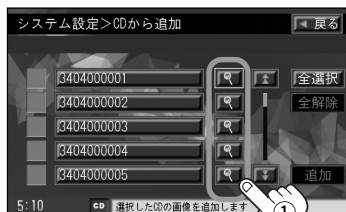
■ 画像を表示させながら選択する場合

① プレビュー ボタン(🔍)をタッチする。

：画像が表示されます。

※画像を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

画像選択画面(例)

録音設定
データ管理

〔画像(壁紙)追加〕

② 選択 ボタンをタッチする。



解除 ボタンをタッチすると選択した画像を止める(取消)ことができます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルのチェックマーク(✓)が消えます。

追加できる画像が他にある場合 **前へ**／**次へ** ボタンをタッチして1つ前の画像／次の画像と表示させることができます。

：画面に表示されている画像が追加候補として選択されます。

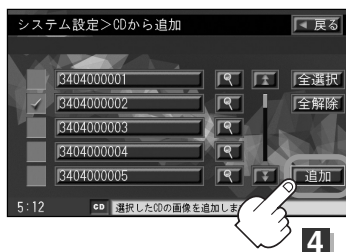
※このとき画像選択画面では選択したファイルにチェックマーク(✓)が付きます。

③ 選択が終わったら **戻る** ボタンをタッチする。

：画像選択画面に戻ります。

4

画面の **追加** ボタンをタッチする。



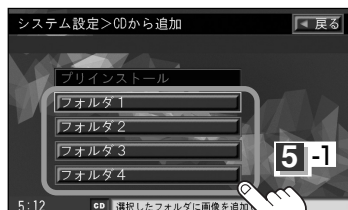
データ管理(9)

5

追加したいHDD(本機)のフォルダ(1~4)をタッチする。

※ **ブリンストール** に画像は追加できません。

：画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックの付いたファイルをHDD(本機)にコピーします。

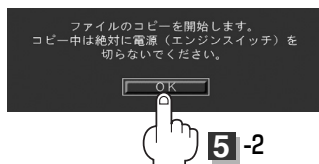


注意 コピー中は電源を切らないでください。
故障の原因となります。

※コピーできるファイルの数がオーバーする場合メッセージが表示されるので、他のフォルダを選択するか、コピーしたいファイルを選択しなおしてください。

※コピーを中止する場合は、コピー中の画面のとき **中止** ボタンをタッチしてください。

：コピーが終了すると画像設定画面に戻ります。



- CD-Rまたはメモリースティックから追加した画像に変えるには「**画像を変える**」63~65ページを参照してください。
- コピーできるファイルは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- 1MB以上のサイズのファイルはコピーできません。(リストに表示されません。)
- フォルダ名／ファイル名は全角32(半角64)文字までのファイルを認識できます。(フォルダ名／ファイル名は半角の英数字・_(アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- CD-Rに画像を収録するときは、フォルダの階層は8階層まで半角128文字(全角64文字)となるように作成してください。
- 1つのフォルダ内でリストに表示されるファイル数は200以内です。(既存の画像含む。)
- 本機(HDD)にコピーできるファイル数は最大800です。
- コピー時、同じ名前のファイルがある場合、同じ名前前で表示されます。
- Music Rackに音楽を録音している場合は、録音を止めてからデータの追加をしてください。
- 画像選択画面に表示される画像数は最大255です。256以上画像がある場合はCD-Rに収録されている順に255表示されます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理してください。(Romeo/ISO9660/バケットライト方式などは不可)

例 ¥○○○¥△△△¥×××.JPG

6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

画像をメモリースティックにコピーする

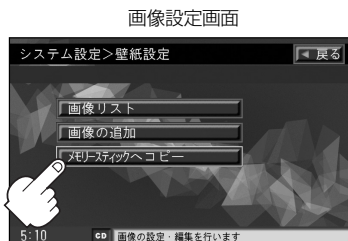
本機(HDD)に増えてしまった画像データをメモリースティックへ保存することができます。

※メモリースティックを本機に挿入しておく必要があります。

※Music Rack/M.S./USBモードで再生中はコピーできません。また、CDを本機(HDD)に録音中はコピーも設定できません。

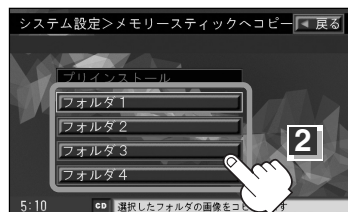
- 1** 63ページの手順 **1**、**2** にしたがって操作し、画像設定画面を表示させ、手順 **3** のとき画面の **メモリースティックへコピー** ボタンをタッチする。

1



- 2** コピーしたいフォルダ(1~4)をタッチする。

※ **プリインストール** の画像はコピーできません。



- 3** コピーしたい画像ファイルを選択する。

画像ファイルはリストから直接選択する方法と、画像を表示させながら選択する方法があります。

■ リストから選択する場合

- ① コピーしたいファイルをタッチする。

：チェックマーク(✓)が付きます。



ファイルをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このファイルをコピーします。
□：このファイルはコピーしません。

プレビュー (🔍) ボタンをタッチすると画像を表示させながらコピーするファイルを選択することができます。

ファイルを一括で選択することができます。
(全てのファイルにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したファイルを一括でやめる(取消)することができます。
(全てのファイルのチェックマーク(✓)を消します。)

※1つつ選択、解除する場合はファイルを1つつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(✓)の表示(選択)、非表示(解除)が切り替わります。

※⬆️/⬆️ ボタンタッチで1ページずつの戻し/送り表示することができます。

データ管理(10)

■ 画像を表示させながら選択する場合

① プレビュー ボタン()をタッチする。

：画像が表示されます。

※画像を表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

② 選択 ボタンをタッチする。



解除 ボタンをタッチすると選択した画像を止める(取消)することができます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルのチェックマーク(✓)が消えます。

追加できる画像が他にある場合 **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして1つ前の画像/次の画像と表示させることができます。

：画像に表示されている画像がコピー候補として選択されます。

※このとき画像選択画面では選択したファイルにチェックマーク(✓)が付きます。

③ 選択が終わったら **戻る** ボタンをタッチする。

：画像選択画面に戻ります。

画像選択画面(例)



4

画面の **コピー** ボタンをタッチする。

：画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックマークの付いたファイルをメモリースティックにコピーします。

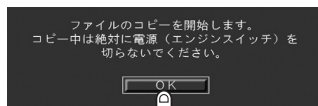
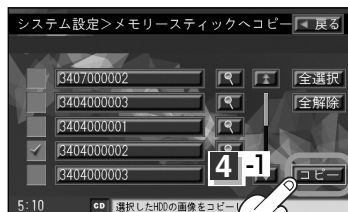


- コピー中は電源を切らないでください。
- コピー中にメモリースティックを抜かないでください。故障の原因となります。

※コピーできるファイルがメモリースティックの容量をオーバーする場合メッセージが表示されるので、コピーしたいファイルを選択しなおしてください。

※コピーを中止する場合は、コピー中の画面のとき **中止** ボタンをタッチしてください。

：コピーが終了すると画像設定画面に戻ります。



5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

録音設定
データ管理

〔メモリースティックへ画像（壁紙）コピー〕／〔HDD情報〕



CDプレーヤーを使う74~83

各部の名称とはたらき	74
表示部(再生画面)について	75
CDを聞く	76、77
CDモードを終了する	78
CDを取り出す	78
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	79
早戻し／早送りをする	79
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)	80、81
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	82、83

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

リスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(82、83ページ)

CD TOPモード画面
(詳細表示時(例))



壁紙切替 ボタン (🖼️)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。
(289ページ)

マハリッピング ボタン *2

最大14倍の速さでディスクが回転しての録音となります。
※マハリッピング中、Music Rack／CD／M.S.／USBモードは音楽は再生できません。

等速リッピング ボタン *2

通常の速さでの再生録音となります。

再生モード ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
(80、81ページ)

AUDIO ボタン

AVソース画面を表示します。
※ナビゲーション／Music Rack／VTR／Digital TV／FM／AM／M.S.／USBモードからCDモードに切り替えるときに使用します。(77ページ)

電源 ボタン (🔌)

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

トラック ボタン (⏮️/⏭️) *1

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮️)／早送り(⏭️)します。(79ページ)

TILT ボタン (▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。
(76、78ページ)

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(288ページ)



アドバイス

- *1印: 録音(REC)中は操作できません。
- *2印: 録音方法を自動録音に設定している場合に、未録音CDを挿入した場合は表示されません。
- リッピング中はCD再生画面に **録音中止** ボタンが表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について



CD

〔各部の名称とはたらき〕／〔再生画面について〕

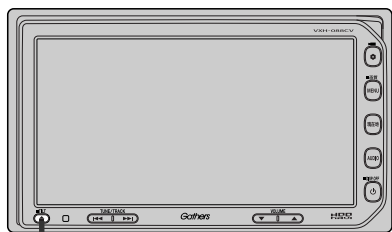


アドハイス

- 詳細表示のとき、トラック名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。
 - ・DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名／アーティスト名／アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
 - ・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名／アーティスト名が表示されます。
 - ・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名／アーティスト名／アルバム名は全て "No Title" と表示されます。
 - ・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみトラック名がリスト表示されます。ヒットしていない場合はトラック名は全て "Track 001..." と表示されます。また、HDDへ録音 (REC) されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
- ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実在と異なって表示される場合があります。

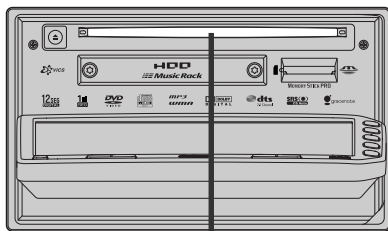
CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 DVD/CD挿入口

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 パネルの **TILT** ボタン (▲) を押す。

：ディスプレイが開きます。



アドバイス

CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2 DVD/CD挿入口にCDを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

※本機の録音方法(初期)は **自動録音** に設定されているため、未録音のCDを挿入した場合は再生と同時にMusic Rack(HDD)へ自動で等速リッピング(等速録音)を開始します。

☞ 「**Music Rack(HDD)への録音について**」

48、49ページ

録音を停止させるにはCDモード画面で **録音中止** ボタンをタッチしてください。

※録音時の自動／手動は設定により変更できます。

☞ 「録音方法の手動／自動を選択する」 46ページ

※マッハリッピング(高速録音)をする場合も **録音中止** ボタンをタッチしていったん等速リッピングを止めてから各操作をしてください。

☞ 「**録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する**」 49～51ページ

CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合



アドバイス

Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。さらに等速リッピング(等速録音)とマッハリッピング(高速録音)があります。

☞ 「**本機のMusic Rack(HDD)機能について**」 47ページ

☞ 「Music Rackを使う」 86～123ページ

※音楽CD以外(MP3/WMAなど)は録音できません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回CDモード画面でOFF
(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回のつづきからCDの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションまたは前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AVソース画面のときは…

②にすすんでください。

- ラストモード*画面のときは…

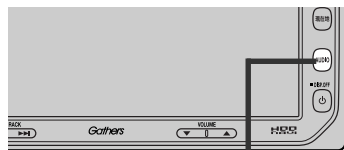
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

②画面の **CD** ボタンをタッチする。

：CDの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AVソース画面(例)



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- ☞ 「音量を調整する」 26ページ
- 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 「オーディオの調整をする」 32～41ページ



アドバース

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞ 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

CDプレーヤーを使う(3)

CDモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

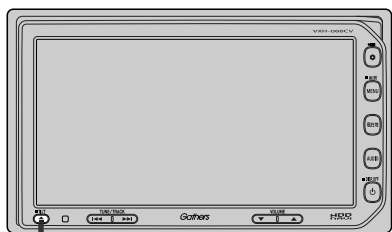
※CDの再生を止めても録音中の場合、録音は継続されます。



1 **電源** ボタン(⏻)

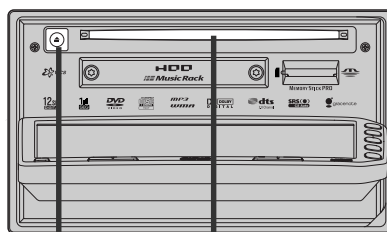
CDを取り出す

[ディスプレイが閉じた状態]



1 **TILT** ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2

パネルの **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押す。

：CDがDVD/CD挿入口より出てきます。



CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※ **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの〔トラック〕ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
「**〔トラックリストより好きなトラックを選び再生させる〕**」82、83ページ
- 録音中トラックを戻す／進めることは操作できません。

早戻し／早送りをする

1 パネルの〔トラック〕ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示

- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し



アドバイス

- それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。
〔トラック〕ボタン(◀◀／▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。
- 録音中早戻し／早送りはできません。

CDプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

CD TOPモード画面(例)



2

再生したいモード (**リピート** / **ランダム** / **スキャン**) を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

：再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすると下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(TOP画面で **REPEAT TRACK** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(TOP画面でマーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすると下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯/TOP画面で **RANDOM** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

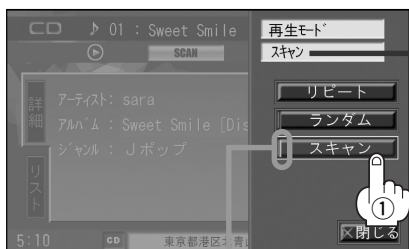


曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択時点灯

選択中の再生モード
の状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面で **SCAN** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

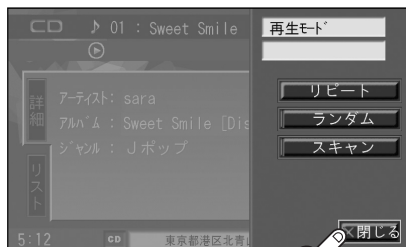
(表示灯点灯／マーク表示無)

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：CD TOPモード画面に戻ります。



3



アトハイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

CD

「リピート再生」／「ランダム再生」／「スキャン再生」

CDプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

- 1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。
：トラックリストが表示されます。

CD TOPモード画面(詳細表示(例))



アドバイス

CD TOPモード画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

CD TOPモード画面(例)



詳細表示

CD TOPモード画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CD TOPモード画面(トラックリスト表示時(例))



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示



アドバイス

トラックリストについて

- Gracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
- タイトル情報がない場合は、Track1、Track2、Track3……と表示されます。
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)



アドバース

録音 (REC) 中は操作できません。

※録音 (REC) 中はトラックリストを表示させてもトラックの選択はできません。トラックリストの確認のみとなります。



Music Rack

Music Rackを使う	86～123
各部の名称とはたらき	86
表示部(再生画面)について	87
Music Rackを聞く	88、89
Music Rackモードを終了する	89
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	90
早戻し／早送りをする	90
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	91
選曲メニューより選択し再生させる	92～99
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)	100～103
再生中の曲をお気に入り登録する	104、105
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを 設定する	106、107
好きなアルバムを選ぶ	108
アルバムリストの編集(曲管理)	109～115
トラックリストの編集(曲管理)	116～121
お気に入りを管理する	122、123

Music Rackを使う(1)

各部の名称とはたらき

登録 ボタン

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル/ミュージックエスコートに変更することができます。(104~107ページ)

リスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。(91ページ)

編集 ボタン

アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、再生選択やお気に入り管理などを行うことができます。(109~123ページ)

壁紙切換 ボタン (P)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。(289ページ)

選曲 ボタン

6種類の選曲メニュー(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。(92~99ページ)

再生モード ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(100~103ページ)

AUDIO ボタン

AVソース画面を表示します。
※ナビゲーション/CD/DVD/MP3/WMA/VTR/Digital TV/FM/AM/M.S./USBモードからMusic Rackモード切り替えるときに使用します。(89ページ)

電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)にします。また、2秒以上長押しで画面を消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(288ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

アルバム- ボタン

前のアルバムに戻ります。

アルバム+ ボタン

次のアルバムに進みます。

トラック ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると
早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。(90ページ)

Music Rack
TOPモード画面
(詳細表示時(例))



表示部(再生画面)について

リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

表示内容につきましては100～103ページを参照ください。

トラック番号：トラック名表示

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。[P. 32～34ページ]

※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

※イコライザ設定中はEQマークが表示されます。

[P. 35～37ページ]

再生状態表示

▶ : 通常再生

▶▶ : 早送り

◀◀ : 早戻し

(詳細表示時(例))

再生時間表示

選択中の選曲メニューの内容を表示します。

※選曲メニューで**全曲**／**アルバム**／

アーティスト 選択時は全曲表示となります。

また、**ジャンル**／**ミュージックエスコート**／

お気に入り 選択時にアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合も“全曲”表示となります。

選曲メニュー [P. 92ページ]

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

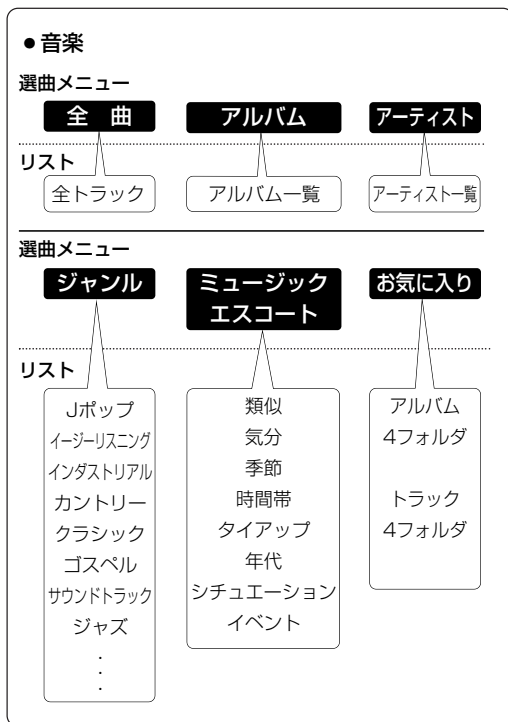


アドバイス

- 詳細表示のとき、トラック名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“トラック××”／“新規アーティスト”／“新規アルバム△△△△ △△△”と表示されます。
※××にはトラック番号、△にはリッピングした西暦・月・日の数字が入ります。
- 実在と異なるトラック名／アルバム名表示のままリッピングした場合は、異なった情報のまま本機にリッピングされます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

Music Rackを使う(2)

Music Rackイメージ図



★Music Rackに録音*された曲は自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲メニューに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。

選曲メニューの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。

※全曲は全てのトラックを表示します。お気に入りはお好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。

※ミュージックエスコートはMCDB(メディアクリックDB)の楽曲属性DBを利用して曲調によって分別されます。

※*印：録音につきましては「 録音する」47～51ページを必ずお読みください。

※選曲メニューでジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りを選択し、再生させているときにアルバムや曲の削除／再生選択を行なうと、詳細画面にしたとき選曲メニューは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲メニューの再生リストを継続しません。)

※録音された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。

Music Rackを聞く

※CDから1曲も本機に録音していない場合、Music Rackを聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Music Rackモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの電源ボタン(⏻)を押す。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① 電源ボタン(⏻)

□ ナビゲーションモードまたは前回Music Rackモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AVソース画面のときは…

② にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…

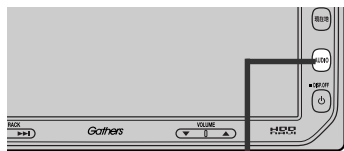
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② 画面の **Music Rack** ボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン



Music Rack

「聞く」

「HDDモードを終了する」

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 32～41ページ



Music Rackの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Music Rackモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMusic Rackの再生を止めます。(オーディオモード終了)



① **電源** ボタン(🔌)

Music Rackを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を
押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



1 **トラック** ボタン



アドバイス

画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」右記

早戻し／早送りをする

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を
押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

：◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

：▶▶側を押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続け、リストの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(92ページ)で選択したボタン(全曲・アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

詳細表示時(例)



 Music RackのTOPモード画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示／トラックリスト表示となります。

Music RackのTOPモード画面(例)



詳細表示

リスト ボタンタッチ →

← **詳細** ボタンタッチ

Music RackのTOPモード画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

トラックリスト表示時(例)



 /  ボタンタッチでページ戻し／送り表示

 TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

Music Rackを使う(4)

選曲メニューより選択し再生させる

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲メニューの各ボタン(全曲・アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)に自動でふり分けれます。選曲メニュー内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲メニューから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。

また、選曲メニューにはお好みの曲だけを集めることのできる“お気に入り”ボタンもあります。

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

 「再生中の曲をお気に入り登録する」 104、105ページ

1

画面の**選曲**ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲メニュー画面が表示されます。

Music Rack TOPモード画面(詳細表示時(例))



2

選曲メニューより選曲する方法(**全曲**／**アルバム**／**アーティスト**／**ジャンル**／**ミュージックエスコート**／**お気に入り**) を選択します。

選曲メニュー画面



選曲メニュー



アドバイス

- リッピングした曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲メニューを選択する前に **閉じる** ボタンをタッチするとTOPモード画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



次ページがある場合 ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト



：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバイス

●アルバムリスト表示(手順①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。



1. 画面の「登録順」ボタンをタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は「名前順」ボタンをタッチしてください。(アルバムの編集は「」110、111ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。

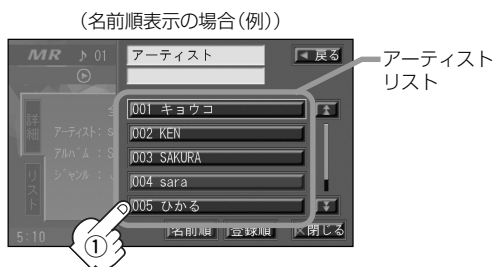
●次ページがある場合 ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

Music Rackを使う(5)

■ アーティスト ボタンをタッチした場合

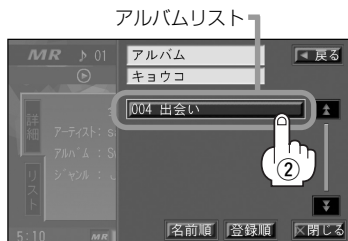
：アーティストリストが表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。



：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。



：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。



アドバイス

- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト(手順①)／アルバムリスト(手順②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 画面の「登録順」ボタンをタッチする。

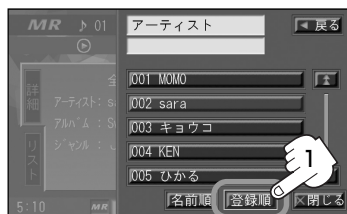
：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** ボタンをタッチしてください。(アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。

Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ(“アーティストよみ”の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(「 アルバム／アーティストの編集は110、111ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。

(登録順表示の場合(例))



■ ジャンル ボタンをタッチした場合

：ジャンルリストがポップアップ表示されます。

①再生させたいジャンルをタッチする。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



：選択した曲を再生します。



アドハイス

*ジャンル一覧

- | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------------|---------|
| ・ Jポップ | ・ ゴスペル | ・ パンク | ・ ポップス | ・ 演歌 |
| ・ イーザーリスニング | ・ サウンドトラック | ・ ヒップホップ | ・ メタル | ・ 世界の音楽 |
| ・ インダストリアル | ・ ジャズ | ・ フォーク | ・ ラテン | ・ その他 |
| ・ カントリー | ・ チャイルド | ・ ブックス | ・ リズムアンドブルース | |
| ・ クラシック | ・ データ | ・ ブルース | ・ レゲエ | |
| ・ クラブダンス | ・ ニューエイジ | ・ ホリデー | ・ ロック | |

- ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」 106ページ

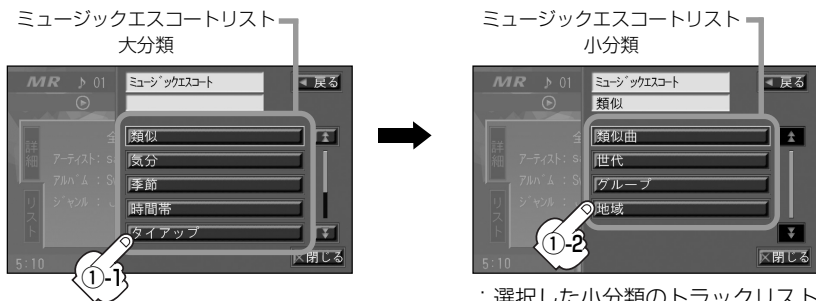
Music Rackを使う(6)

■ ミュージックエスコート ボタンをタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

①再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては右記表(アドバイス内)を参照ください。



：選択した小分類のトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
(下記)

□ 再選曲をする場合

再生モード選択画面のとき、再生させる曲を選択しなおすことができます。

※再生モード選択画面はMusic Rack TOPモード画面のとき **再生モード** ボタンをタッチして表示させます。
(100ページ)



1. 再選曲 ボタンをタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が自動で再選曲し、曲を再生します。

自動選曲 ボタンをタッチすると選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。



アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	60年代／70年代／80年代／90年代／00年代

- ミュージックエスコートにはMCDB (CD収録属性) を利用した主観的楽曲 (テンポ・シチュエーション・季節・男性／女性など) が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分に合わせて選曲が可能です。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 再生させたいミュージックエスコートを選択した場合ランダム／スキャン再生はできません。
 100～103ページ
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした (タイトル情報がある) 場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
 - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
 - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
 - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ (ソロ／デュエット／グループ) の曲
 - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
 - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲
 を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
 「 **再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する** 」 106、107ページ

Music Rackを使う(7)

■ お気に入り ボタンをタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

- ①再生させたいお気に入りアルバム1～4またはお気に入りトラック1～4をタッチする。



- Music Rack TOPモード画面で **登録** ボタンをタッチしてお気に入り登録をしていないと、下記手順1.以降の操作はできません。
- 1つのお気に入りアルバムに200アルバム、1つのお気に入りトラックに200曲の登録が可能です。

🔍 「再生中の曲をお気に入り登録する」
104、105ページ

□ お気に入りアルバム1 をタッチした場合

：お気に入りアルバム1に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。

お気に入りアルバム1の
アルバムリスト



：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



2. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りアルバム1の
トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

□ お気に入りトラック1 をタッチした場合

：お気に入りトラック1に収録されているトラックリスト表示とともにリストの1番上の曲が再生されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りトラック1の
トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。



次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとMusic Rack TOPモード画面に戻ります。



アドハイス

ジャンルリスト (P.95ページ)、ミュージックエスコートリスト (P.96ページ)、お気に入りリスト (P.98ページ)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベース/MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。さらに表示部は“——”となります。

Music Rackを使う(8)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

Music Rack TOPモード画面(例)



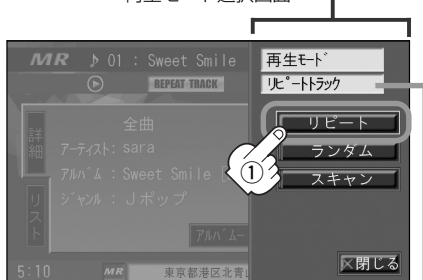
2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン**)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

：リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)

今聞いているアルバムの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT ALBUM マーク表示有)

今聞いているアーティストの
中からリピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT ARTIST マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)



アドバース

選曲メニュー(**92**ページ)の中で **ジャンル** / **ミュージックエスコート** * を選択し、再生させている場合は今聞いているトラックのリピート再生のみとなります。

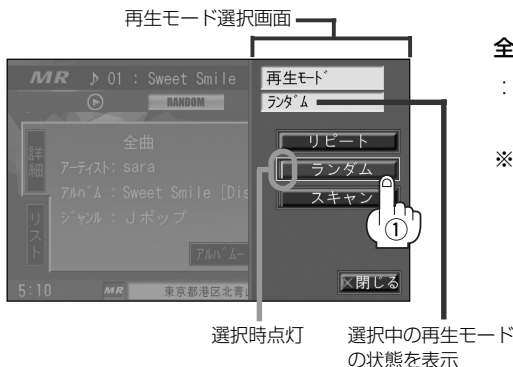
※ **お気に入り** を選択し、再生させている場合はアーティストのリピート再生はできません。

※ *印：再選曲することができます。

96ページ参照

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。

：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。(TOP画面で **RANDOM** マーク表示有)

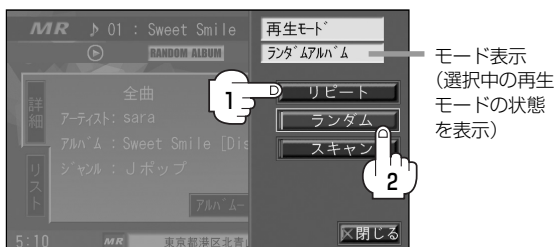
※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。(マーク表示無)

全曲のランダム再生以外にもアルバム／アーティストのランダム再生をすることができます。(下記)

□ アルバムまたはアーティストのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。

※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

- 再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は **RANDOM ALBUM** となります)

- 再生モードが“リピートアーティスト”のとき

今聞いているアーティストの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は **RANDOM ARTIST** となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



アドバイス

●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

●選曲メニュー(92ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときランダム再生はできません。また、**ジャンル** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのランダム再生ができません。

※ **お気に入り** を選択し、再生させている場合はアーティストのランダム再生はできません。

Music Rackを使う(9)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

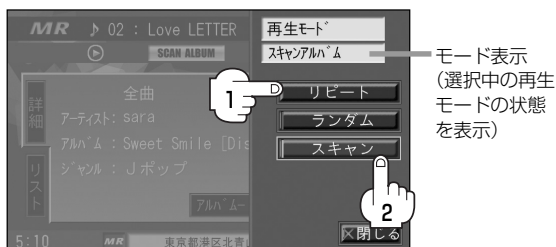
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもアルバム／アーティストのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ アルバムまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。

※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートアルバム” のとき

今聞いているアルバムの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN ALBUM** となります) ※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)

●再生モードが“リピートアーティスト” のとき

今聞いているアーティストの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN ARTIST** となります)



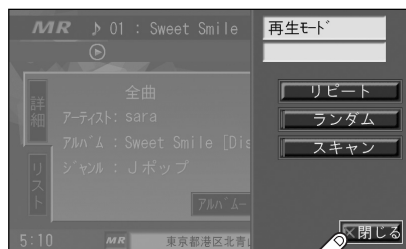
- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- 選曲メニュー(92ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときスキャン再生はできません。また、**ジャンル** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのスキャン再生ができません。
- ※ **お気に入り** を選択し、再生させている場合はアーティストのスキャン再生はできません。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

： Music Rack TOPモード画面に戻ります。



3



アドハイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

Music
Rack

〔再生モード選択（スキップ）〕

Music Rackを使う(10)

再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

画面の **登録** ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。

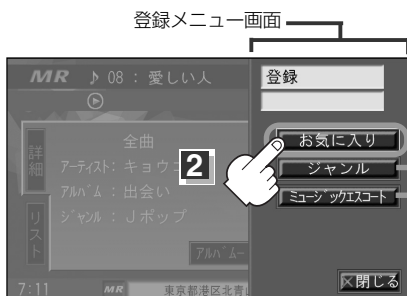


2

画面の **お気に入り** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中はお気に入り登録できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。



：お気に入り登録画面が表示されます。

ジャンル ボタン

1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。

 106ページ参照

ミュージックエスコート ボタン

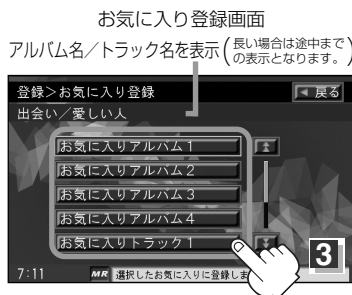
再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。

 107ページ参照

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合はお気に入りアルバム1～4の中から、再生中トラックを登録したい場合はお気に入りトラック1～4の中から登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順 **1** の画面に戻ります。





アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 「**お気に入りを管理する**」 122、123ページ、
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
- ・ アルバムを登録するときは
 「**アルバムリストの編集(曲管理)**」 109ページ
 手順 **1** ~ **3** と115ページ
 ■ **お気に入り登録 ボタンをタッチした場合** にしたがって操作する。
- ・ トラックを登録するときは
 「**トラックリストの編集(曲管理)**」 116ページ
 手順 **1**、**2** と121ページ
 ■ **お気に入り登録 ボタンをタッチした場合** にしたがって操作する。

お気に入りフォルダ(お気に入リスト)の構成

お気に入りアルバム1

 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム2

 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム3

 フォルダ 200アルバム
(200CD)

お気に入りアルバム4

 フォルダ 200アルバム
(200CD)
4つのアルバム
フォルダ1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能

お気に入りトラック1

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック2

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック3

 フォルダ 200トラック
(200曲)

お気に入りトラック4

 フォルダ 200トラック
(200曲)
4つのトラック
フォルダ1フォルダに200曲
合計800曲登録可能Music
Track

(再生中の曲をお気に入り登録)

Music Rackを使う(11)

再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によって振り分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1 画面の **登録** ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2 設定(カスタマイズ)しなおしたい(**ジャンル** / **ミュージックエスコート**) ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は設定できません。

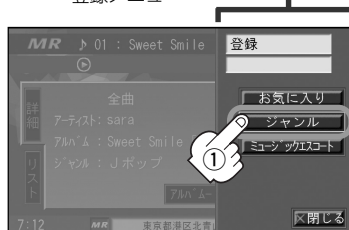
はい ボタンをタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

① **ジャンル** ボタンをタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー



② **トラック単位** または **アルバム単位** ボタンをタッチする。



選択中トラックのジャンル変更となります。

選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中のトラック名またはアルバム名を表示

③ お好きなジャンルをタッチする。



：ジャンルは変更(登録)され Music Rack TOPモード画面に戻ります。

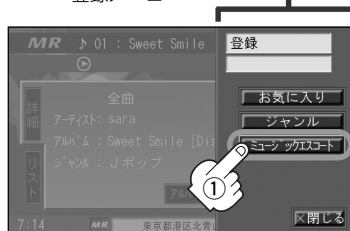
※ジャンルの種類につきましては95ページアドバイス内「*ジャンル一覧」を参照ください。

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① ミュージックエスコート ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー



② リストより小分類を選択し、**決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

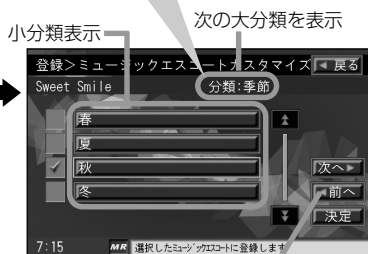
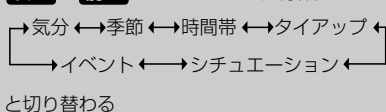


リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：設定されていません。

✓表示：設定されています。

次へ／前へ ボタンタッチで大分類が



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、Music Rack TOPモード画面に戻ります。

分類	
大分類	小分類
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング……
・	・
・	・

- ミュージックエスコートの大分類／小分類の一覧につきましては、P.97ページアドバイスを参照してください。
- ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

Music Rack

ジャンルを変更したい／ミュージックエスコート



アドバイス

● **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

● **↑** **↓** ボタンタッチでページ戻し／送り表示することができます。

Music Rackを使う(12)

好きなアルバムを選ぶ

アルバムごとを選択することができます。

1

Music Rack TOPモード画面が詳細表示のとき、画面の **アルバム-** / **アルバム+** ボタンをタッチする。

■ 前のアルバムに戻る場合

アルバム- ボタンをタッチする。

■ 次のアルバムに進む場合

アルバム+ ボタンをタッチする。

Music Rack TOPモード画面(詳細表示(例))



アドハイス

●ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りトラック*再生中は **アルバム-** / **アルバム+** ボタンは選択できません。

(*: お気に入りアルバムの場合は選択できます。)

●Music Rack TOPモード画面は選択するボタンによって詳細表示/トラックリスト表示と表示が異なります。

トラックリスト表示の場合は画面の **詳細** ボタンをタッチして詳細表示にして上記手順 **1** の操作を行ってください。

トラックリスト表示時(例)



アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

1

画面の **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

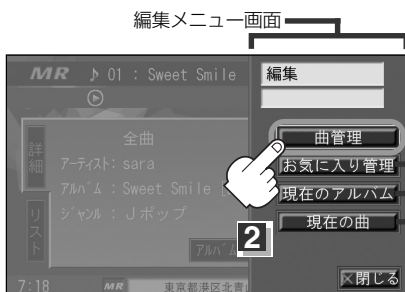


2

編集メニューより **曲管理** ボタンをタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。**はい** ボタンをタッチして再生を停止してください。



お気に入り管理 ボタン

お気に入りフォルダ名の変更や削除などを行うことができます。

☞ 122、123ページ

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

☞ 110ページ

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

☞ 117ページ

3

編集したいアルバムを選択し、

操作したいボタン(**アルバム編集** /

再生選択 / **お気に入り登録** / **削除**)

をタッチします。



3-1 アルバムリスト

3-2

※トラックの編集(**トラック表示** ボタンにつきまして)は「**トラックリストの編集(曲管理)**」116～121ページを参照してください。

Music Rackを使う(13)

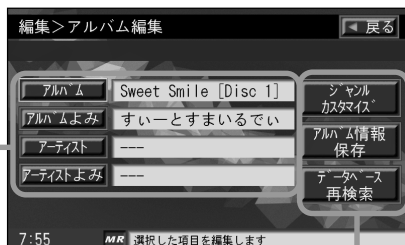
■ アルバム編集 ボタンをタッチした場合

：アルバム編集画面が表示されます。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は
☞ 110、111ページ参照

アルバム編集画面



お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
☞ 112、113ページ参照

□ タイトルの編集をするときは…

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面



アルバム名

アルバム名の読みがな
(読みかた)

アーティスト名

アーティスト名の読みがな
(読みかた)



アドバイス

- **アルバムよみ** の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアルバム名をかな読み表示します。
- アーティスト名 (**アーティスト**) は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(☞ 93ページ)／アーティストリスト画面(☞ 94ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名／アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(☞ 117ページ)から確認することができます。
- ※再生画面(Music Rack TOPモード画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

②入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「わわ」と入力する場合

←→ ボタンをタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

1 **わ** ボタンをタッチする。
：画面上部に、「わ」があらわれます。

3 **ワ** ボタンを選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。



入力した文字を訂正する場合

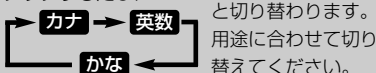
① **訂正** ボタンをタッチする。

：1文字消去します。

※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを1.5秒以上タッチします。

②正しい文字を入力する。

2 **カナ** ボタンをタッチする。
：50音パレットがカタカナになります。
※タッチするたびに



と切り替わります。
用途に合わせて切り替えてください。

小文字に変換したい場合

小文字 ボタンをタッチする。

：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字になります。

※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

漢字を入力する場合

例「桜」を入力する場合

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に ←→ ボタンを選択します。



1 **さくら** をタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

2 **変換** ボタンをタッチする。

：さくらに該当するリストが表示されます。

3 **桜** ボタンをタッチする。
：画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に **閉じる** ボタンをタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

• 次ページがある場合 ↑/↓ ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

※ **無変換** ボタンをタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

③入力が終わったら…

画面の **決定** ボタンをタッチする。

：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。

Music Rackを使う(14)

□ ジャンルを変更するときは…

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

- ① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

- ② **好きなジャンルボタン**をタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



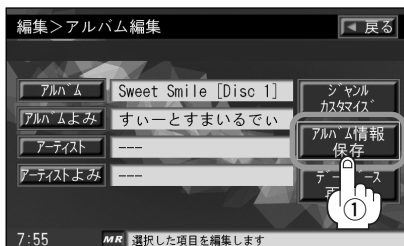
：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

□ アルバム情報を保存するときは…

※本機(HDD)に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

- ① **アルバム情報保存** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面



：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

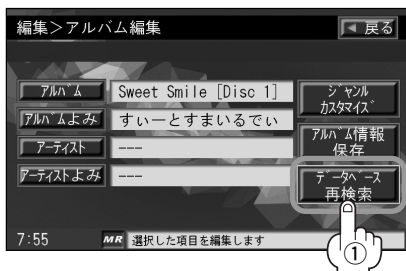
カスタムアップデート

1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(☞57ページ①～⑤)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(☞57、58ページ⑥、⑦)

□ データベースから再検索するときは…

① データベース再検索 ボタンをタッチする。

アルバム編集画面



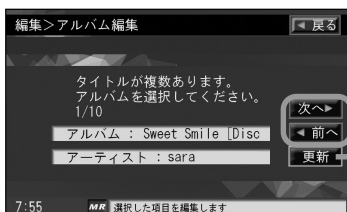
※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

データベース再検索をしたときタイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。
※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1 次へ／前へ をタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2 上書きするアルバム名が決まったら 更新 をタッチします。

Music Rackを使う(15)

- **再生選択** ボタンをタッチした場合 ※✓マークのアルバムのみ再生させることができます。

：再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないアルバムをタッチする。

再生選択画面(例)



アルバムを一括で選択することができます。
(すべてのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このアルバムは再生されません。

✓表示：このアルバムは再生されます。

②画面の**決定** ボタンをタッチする。



：曲管理画面(109ページ)に戻ります。



アドバンス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
 - 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** ボタンが表示されます。
- ※ **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

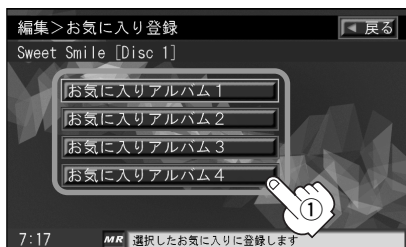
■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

※アルバムリスト(📖 109ページ)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

：お気に入り登録画面が表示されます。

①登録したい場所(お気に入りアルバム1～4)をタッチする。

お気に入り登録画面



：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面(📖 109ページ)に戻ります。



アドバイス

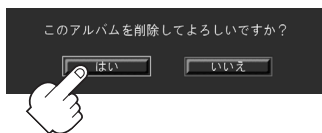
- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するには116ページ手順 **1**、**2** と121ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。

📖 「**再生中の曲をお気に入り登録する**」 104、105ページ

■ 削除 ボタンをタッチした場合

※アルバムを削除することができます。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



⚠ 注意

削除には他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりACCの状態からI(ACC)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。



アドバイス

- 次ページがある場合 **⬆** / **⬇** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(16)

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

- 1** 109ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示** ボタンをタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。



- 2** 編集したいトラックを選択し、操作したいボタン(**トラック編集**／**再生選択**／**お気に入り登録**／**削除**)をタッチする。



アドバイス

編集したいトラックを選択しなくても**再生選択**ボタンはタッチ(操作)することができます。

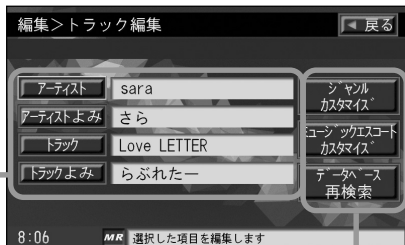
■ **トラック編集** ボタンをタッチした場合

：トラック編集画面が表示されます。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほか、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索(タイトル情報の上書き)をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は下記参照

トラック編集画面



お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
P 118、119ページ参照

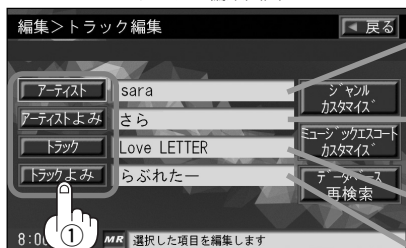
□ **タイトルの編集をするときは…**

※アーティスト名／トラック名や、アーティスト名／トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アーティスト名

アーティスト名の読みがな
(読みかた)

トラック名

トラック名の読みがな
(読みかた)



アドバイス

- **アーティストよみ**／**トラックよみ**の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアーティスト名／トラック名をかな読みにて表示します。
- アーティスト名(**アーティスト**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(P 94ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

② 入力する。

※入力のしかたは111ページを参考にしてください。

Music Rackを使う(17)

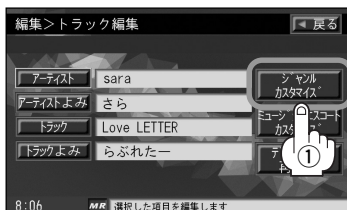
□ **ジャンルを変更するときは…** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

② **好きなジャンルボタンをタッチする。**

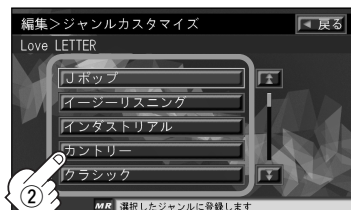
※ジャンルの種類につきましては[P.95ページ]アドバイスを参照してください。

トラック編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

ジャンルカスタマイズ画面

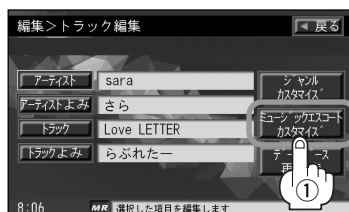


：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

□ **ミュージックエスコート(分類)を変更するときは…** ※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

① **ミュージックエスコートカスタマイズ** ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



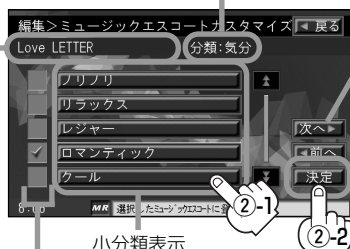
② **リストより小分類を選択し、決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

次へ / 前へ ボタンタッチで大部分が
気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ
→ イベント ↔ シチュエーション ← と切り替わる

選択中のトラック名表示

選択中トラックがどの大分類に属するか表示

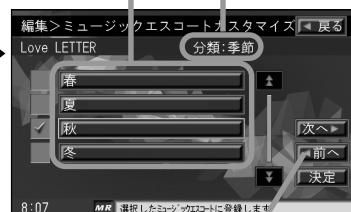


小分類表示

次へ をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示

前へ をタッチすると1つ前の大分類の小分類リストを表示

小分類表示 次の大分類を表示



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：設定されていません。

✓表示：設定されています。

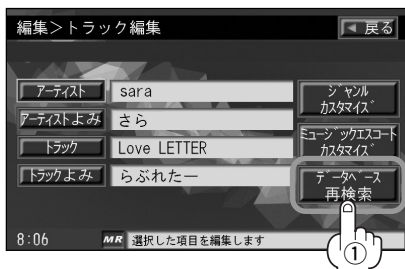
：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、Music Rack TOP画面に戻ります。

※ミュージックエスコートの分類/小分類(一覧)につきましては[P.97ページ]アドバイスを参照してください。

□ データベースから再検索するときは…

① データベース再検索 ボタンをタッチする。

トラック編集画面



※誤ったタイトル（アーティスト名／トラック名）が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。（上書きできない場合もあります。）

編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

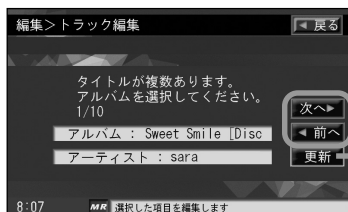
：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。



アドハイス

タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1

「次へ」／「前へ」をタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2

上書きするアルバム名が決まったら「更新」をタッチします。

Music Rackを使う(18)

- **再生選択** ボタンをタッチした場合 ※✓マークのトラックのみ再生させることができます。

：再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないトラックをタッチする。

再生選択画面(例)



トラックを一括で選択することができます。
(すべてのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このトラックは再生されません。

✓表示：このトラックは再生されます。

②画面の**決定** ボタンをタッチする。



：曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

●✓マークを外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。

●本機の実アルアルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に**前へ**／**次へ** ボタンが表示されます。

※ **前へ**／**次へ** ボタンをタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

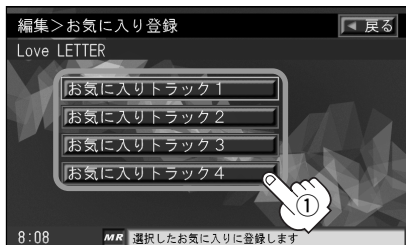
■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

※トラック表示画面(116ページ)より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

：お気に入り登録画面が表示されます。

①登録したい場所(お気に入りトラック1~4)をタッチする。

お気に入り登録画面



：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。



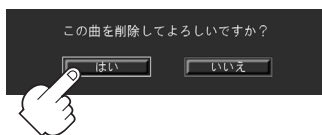
アドバース

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するには109ページ手順 **1** ~ **3** と115ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
 「再生中の曲をお気に入り登録する」 104、105ページ

■ 削除 ボタンをタッチした場合

※トラックを削除することができます。

：選択したトラック(曲)を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



⚠ 注意

削除には他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりACCの状態からI(ACC)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。



アドバース

- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(19)

お気に入り进行管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1~4/お気に入りトラック1~4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム/トラックの)削除をすることができます。

1

画面の **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



2

編集メニューの **お気に入り管理** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。**はい** ボタンをタッチして再生を停止してください。



：お気に入り管理画面が表示されます。

曲管理 ボタン

アルバムの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。

☞ 109~115ページ

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

☞ 110ページ

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

☞ 117ページ

3

編集したいお気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1~4またはお気に入りトラック1~4)を選択し、操作したいボタン(**フォルダ内表示** / **フォルダ名編集** / **削除**)をタッチします。



↑ / ↓ ボタンタッチで
1ページずつの戻り送り表示



お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。

☞ 105、115、121ページを参照してください。

■ フォルダ内表示 ボタンをタッチした場合

(選択したアルバムまたはトラックの削除)

：フォルダ内表示画面が表示されます。

- ①削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、**削除** ボタンをタッチする。

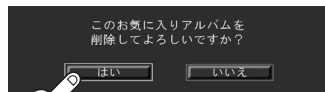
フォルダ内表示画面



手順 **3** で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ②削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 ボタンをタッチした場合

：タイトル編集画面が表示されます。

- ①画面の50音パレットを使って入力し、**決定** ボタンをタッチする。

※入力のしかたは111ページを参考にしてください。

※タイトル(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4の名前)を変更することができます。



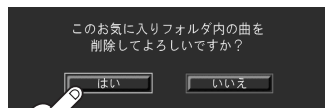
■ 削除 ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ (アルバム1～4／トラック1～4)内の曲を一括で削除することができます。

(1フォルダ(最大200アルバム)ごとの削除)

- ①削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。



アドバース

- 次ページがある場合 **▲**／**▼** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり電源を切ったりなど)をしないでください。故障の原因となります。



MP3/WMA

MP3/WMAについて	126～131
MP3/WMAを使う	132～139
各部の名称とはたらき	132
表示部(再生画面)について	133
MP3/WMAを聞く	134、135
MP3/WMAモードを終了する	135
MP3/WMAディスクを取り出す	135
1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)...	136
早戻し／早送りをする	136
好きなフォルダを選ぶ	137
再生モードを選択する(リピート再生)	138、139

MP3／WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3（MPEG Audio Layer 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	 130ページ参照	 131ページ参照
対応ビットレート*2		

- *1印：●DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
 - Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- *2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
 - VBRに対応しています。
 - フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
 - ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
 - ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)／WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
 - *1)：拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドビ

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
- ※WMAタグの表示可能文字数は半角32文字です。
- ※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。



アトハイブ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(飛ばします。)

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクは動作しません。

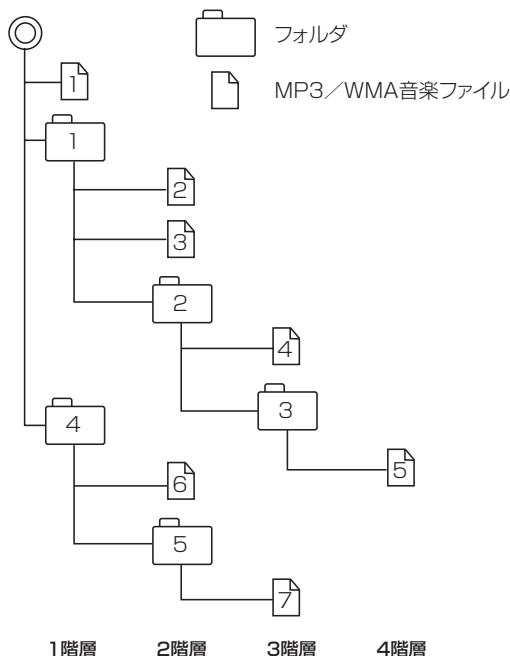
上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角32、半角64文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_ (アンダースコア)、JIS第一水準
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255 (ファイル数＋フォルダ数)
- 最大フォルダ数 : 50
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3/WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り(料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行ないます。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3／WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2	
サンプリング周波数 (kHz)			
16.000		○	
22.050		○	
24.000		○	
32.000			
44.100			○
48.000			○
ビットレート (kbps)			
8	—	○	
16	—	○	
24	—	○	
32	○	○	
40	○	○	
48	○	○	
56	○	○	
64	○	○	
80	○	○	
96	○	○	
112	○	○	
128	○	○	
144	—	○	
160	○	○	
192	○	—	
224	○	—	
256	○	—	
320	○	—	
VBR	○	○	

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

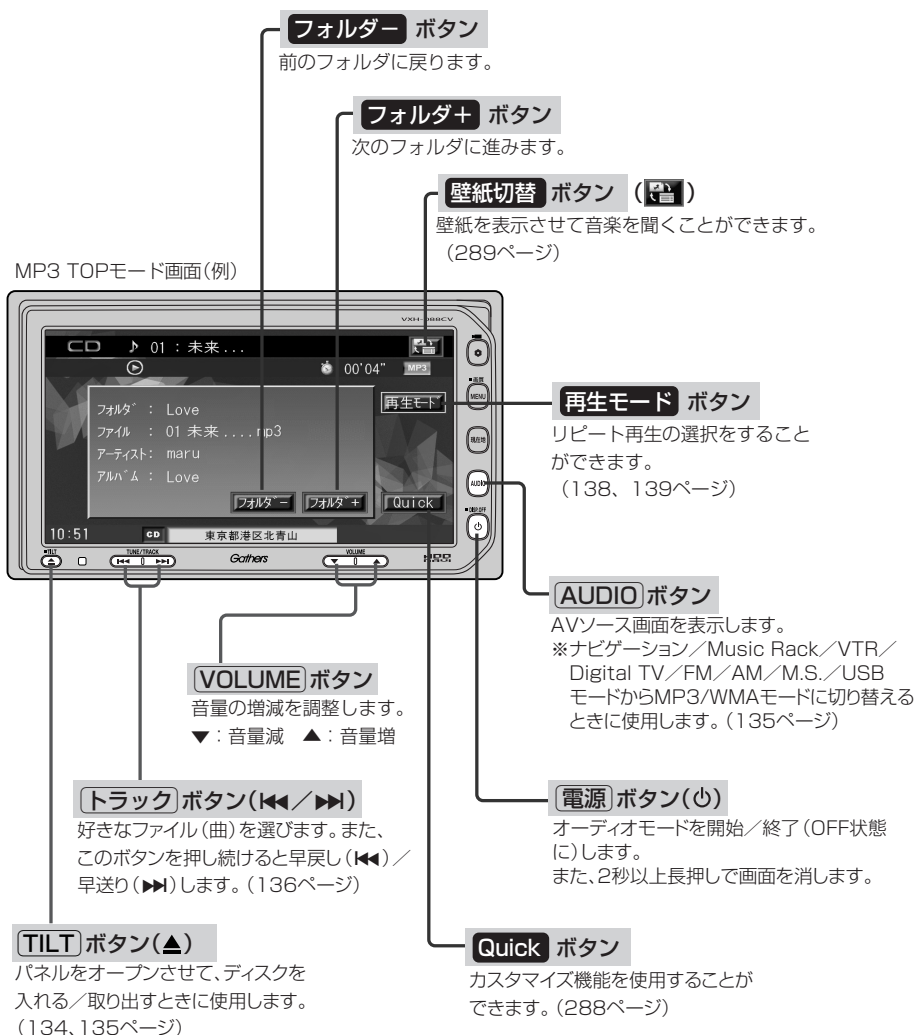
●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAを使う(1)

各部の名称とはたらき



表示部(再生画面)について

ファイル番号／トラック名表示

リピート選択時に表示

REPEAT TRACK 表示有：ファイルリピート時

REPEAT FOLDER 表示有：フォルダリピート時

(例)

再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し

音場(臨場感)表示

[P] 32～34ページ

※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。[P] 35～37ページ

再生時間表示

MP3モード表示

- WMAモードの場合は **WMA** となります。



フォルダ番号＊／フォルダ名

ファイル番号＊／ファイル名

アーティスト名

アルバム名

タイトル名



アトハイス

- トラック名／ファイル名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)

※＊印：フォルダ番号／ファイル番号は作成したディスク(MP3／WMAファイル)によっては表示されません。

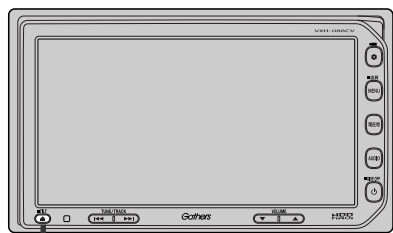
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／フォルダ番号・フォルダ名／ファイル番号・ファイル名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。

※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

- トラック名／アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title” と表示されます。

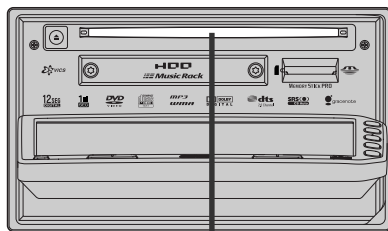
MP3／WMAを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 [OPEN] ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 DVD/CD挿入口

MP3／WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの [TILT] ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。



ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2

DVD/CD挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- ☐ 前回MP3／WMAモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの [電源] ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからMP3／WMAの再生を始めます。



① [電源] ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AVソース画面のときは…

② にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…

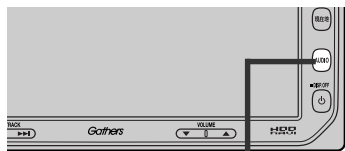
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

② 画面の **CD** ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AVソース画面(例)



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

👉 「音量を調整する」 26ページ

「映像の調整のしかた」 27～29ページ

「オーディオの調整をする」 32～41ページ



アドバンス

MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

👉 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

MP3/WMAモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)

MP3/WMAディスクを取り出す

1

78ページ **CDを取り出す** の手順 1、2 にしたがって操作してください。

MP3/WMA

「聞く」

「MP3/WMAモードを終了する」

「取り出す」

MP3/WMAを使う(3)

1 ファイルずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの[トラック]ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

※聞きたい曲のファイル番号を表示させます。



1 [トラック]ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。

早戻し/早送りをする

1 パネルの[トラック]ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 [トラック]ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドハイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。[トラック]ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダー** / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



MP3/WMAを使う(4)

再生モードを選択する(リピート再生)

再生モード(リピート)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードが表示されます。

MP3 TOPモード画面(例)



2 画面の **リピート** ボタンをタッチする。

：リピート再生(繰り返し再生)されます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているファイルのリピート再生

(TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)



今聞いているフォルダのリピート再生

(TOP画面のとき **REPEAT FOLDER** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)



再生モードの状態を表示



アドバンス

TOP画面にマーク表示がある限りリピート再生を繰り返します。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：MP3 TOPモード画面に戻ります。



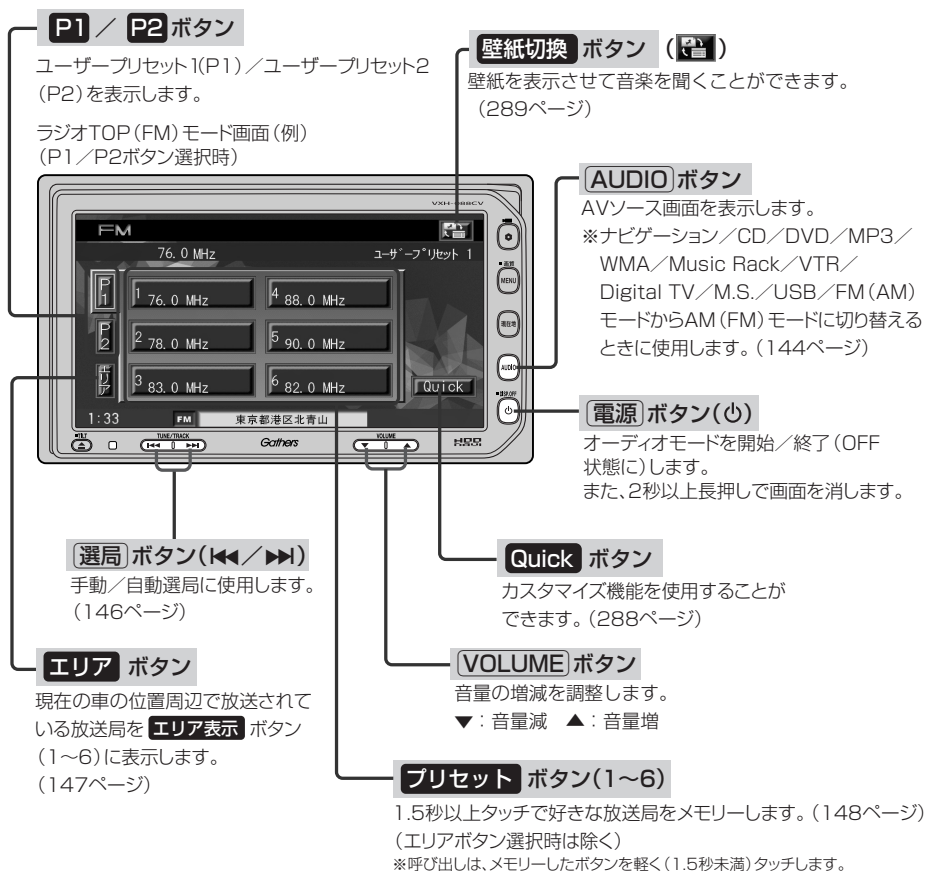


ラジオ

ラジオを使う	142～148
各部の名称とはたらき	142、143
表示部について	143
ラジオを聞く	144
ラジオモードを終了する	145
プリセットを選ぶ	145
選局する	146、147
プリセットボタンにメモリーする	148
交通情報を受信する	149

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき



更新 ボタン

エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示しなおします。(147ページ)

次へ ボタン(前へ ボタン)

エリアボタン選択時(表示灯黄色点灯時)に、エリアが7局以上ある場合 **次へ** ボタンが表示されます。

タッチするたびに次ページ↔前ページと切り替わります。

(147ページ)

ラジオTOP (FM) モード画面(例)(エリアボタン選択時)

**エリア ボタン**

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を

エリア表示 ボタン(1~6)に表示します。

(147ページ)

エリア表示 ボタン(1~6)

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン(1~6)に表示されます。(147ページ)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

表示部について**音場(臨場感)表示** (32~34ページ)

※交通情報受信中では機能しません。
また、音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。

☞ 35~37ページ

周波数**放送局名(半角13文字まで表示)****プリセットまたは
エリア表示****ステレオ放送表示**

ステレオ放送受信時のみ表示されます。
(146ページ)

※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ラジオを使う(2)

ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回ラジオ (FM/AM) モード画面でOFF (オーディオモードを終了) していた場合

① パネルの **電源** ボタン (⏻) を押す。

：ラジオ放送を受信します。

- ナビゲーションモードまたは前回ラジオ (FM/AM) モード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード* 画面が表示されます。

- AVソース画面のときは…

②にすすんでください。

- ラストモード* 画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

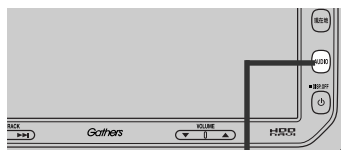
*：前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

②画面の **FM** または **AM** ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。



① **電源** ボタン (⏻)



① **AUDIO** ボタン



AVソース画面 (例)



ラジオの操作説明はFM画面の場合にて説明していますがAMも同様の操作手順となります。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 32～41ページ



ラジオ (FM/AM) の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

ラジオモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)

プリセットを選ぶ

P1/P2の中から聞きたいプリセットを選択することができます。

FMモードの場合

1

画面の **P1** または **P2** ボタンをタッチする。

: 144ページ手順②で選択したモード(**FM** / **AM**)の **プリセット** ボタン表示となります。

※ **プリセット** ボタンを使っの選局は
148ページを参照ください。

P1: ユーザープリセット1
P2: ユーザープリセット2



プリセット ボタン(1~6)



ラジオ TOPモード画面は選択するボタン(**P1** / **P2** または **エリア**)によってプリセット表示またはエリア表示となります。

ラジオ TOPモード画面(例)
プリセット表示時



ラジオ TOPモード画面(例)
エリア表示時



エリア ボタンタッチ →

← **P1** / **P2** ボタン
タッチ

ラジオ

「切る」／「聞く」／「選ぶ」

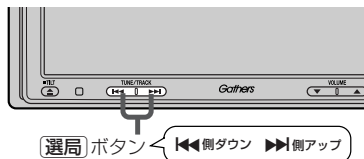
ラジオを使う(3)

選局する 手動選局／自動選局／プリセット選局／エリア選局があります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

： ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHz
ずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を0.7秒以上押す。

： 自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押すと、自動選局は止まります。



- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ ユーザープリセット選局(P1／P2)で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタン(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** ボタン(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

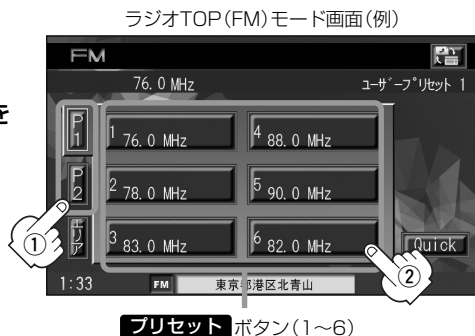
☞ 「 **プリセットボタンにメモリーする** 」 148ページ

① プリセットを選ぶ。

☞ 「 **プリセットを選ぶ** 」 145ページ

② 呼び出したい **プリセット** ボタン(1～6)を タッチする。

： 選択したラジオ放送を受信します。



■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① エリア ボタンをタッチする。

ラジオTOP (FM) モード画面 (例)



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** ボタン (1～6) に表示されます。

② エリア表示 ボタン (1～6) の中で聞きたい放送局をタッチする。

エリアが7局以上ある場合、次のページを表示する



：選択したラジオ放送を受信します。

エリア表示 ボタン (1～6)
※エリアが6局に満たない場合、表示ボタンの数は減ります。



アドバイス

- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** ボタンに表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が7局以上ない場合 **次へ** ボタンは表示されません。7局以上ある場合は **次へ** ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は **前へ** ボタンをタッチします。
- エリア表示のまま放置 (走行) していた場合に **更新** ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- ラジオTOPモード画面は選択するボタン (**エリア** または **P1** / **P2**) によってエリア表示またはプリセット表示となります。[P] 145ページアドバイス参照

ラジオを使う(4)

プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、**プリセット**ボタン(1~6)にメモリーします。

FM、AMの各バンドで、P1/P2ボタンに6局ずつ、計24局メモリーできます。

1

バンドを選ぶ。

「**プリセットを選ぶ**」145ページ

2

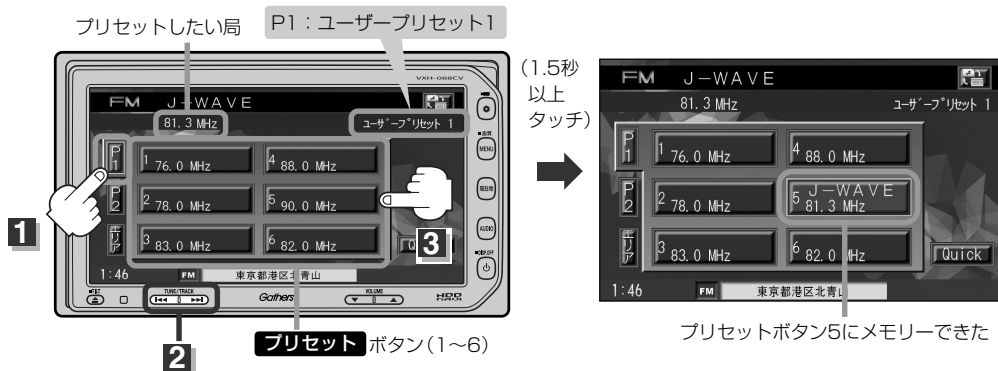
パネルの**選局**ボタン(◀▶)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

「**■ 手動選局で放送局を選ぶ場合** / **■ 自動選局で放送局を選ぶ場合**」146ページ

3

画面の**プリセット**ボタン(1~6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

例 手順**1**で“FM”の“P1”を、また手順**2**で“81.3MHz”を選び、**プリセット**ボタン5にメモリーする場合



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

- メモリーした放送局を呼び出すには、**P1** または **P2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)を軽く(1.5秒未満)タッチします。

「**■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合**」146ページ

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通方法を受信することができます。

- 1 パネルの **AUDIO** ボタンを押して
AVソース画面を表示させ、画面の
交通情報 ボタンをタッチする。

：交通情報設定画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

AVソース画面



1-1 **AUDIO** ボタン

交通情報設定画面(例)



■ 周波数の設定を変える場合

- ① 交通情報設定画面のとき **1629kHz**
ボタンをタッチする。



：1629kHzの交通情報を受信します。

※1620kHzに戻したい場合は

1620kHz ボタンをタッチしてください。

- 3 交通情報の受信を止めるには…

パネルの **電源** ボタン(⏻)または他のモードを選択する。

： **電源** ボタン(⏻)を押すと画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

AUDIO ボタンを押してAVソース画面にし、モードボタンをタッチすると選択したモードに切り替わります。



次回 **交通情報** ボタンをタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。



DVD

DVDプレーヤーについて	152、153
DVDプレーヤーを使う	154～175
各部の名称とはたらき	154～156
再生を始める	157～159
DVDモードを終了する	159
DVDディスクを取り出す	159
再生を停止する	160
再生を一時停止(静止)する	161
再生中にチャプターを戻す／進める	162
早戻し／早送りをする	162
コマ戻し／コマ送りをする	163
スロー戻し／スロー送りをする	163
DVDメニューを使う	164、165
タイトルメニューを使う	166、167
好きな所から再生する(サーチ選択)	168、169
音声言語／字幕言語を切り替える	170
時間の表示を替える	171
リピート(繰り返し)再生する	172
アングル(角度)を切り替える	173
VRモードディスク内の映像をリストより選択し 再生させる	174、175
DVDの初期設定について	176～183
各部の名称とはたらき	176
初期設定を変更する	177～183

DVDプレーヤーについて

■本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

▲本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

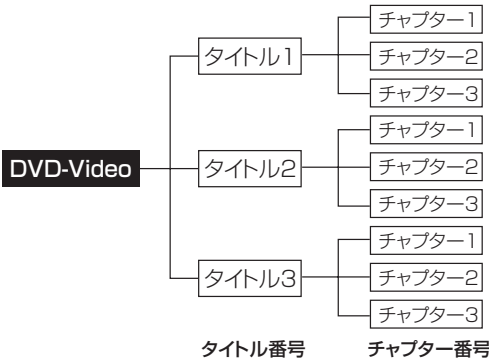
■ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。（例）

マーク(例)	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比(TV画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

■ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



■VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RWにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、BSデジタル・地上波デジタルテレビ放送・一部のスカイパーフェクTVなどの「一回だけ録画可能(コピーワンス)」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RWにDVDビデオレコーディングモードで記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※DVD-R DLのVRディスクは再生できません。

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。) 未ファイナライズのDVD-RのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

●DVD再生ディスク対応一覧表

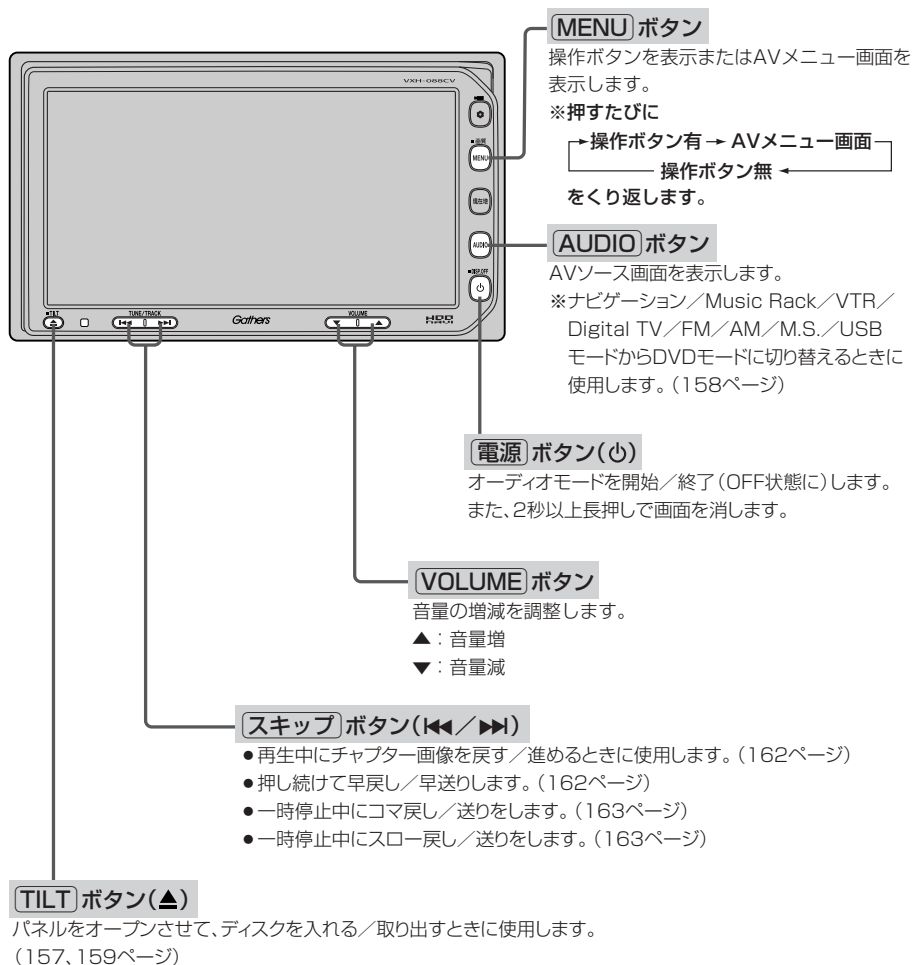
録画映像の種類 メディアの種類	録画制限無し	一回だけ録画可能	録画禁止
DVD-RW (VRモード) CPRM対応	○	○	×*1
DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	○	—	×*1
DVD-R (Videoモード) DVD-RW (Videoモード) DVD+R (Videoモード) DVD+RW (Video、VRモード)	○	—	×*1
DVD-R (VRモード) CPRM非対応に関わらず	○*2	○*2	×
DVD+R (VRモード) CPRM非対応に関わらず	×	×	×
DVD-RAM	×	×	×
CD-R	×	×	×
DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応に関わらず	×	×	×

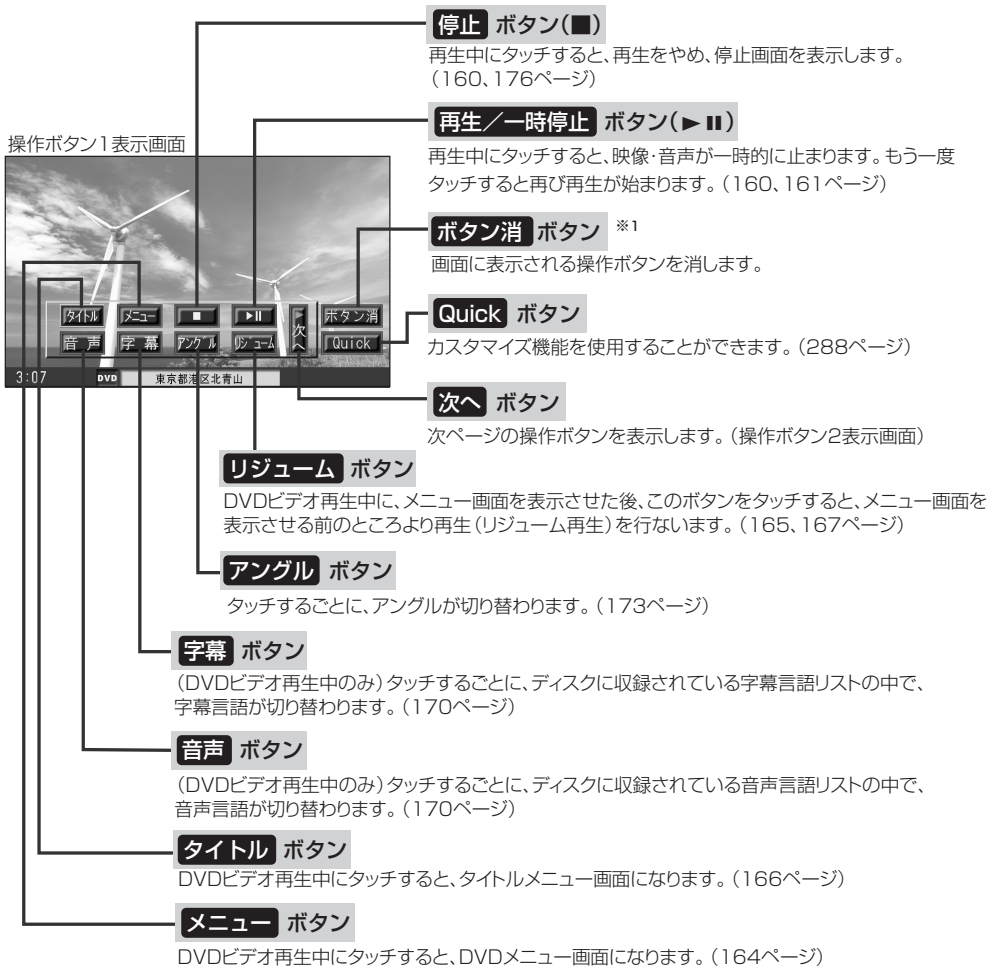
*1印：ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

*2印：ファイナライズ処理が必要です。

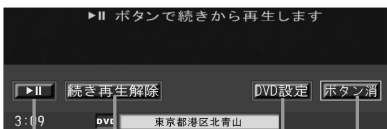
DVDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき





停止画面



DVD設定 ボタン ※1
DVD設定画面を表示します。(176、177ページ)

続き再生解除 ボタン
続きメモリ機能を解除します。(160、176ページ)

再生／一時停止 ボタン(▶||)
再生を始めるときに使用します。(160、176ページ)

映像
DVD

〔各部の名称とはたらき(パネル部／タッチパネル部)〕

DVDプレーヤーを使う(2)

リピート ボタン

タッチすることにリピートモードが切り替わります。(172ページ)

操作ボタン2表示画面

カーソル ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

10キー ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

前へ ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

ボタン消 ボタン ※1

画面に表示される操作ボタンを消します。

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(288ページ)

リターン ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

エンター ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

サーチ ボタン

タイトル、チャプター、タイムのサーチ選択画面を表示します。(168、169ページ)

タイム ボタン

画面左上に再生の時間を表示します。(171ページ)

カーソル表示画面

戻る ボタン

操作ボタン2表示画面を表示します。

ボタン移動 ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

カーソルキー
↑(上) / ↓(下)
←(左) / →(右)
ボタン

項目を上下左右選択します。

実行 ボタン※2

画面で選んだ項目を実行(決定)します。

切替 ボタン

サーチモードを切り替えます。

サーチ選択画面



訂正 ボタン ※4

10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

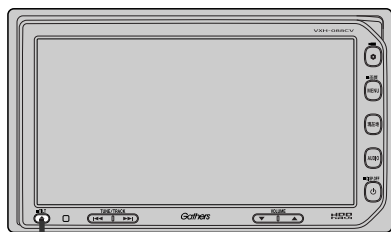
10キー ボタン(0~10) ※3

数字を入力するときに使用します。

10キー入力画面

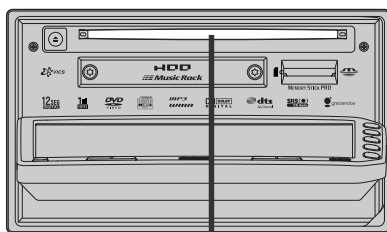


[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 DVD/CD挿入口

再生を始める



安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

■ ディスク未挿入の場合

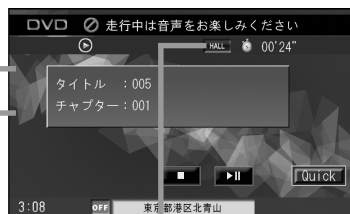
1

パネルの **TILT** ボタン (▲) を押す。

：ディスプレイが開きます。

タイトル番号
チャプター番号
を表示します。

DVDモード画面 (走行中) (例)



音場表示
選択中の音場を表示します。 32~34ページ
※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。
 35~37ページ

2

DVD/CD挿入口にDVDディスクを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、自動的に再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- ☐ 前回DVDモード画面でOFF (オーディオモードを終了) していた場合

① パネルの **電源** ボタン (⏻) を押す。

：前回のつづきからDVDの再生を始めます。



① **電源** ボタン (⏻)

〔各部の名称とはたらき(タッチパネル部)〕

映像

D
V
D

〔再生を始める〕

DVDプレーヤーを使う(3)

□ ナビゲーションモードまたは前回DVDモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AVソース画面のときは…

② にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…

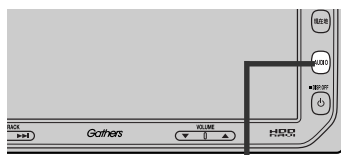
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

② 画面の **DVD** ボタンをタッチする。

：DVDの再生を始めます。



↓ ① **AUDIO** ボタン

AVソース画面



3

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は…

下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

- ※ ●ディスクによっては操作できない場合があります。
- 操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。

ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。



■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

② 画面の **次へ** ボタンをタッチし 操作ボタン2表示画面を表示させ、 画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



↓ ① **MENU** ボタン

操作ボタン2表示画面



- ③画面の     (上／下／左／右)ボタンをタッチして項目を選択し、**実行** ボタンをタッチする。

 「**DVDメニューを使う**」 164ページ 手順 **4** を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましては各々のページ(160～175ページ)を参照してください。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

 「**音量を調整する**」 26ページ

「**映像の調整のしかた**」 27～29ページ

「**オーディオの調整をする**」 32～41ページ



アドバイス

DVDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

 「**音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する**」 24ページ

DVDモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されDVDの再生を止めます。(オーディオモード終了)



① **電源** ボタン(⏻)

DVDディスクを取り出す

1

78ページ **CDを取り出す** の手順 **1**、**2** を参考に操作してください。

DVDプレーヤーを使う(4)

再生を停止する

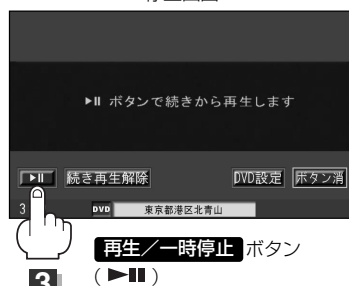
1 パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



続きメモリー機能

- 再生中に **停止** ボタン(■)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶|| でつづきから再生します”を表示し、映像／音声を止めます。**再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。

- 続きメモリー機能は、**続き再生解除** ボタンをタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。

※言語設定／視聴制限の設定を変更した場合も続きメモリーは解除されます。[?] 179/182ページ

3 再び再生を始めるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。

続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。



アドハイス

ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面)のとき画面の **続き再生解除** ボタンをタッチし、**再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

1 パネルの **[MENU]** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **[MENU]** ボタン

2 画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：画面に“||”を表示し、映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

操作ボタン1表示画面



再生／一時停止 ボタン(▶||)

3 再び再生を始めるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

〔再生停止〕

映像
DVD

〔再生一時停止〕

DVDプレーヤーを使う(5)

再生中にチャプターを戻す／進める

1 パネルの **スキップ** ボタン(⏮/⏭)を押す。

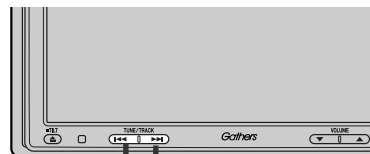
■ 前のチャプターに戻る場合

⏮側を2回押す。：1つ前のチャプターに戻ります。

※1回押した場合は、再生中のチャプターの頭に戻ります。

■ 次のチャプターに進む場合

⏭側を押す。：次のチャプターに進みます。



1 **スキップ** ボタン(⏮/⏭)



アドバース

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているチャプターが収録されているものもあります。

早戻し／早送りをする

1 パネルの **スキップ** ボタン(⏮/⏭)を押し続ける。

：通常の6倍の早さで早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

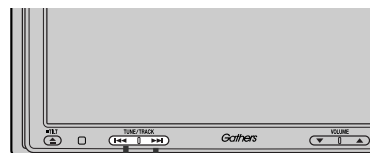
⏮側を押し続ける。

：早戻しで戻ります。

■ 早送りで進む場合

⏭側を押し続ける。

：早送りで進みます。



1 **スキップ** ボタン(⏮/⏭)



アドバース

それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

コマ戻し／コマ送りをする

1 パネルの **[MENU]** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)を
タッチする。

3 パネルの **[スキップ]** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

■ コマ戻しをする場合

◀◀側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

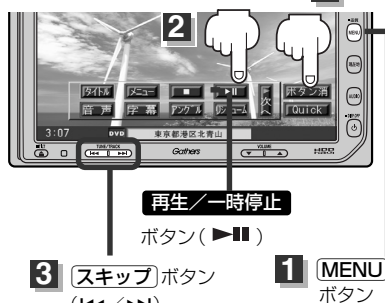
■ コマ送りをする場合

▶▶側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチします。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

操作ボタン1表示画面



アドバイス

- この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。
- VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合、コマ戻し／コマ送りはできません。

スロー戻し／スロー送りをする

1 上記、 **コマ戻し／コマ送りをする** 手順 **1**、**2** にしたがって操作し、
手順 **3** のときパネルの **[スキップ]** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

■ **スロー戻しをする場合** ◀◀側を押し続ける。：スロー戻しで戻ります。

■ **スロー送りをする場合** ▶▶側を押し続ける。：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。



アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

2 画面の操作ボタンの表示をやめるには…画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

DVDプレーヤーを使う(6)

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。



アドハイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

再生中にパネルの **(MENU)** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **(MENU)** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **メニュー** ボタンをタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
( 175ページ)



操作ボタン2表示画面

3

画面の **次へ** ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

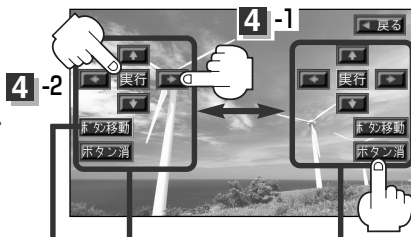


カーソル表示画面

4

画面の **↑ ↓ ← →** (上/下/左/右) ボタンをタッチして、項目を選び、**実行** ボタンをタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。



カーソル表示

カーソル表示

6

5

さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** をくり返してください。

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。また、手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

□ 操作ボタン(カーソル含む)表示が消えている場合

- パネルの **MENU** ボタンを押す →
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。



□ 操作ボタンが表示されている場合

- 手順 **2** でDVDメニュー画面(またはプレイリスト)を表示している場合
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。
- 手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
画面の **戻る** ボタンをタッチ →
前へ ボタンをタッチ →
リジューム ボタンをタッチする。

1 **MENU** ボタン



映像

DVD

〔DVDメニューを使う〕

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

DVDプレーヤーを使う(7)

タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。



アドバイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

再生中にパネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(174ページ)



操作ボタン2表示画面

3

画面の **次へ** ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

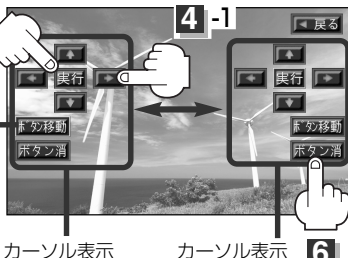


カーソル表示画面

4

画面の (上/下/左/右) ボタンをタッチして、項目を選び、**実行** ボタンをタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。



カーソル表示

5

さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** をくり返してください。

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。また、手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- タイトルメニューを表示させ（約2分以上）何も操作しないとDVDの再生が始まる場合があります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

□ 操作ボタン(カーソル含む)表示が消えている場合

- パネルの **MENU** ボタンを押す →
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。



□ 操作ボタン表示されている場合

- 手順 **2** でタイトルメニュー画面(またはタイトルリスト)を表示している場合
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。
- 手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
画面の **戻る** ボタンをタッチ →
前へ ボタンをタッチ →
リジューム ボタンをタッチする。

1 MENU ボタン



映像

DVD

〔タイトルメニューを使う〕

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

DVDプレーヤーを使う(8)

好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1 パネルの **MENU** ボタンを押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2 画面の **次へ** ボタンをタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。



操作ボタン1表示画面

3 画面の **サーチ** ボタンをタッチする。

: サーチ選択画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面

4 サーチ選択画面で画面の **10キー** ボタンをタッチして、再生したいタイトル／チャプター／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- **タイトルとチャプターとタイム(経過時間)**は **切替** ボタンをタッチし切り替えて入力します。

タイトルサーチ → チャプターサーチ

↑ タイムサーチ ←



サーチ選択画面(例)

モード表示

10キー ボタン

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合
サーチ選択はタイムサーチ(タイム入力)のみとなります。
(**切替** ボタンをタッチしても切り替わりません。)

例 チャプター番号“25”を入力する場合

(例)

- ①10キーボタンの **+10** ボタンを2回タッチする。 : 表示が“020”となります。
- ②10キー入力ボタンの **5** ボタンをタッチする。 : 表示が“025”となります。

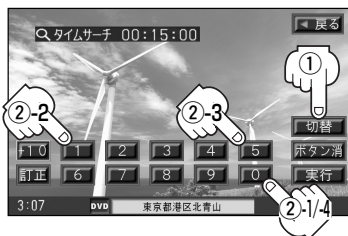


例 タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

(例)

- ①手順 **4** でサーチ選択画面を表示させたとき画面の **切替** ボタンをタッチする。
: タイム(経過時間)入力画面になります。
- ②10キー入力ボタンで **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0** とタッチする。

: 表示が **Qタイムサーチ __:__:__** → **Qタイムサーチ 00:15:00** となります。



5

画面の **実行** ボタンをタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号25を入力した場合



映像
DVD
サーチ選択

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドバース

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4** (168ページ)からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4** (168ページ)からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は、解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(9)

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選ぶことができます。

1

パネルの **[MENU]** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **音声** または **字幕** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



字幕言語リスト(例)



音声言語リスト(例)



3

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(164ページ)や言語設定(179ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。
この場合は、DVDメニュー(164ページ)または言語設定(179ページ)で切り替えてください。

時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- タイトル時間タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間タイトルの残時間を表示
- チャプター時間チャプターの経過時間を表示
- 表示なし（何も表示しない）

1 再生中にパネルの **(MENU)** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **(MENU)** ボタン

2 画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 画面の **タイム** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより時間表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面

時間表示
(例)



3

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

■ 時間表示をやめる場合

手順 **1** ～ **3** にしたがって操作し、時間の種類の表示をやめてください。

DVDプレーヤーを使う(10)

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

■チャプターリピート …再生中のチャプターを繰り返す

■タイトルリピート ……再生中のタイトルを繰り返す

■リピートOFF ……………リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 再生中にパネルの **(MENU)** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 (MENU) ボタン

2 画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面

3 画面の **リピート** ボタンをタッチする。

：タッチするごとにモードが切り替わります。

リピート
モード表示
(例)



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

手順 **1** ～ **3** にしたがって操作し、“リピートOFF”を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。
この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 再生中にパネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

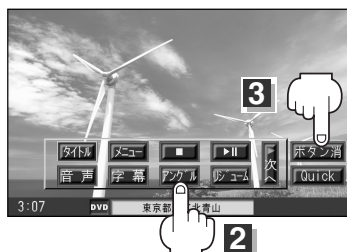


1 **MENU** ボタン

2 画面の **アングル** ボタンをタッチする。

：タッチすることによりアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

DVDプレーヤーを使う(11)

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVDレコーダーなどでDVD-R/RW(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1 パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2 タイトルリストまたはプレイリストを表示させます。

■ タイトルリストより選択する場合

① **タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

① **メニュー** ボタンをタッチする。

：プレイリストが表示されます。

操作ボタン1表示画面



タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順やタイトル名に編集したものを表します。

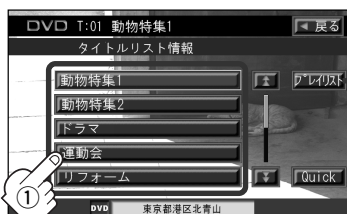
※タイトルリスト／プレイリストの詳細はレコーダーの取扱説明書を参照ください。

3 タイトル名を選択し、再生させます。

① リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

手順 **2** で **タイトル** ボタンをタッチした場合
タイトルリスト表示(例)



プレイリスト をタッチするとプレイリストを表示します。

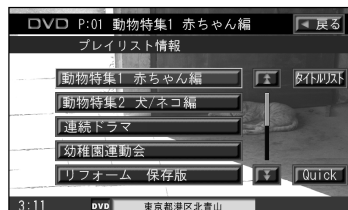
※プレイリスト表示のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリストを表示します。



アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**[MENU]**ボタンは操作できません。(本機能は使用できません。)
- 次ページがある場合、**[↑]**／**[↓]**タッチでスクロールさせることができます。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は**[戻る]**ボタンをタッチしてください。

プレイリスト表示(例)



「リピーター送り」

映像

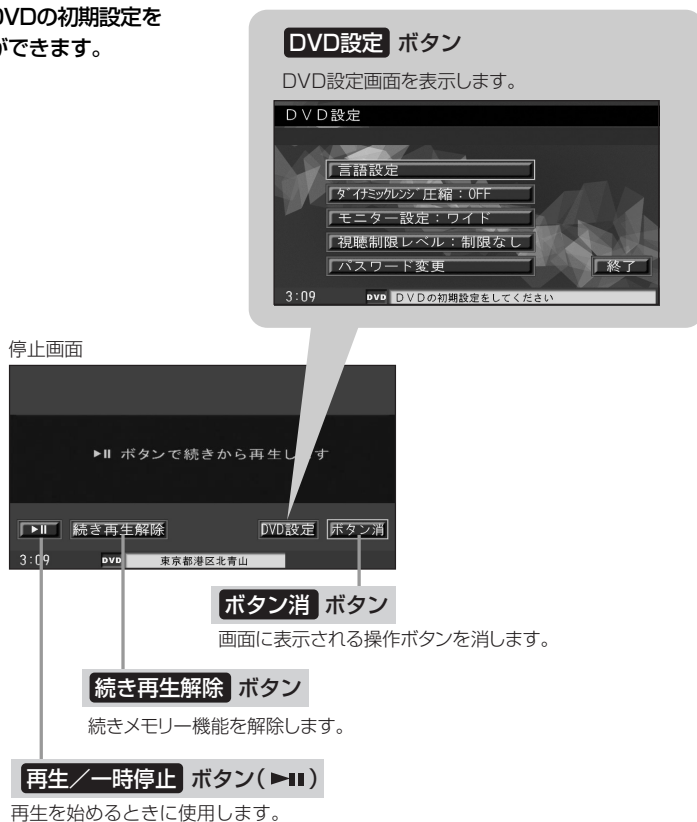
DVD

「VRモードディスクの場合」

DVDの初期設定について(1)

各部の名称とはたらき

再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。



初期設定を変更する

1 再生中にパネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2 画面の **停止 (■)** ボタンをタッチする。

：停止画面が表示されます。

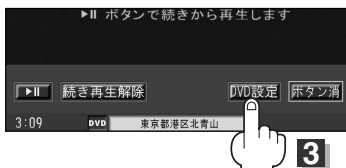
操作ボタン1表示画面



停止画面

3 画面の **DVD設定** ボタンをタッチする。

：DVD設定画面が表示されます。

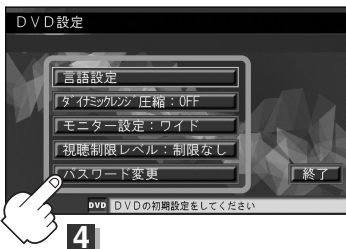


DVD設定画面

4 画面の設定したい項目 (**言語設定** / **ダイナミックレンジ圧縮** / **モニター設定** / **視聴制限レベル** / **パスワード変更**)

ボタンをタッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。



〔各部の名称とはたらき〕

映像

DVD

〔初期設定〕

選んだ項目	設定できる内容
言語設定	● 音声言語：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語：DVDメニューの表示言語の切り替え
ダイナミックレンジ圧縮	● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)
モニター設定	● TVアスペクト：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え
視聴制限レベル	● レベル：視聴制限レベルの設定
パスワード変更	● パスワード：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更

DVDの初期設定について(2)

“言語設定”を選んだ場合 ➡ 179ページへ進む。

“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合 ➡ 181ページへ進む。

“モニター設定”を選んだ場合 ➡ 181ページへ進む。

“視聴制限レベル”を選んだ場合 ➡ 182ページへ進む。

“パスワード変更”を選んだ場合 ➡ 183ページへ進む。

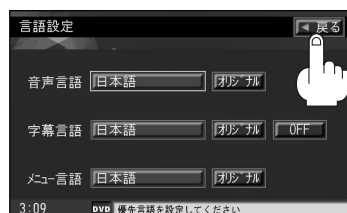


- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては再生停止中に初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。
この場合はDVDメニュー(164、165ページ)で切り替えてください。

■ 言語／オーディオ／画面／視聴制限設定時に、
1つ前の選択画面に戻る場合

画面の **戻る** ボタンをタッチする。

言語設定画面



■ DVD設定画面を終わる／途中で止める場合

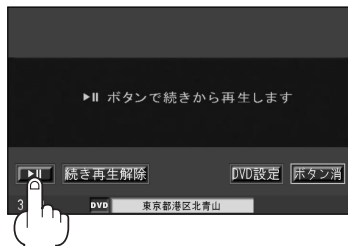
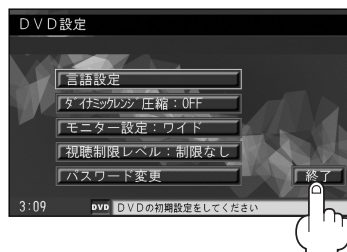
画面の **終了** ボタンをタッチする。

：停止画面に戻ります。

□ 再び再生させるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

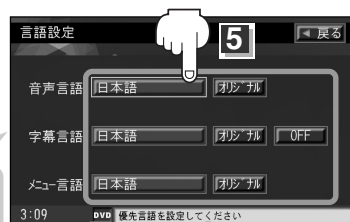
DVD設定画面



：再生を止めた所より再生します。

■ 手順 4 (177ページ)で“言語設定”を選んだ場合

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更 したい項目をタッチする。



“音声言語” …

DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“字幕言語” …

DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。

“メニュー言語” …

DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

設定されている言語を表示(☆)
ただし、言語が **オリジナル** または
OFF に設定されている場合は
言語を選択 と表示されます。

■ 言語を変更する場合(☆)

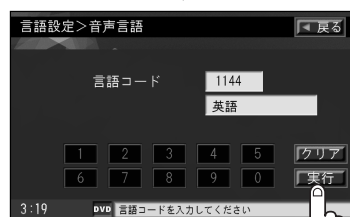
：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

- ① 言語コード表(180ページ)を参照し、
言語コードの数字を10キーボタンを
タッチして入力する。
- ② 入力が終わったら **実行** ボタンを
タッチする。

言語コード入力画面



10キー入力ボタン



映像
DVD
〔初期設定〕



- DVDを再生中に言語設定を変更した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について(3)

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アプバシア語	1245	IK Inupiak語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RA キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ベラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスラマ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフン) オロモ語	1587	VO ボラビュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS バシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

■ 手順 4 (177ページ)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

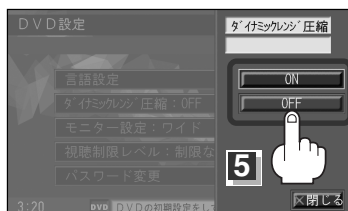
5 ダイナミックレンジの圧縮をしない／するを選択します。

ON をタッチする。：圧縮します。

OFF をタッチする。：圧縮しません。

“ON”：小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選んでください。

“OFF”：標準音域で聞くとときに選んでください。

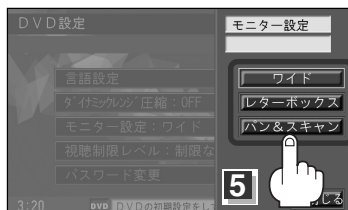


■ 手順 4 (177ページ)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5 設定したいアスペクト比（**ワイド**／**レターボックス**／**パン&スキャン**）ボタンをタッチする。

※16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャン



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、“ワイド”に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定してください。（※この場合は、本機のディスプレイ選択を“ノーマル”に設定しないと不自然な画像となります。）
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“Full”またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス”や“パン&スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4：3になるモード（メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”等。）に設定してください。

⚠ 注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDの初期設定について(4)

■ 手順 4 (177ページ)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

視聴制限レベル	“OFF”	視聴制限を無効
	“8”	すべてのDVDビデオの再生可
	“7”	子供向／一般向のみ再生可
	“6”	
	“5”	
	“4”	
	“3”	
	“2”	
	“1”	子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

↓
このレベルが厳しなめ



5

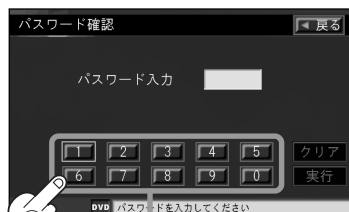
↑/↓ ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“OFF”を選択してください。

レベルを変更すると…

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

- ①現在のパスワードを10キーボタンをタッチして入力する。
- ②入力が終わったら **実行** ボタンをタッチする。



10キーボタン



アドバース

- DVDを再生中に視聴制限の設定を変更した場合、続きメモリ機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
- 工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。(現在のパスワードは変更することができます。(次ページ参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。

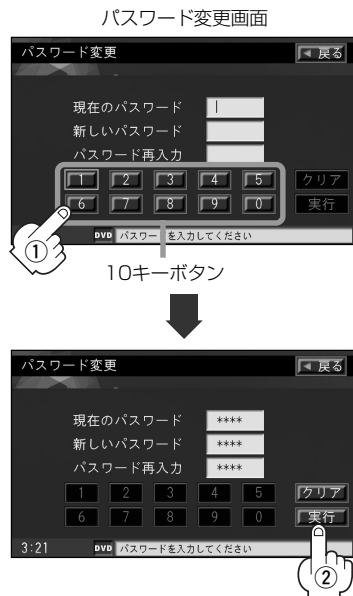
■手順 4 (177ページ)で“パスワード変更”を選んだ場合

5

①現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を画面の10キーボタンをタッチして入力する。

② **実行** ボタンをタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。



アドバース

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら…
現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

映像
DVD

〔初期設定〕



テレビ(デジタルテレビ放送)

テレビについて	186、187
地上デジタルテレビ放送について	186
地上デジタルテレビ放送の番組受信について	187
B-CASカードについて	188
B-CASカードを入れる／取り出す	189
B-CASカードに関するお問い合わせ先について	189
Digital TVを使う	190～235
各部の名称とはたらき	190～194
パネル部について	190
パナー表示について	190、191
タッチパネル部のボタンについて	192、193
デジタルメニューについて	194
Digital TVモードにする	195、196
Digital TVモードを終了する	196
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	197、198
MFNサーチを実行する	198
エリアスキャンをする	199
チャンネルスキャン画面について	200、201
選局する	202～205
番組表を見る	206、207
自宅チャンネルリスト／お好みチャンネル	
リストを呼び出す	208、209
映像を切り換える	210
音声を切り換える	211
字幕表示を切り換える	212
チャンネル表示の設定	213
郵便番号設定	214
文字スーパーを切り換える	215
現在地確認設定	216、217
受信モード(ワンセグ・12セグ・切換なし)	
の設定をする	218、219
アンテナ電源の設定をする	220、221
受信可能な放送局(チャンネル)および	
受信レベルを確認する	222、223
B-CASカード(ICカード)のテストをする	224、225
放送局からの情報を見る	226～228
設定を初期化する	229
データ放送を利用する	230～232
リレーサービスの番組を見る	233
臨時サービスの番組を見る	233
緊急放送を見る	234
エラーコードについて	235

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、現行のアナログ(VHF/UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行なう)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。

※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

- お車の走行地域で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。[設定]「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする**」197、198ページ

- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。

- ・テレビ放送……従来からのテレビ放送
- ・ラジオ放送……音声を主とした放送
- ・データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送

※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。(ラジオ放送には対応していません。)

- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報等も同様に遅れます。)

- 受信モードをお車の状況にあわせて切り換えることで受信状態を安定させることができます。

※自動でワンセグ・12セグの切り換えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。

[設定]「**受信モード(ワンセグ・12セグ・切換えなし)の設定をする**」218、219ページ

- B-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。

[設定]「**B-CASカードについて**」188ページ

「**B-CASカードを入れる/取り出す**」189ページ

- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。



- ・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。

※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

- ・地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記Webサイトなどでご確認ください。
(社)デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が悪化したり雑音が入ることがあります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が悪化したり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が悪化することがあります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アンセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- お知らせメールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

B-CASカードについて

ご使用になる前に

B-CASカードについて

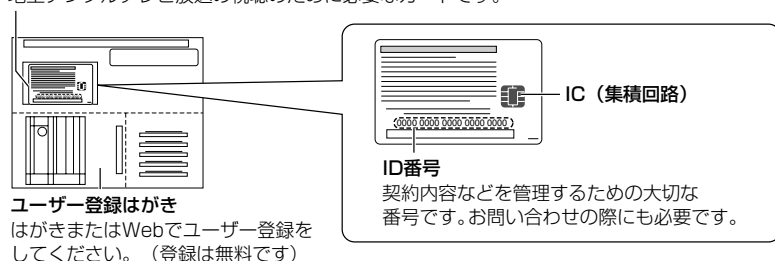
B-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12+1セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

B-CASカード

地上デジタルテレビ放送の視聴のために必要なカードです。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から電波に原則として「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
 - B-CASカード取り扱い上の留意点
 - ・B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - ・B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - ・B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - ・B-CASカードのIC(集積回路)部には手をふれないでください。
 - ・B-CASカードの分解加工は行なわないでください。
 - ・B-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。
- ▶「**B-CASカードを入れる／取り出す**」189ページ
- ・ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - ・付属のB-CASカードの所有権は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - ・破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - ・B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - ・付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - ・B-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへお問い合わせください。
 - ・本機の修理を依頼されるときは、本機よりB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

B-CASカードを入れる／取り出す

■ B-CASカードを入れる場合

①車のエンジンスイッチを0(OFF)にし電源を切る。

②カード挿入口にB-CASカードを差し込む。

※B-CASカードリーダーの↑とB-CASカードの↑が同じ方向にくるようにし、“カチッ”と音がするまで挿入してください。

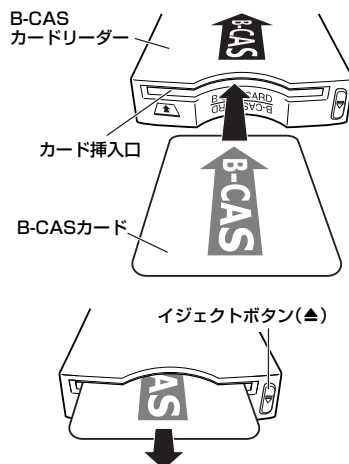
■ B-CASカードを取り出す場合

①車のエンジンスイッチを0(OFF)にし電源を切る。

② **イジェクト** ボタン(▲)を押す。

：B-CASカードがカード挿入口より出てきます。

③B-CASカードを取り出す。



アドバイズ



注意

- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 車のエンジンスイッチ I (ACC)または II (ON)の状態でもカードを抜き差ししないでください。
- ※上記注意事項を守らなかった場合、視聴できなくなったり故障や破損の原因となります。

- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上待ってからB-CASカードテスト(ICカードテスト)を行なってください。▶「**B-CASカード(ICカード)のテストをする**」224、225ページ

B-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のB-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00~20:00 (年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

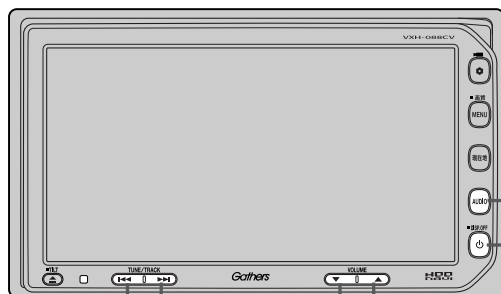
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- B-CASカードの台紙に記載されている「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「取付説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客さまのB-CASカードのID番号は控えておいてください。

Digital TVを使う(1)

各部の名称とはたらき

パネル部について



AUDIO ボタン

AVソース画面を表示します。
※ナビゲーション／CD／DVD／MP3／WMA／Music Rack／VTR／FM／AM／M.S.／USBモードからDigital TVモードに切り替えるときに使用します。(195ページ)

電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。また、2秒以上長押しで画面を消します。

選局 ボタン(⏮️/⏭️)

プリセットされている放送局を呼び出します。(手動選局)
また、このボタンを押し続けると受信可能な放送局を探します。(自動選局)(202ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

バーナー表示について

地上デジタルテレビ放送を選局したときや受信中に画面をタッチし、**次へ**をタッチして操作ボタン2を表示させ、画面の**表示**ボタンをタッチしたときなどに、画面に下のような表示が現われます。これをバーナー表示と呼びます。バーナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。



1 放送の種類

HV ハイビジョン放送

SD 標準放送(SDTV)

※本機は **HV** を表示(ハイビジョン放送を受信)しても映像は標準画質で映されます。(**HV** / **SD** は放送の種類を示すもので画質を示すものではありません。)

2 チャンネル名

チャンネルの名称を最大10文字まで表示します。

3 放送事業者名

放送事業者の名称を最大10文字まで表示します。

4 チャンネル番号

5 時刻

現在の時刻を表示します。

6 音声の種類

番組の音声を表示します。

(例)

ステレオ	マルチ
モノラル	ステレオ
JPN	ENG
主	副

JPN + ENG

※音声(と映像)が複数ある場合選択することができます。

🔊 「音声を切り換える」211ページ

*印：本機は5.1chサウンドには対応していません。

7 番組名および記号

番組の名称を最大20文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

番組連動データ放送

2カ国語放送

字幕放送

圧縮Bモードステレオ音声

サラウンドステレオ音声

音声多重放送

再放送

ステレオ放送

音声解説

劇映画

吹き替え

ワイド放送

マルチビューテレビ放送 …など

●記号は放送局側で付けられています。

●上記以外の記号もあります。

8 放送時刻

番組の放送時刻を表示します。

9 プリセット番号

プリセット番号を表示します。



アドバンス

- 表示される時刻は実際とズレが生じる場合があります。正確な時刻は地図画面(ナビ画面)にて確認ください。
- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。

10 番組の種類など〔データ放送は12セグのみ〕

テレビ放送

独立型データ放送



番組内容と関連しない
データ放送あり

番組内容と関連した
データ放送あり

「データ放送を利用する」
230～232ページ

11 字幕

12セグの場合、番組に字幕サービスがあるときに が明るく表示されます。

「字幕表示を切り換える」
212ページ

12 信号選択

12セグの場合、複数の映像や音声を送られているときに が明るく表示されます。

「映像を切り換える」 210ページ
「音声を切り換える」 211ページ

13 チャンネルのロゴマーク

チャンネル表示(/ /)について



バナー表示のほかに、バナー表示の一部をチャンネル表示として表示することもできます。さらに時刻のみ表示させることもできます。

※表示させるかどうかは設定により変更できます。

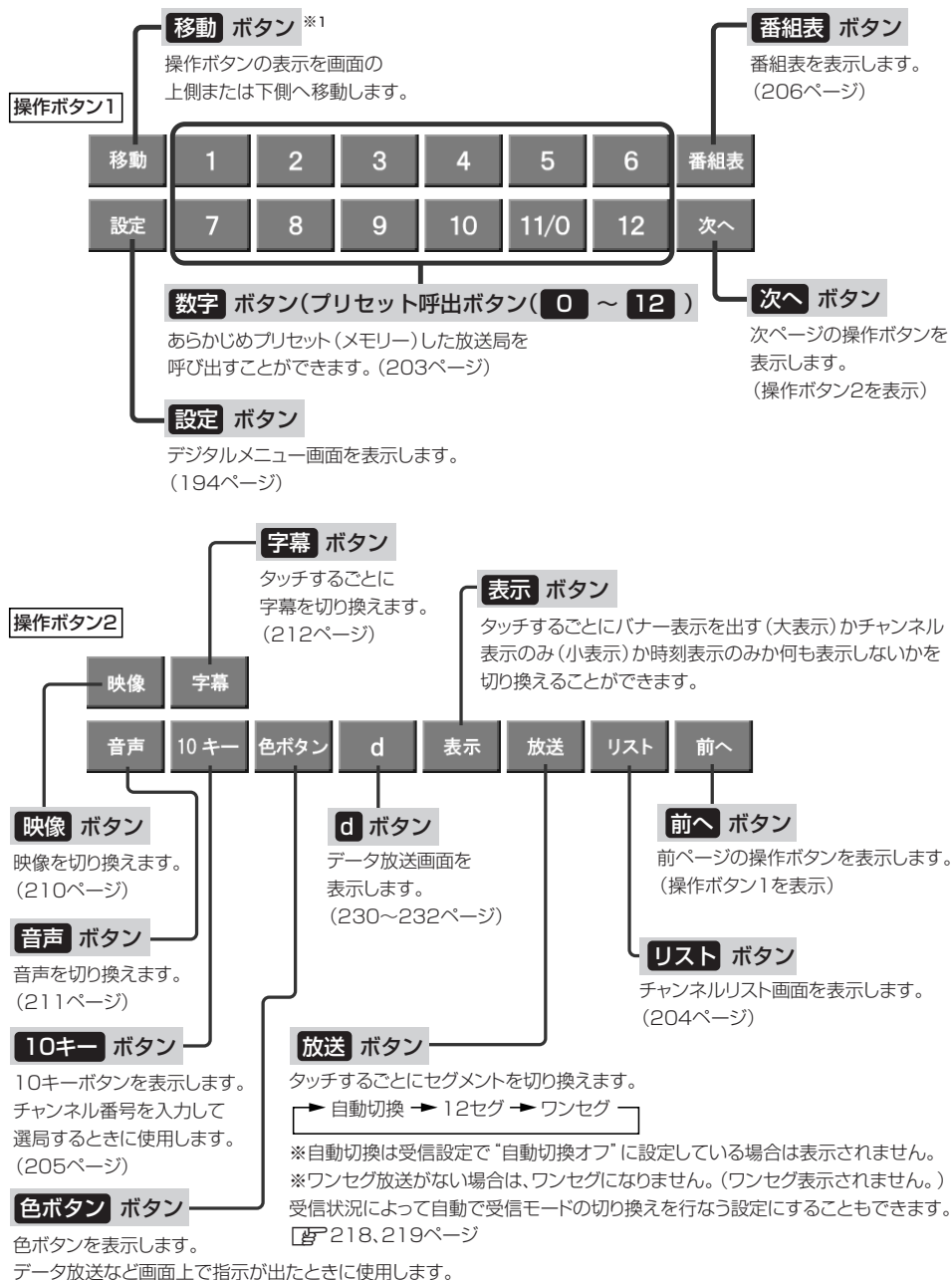
192ページ 操作ボタン2の **表示** ボタンタッチ

「チャンネル表示の設定」 213ページ

Digital TVを使う(2)

タッチパネル部のボタンについて

テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が表示されます。



10キーボタン



10キー(0 ~ 9)

チャンネル番号を入力するときに使用します。

前へ ボタン

前ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2を表示)

色ボタン

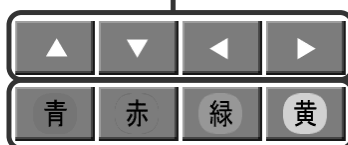
カーソルキー(▲ / ▼ / ◀ / ▶)

画面で項目を選ぶときに使用します。

決定 ボタン

画面で選んだ項目を決定(実行)します。

※1 移動



決定

戻る

前へ ボタン

前ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2を表示)

カラーキー(青 / 赤 / 緑 / 黄)

データ放送を利用する場合などのときに使用します。
(230~232ページ)

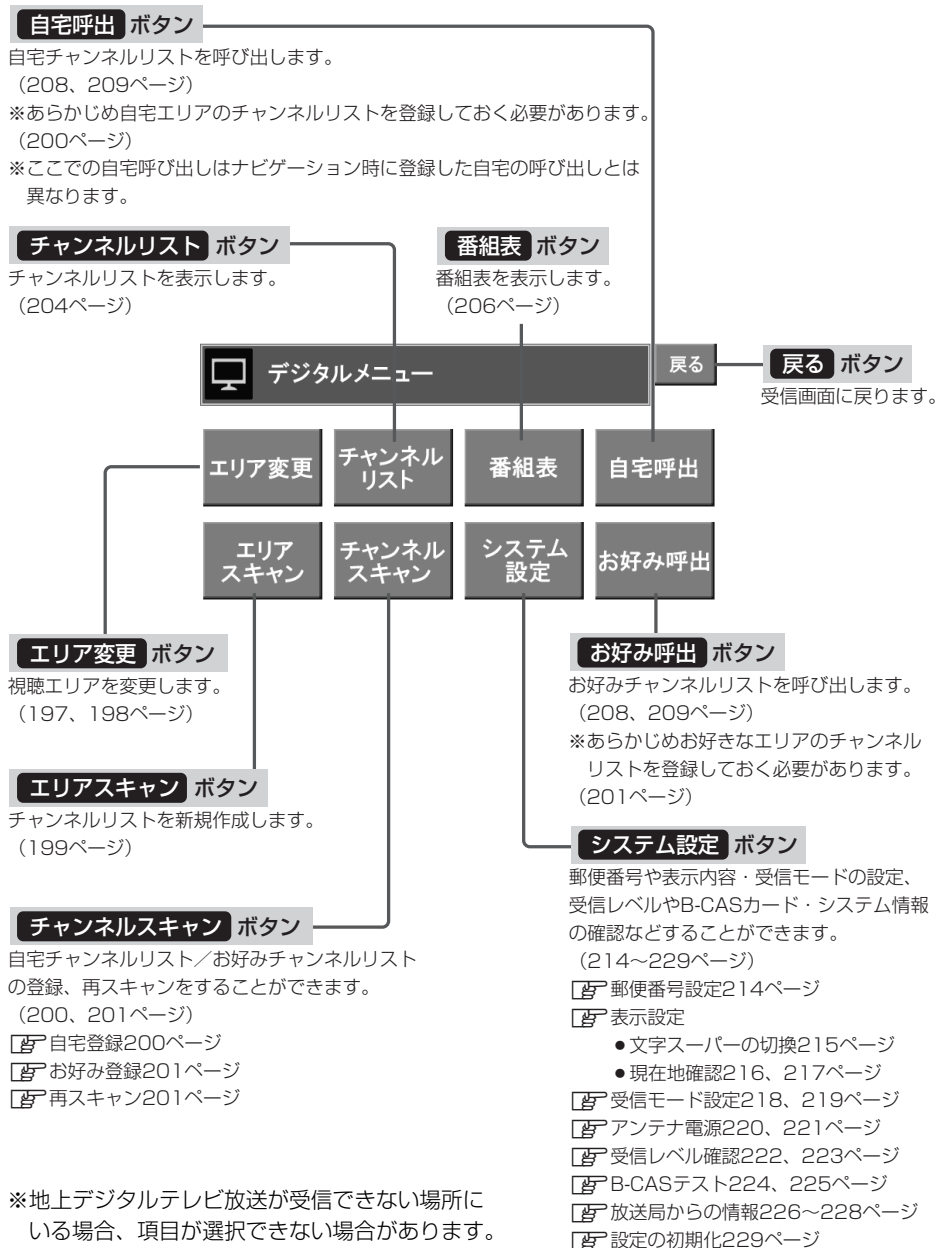
戻る ボタン

データ放送画面操作時に
1つ前のデータ放送画面に戻ります。

Digital TVを使う(3)

デジタルメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、**設定** ボタンをタッチするとデジタルメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのデジタルメニューを使って行ないます。



※地上デジタルテレビ放送が受信できない場所にいる場合、項目が選択できない場合があります。

Digital TVモードにする



安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

Digital TVモード画面(走行中)(例)



■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Digital TVモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

： Digital TVモード画面を表示します。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたは前回Digital TVモード以外のオーディオモード画面の場合(OFF含む)

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AVソース画面のときは…

② にすすんでください。

- ラストモード*画面のときは…

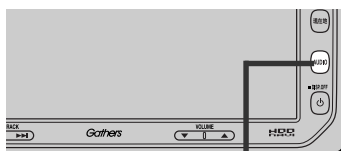
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

： AVソース画面が表示されます。

*： 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

② 画面の **Digital TV** ボタンをタッチする。

： Digital TVモード画面を表示します。



① **AUDIO** ボタン



〔各部の名称とはたらき(デジタルメニューについて)〕

映像

デジタル

〔Digital TVモードにする〕



アダプティブ

初めてDigital TVを利用する場合は、最初に視聴エリアの設定をして放送局を検索し、チャンネルリストを登録します。次回からはすぐにDigital TVを見ることができます。

「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする**」 197、198ページ

Digital TVを使う(4)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～41ページ



アドバース

Digital TVの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Digital TVモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されDigital TVモード画面を終了します。(オーディオモード終了)



① **電源** ボタン(🔌)

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする



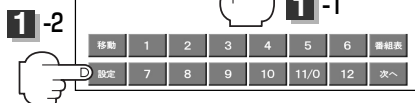
アドハイス

現在地によって受信できる放送局(**数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に割り当てられる放送局)が異なるため、現在のお車の走行地域で初めて地上デジタルテレビ放送をご覧になる場合は、現在地の視聴エリアの設定(変更)を行なってください。地上デジタルテレビ放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏やその他の都道府県庁所在地でも放送が開始されており、今後も受信可能エリアは順次拡大されます。視聴エリアの設定(変更)をする前に、お車の走行地域で地上デジタルテレビ放送が開始されているかお確かめください。(地上デジタルテレビの電波が受信できない状態では放送を受信することはできません。)
※初期状態(お買い上げ時)は東京都のチャンネルが設定されています。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



2 画面の **エリア変更** ボタンをタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



3 現在地の地方と県域をタッチする。

視聴エリア変更画面(地方選択時)

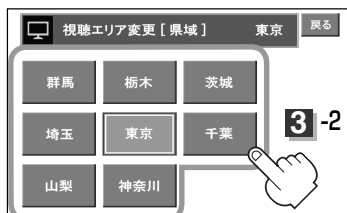
現在選択している
県域が表示されます。

視聴エリア変更画面(県域選択時)

3-1



3-2



選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)にプリセット(メモリー)されます。

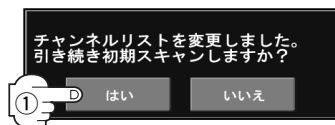
※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

：初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

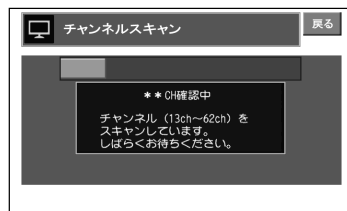
Digital TVを使う(5)

■ 初期スキャンを行なう場合

① はい ボタンをタッチする。



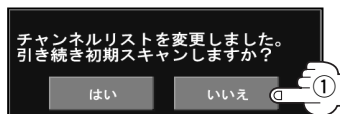
：初期スキャンを開始します。



：スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ 初期スキャンを行なわない場合

① いいえ ボタンをタッチする。



：初期スキャンをしないで受信画面を表示します。



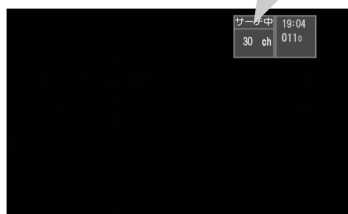
初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。スキャンを行なわないとプリセットは前回の状態となります。(初期状態の場合は東京。) 視聴エリアを変更した場合は**はい** ボタンをタッチし初期スキャンすることをおすすめします。

MFNサーチを実行する

お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、画面に“信号が受信できません”とメッセージが表示されます。MFN方式の放送局を受信していた場合はサーチしなおすことができます。

1 MFNサーチ実行 ボタンをタッチする。

受信できる放送局が見つからない場合、中継局をサーチ(一巡)すると左記画面に戻ります。



：受信できる放送局を探します。放送局を受信すると自動的に止まります。



- サーチ中に**選局** ボタン(◀▶)を押すとサーチは止まります。
- 放送波にはMFN方式とSFN方式があり、MFN方式は複数の中継局を用いて放送を中継することができるため今まで受信していた放送局を受信しなくなった場合でもMFNサーチをしなおすことで他の放送局を受信しなおすことが可能です。SFN方式は中継局を用いないため電波がとどかないエリアでは受信できません。どちらの方式(MFN/SFN)になるかはエリアによって異なります。
※MFN方式 「用語説明」316ページ
- 視聴エリアの変更で選択した県域に受信できる放送局がない場合もメッセージが表示されます。

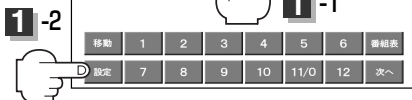
エリアスキャンをする

現在の車の位置で受信可能な(他地域(他県)の)放送局を(すべてプリセット)受信することができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



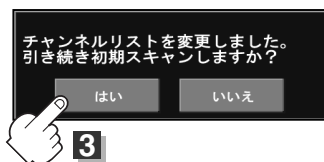
- 2 画面の **エリアスキャン** ボタンをタッチする。

：チャンネルリスト・**数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)にメモリーされているエリアは変更され、スキャンするかどうかのメッセージが表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の **はい** ボタンをタッチする。



：県域(都道府県)にかかわらずあらかじめプリセットされているチャンネル(13ch~62ch)をスキャンし、現在、車の位置で受信できる放送局を **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に追加プリセット(メモリー)します。(「 ■ 再スキャンをする場合」 201ページ) エリア変更(197、198ページ)にて設定した県域(都道府県)のプリセットチャンネルはそのまま残し、新たに追加されることになります。スキャンが終了すると、受信画面が表示されます。

※スキャンをしない場合は **いいえ** ボタンを選択してください。



- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)にプリセット登録されない番組もあります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域(都道府県)をプリセット(メモリー)しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット(メモリー)前の状態に戻すにはメモリ初期化を行なってください。 「**設定を初期化する**」 229ページ

Digital TVを使う(6)

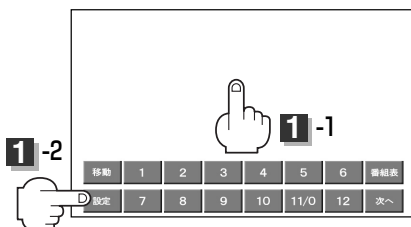
チャンネルスキャン画面について

チャンネルスキャン画面では自宅登録／お好み登録／再スキャンやプリセット登録の確認などを行うことができます。

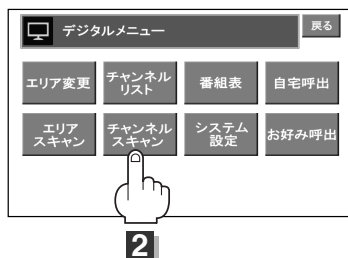
- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



デジタルメニュー画面(例)



- 2 画面の **チャンネルスキャン** ボタンをタッチする。

：チャンネルスキャン画面が表示されます。

- 3 登録や再スキャンなどをします。

■ 自宅登録をする場合

あらかじめ自宅チャンネルリストとして登録しておくことにより、旅行先などでエリアの変更(視聴エリア変更やエリアスキャン)をした場合(現在地を移動し他地域にいる場合)でもすばやく自宅呼び出しをする(自宅登録として登録したエリアのチャンネルリストを呼び出す)ことができます。

- ① **自宅登録** ボタンをタッチする。

チャンネルスキャン画面



プリセット番号 放送局名

現在の設定内容を確認できます。
(確認のみで選局はできません。)

前へ / **次へ** ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールさせることができます。

- ② 自宅チャンネルリストとして登録してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



：現在の設定内容を自宅チャンネルリストとして本機に登録します。

- ③ 設定を終わるには… **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

■ お好み登録をする場合

自宅登録以外にもあらかじめエリアを登録することができます。よく呼び出したい地域をお好み登録しておくことで、現在地を移動し他地域にいるときでもお好み呼び出しですばやくチャンネルリストを呼び出すことができます。

① お好み登録 ボタンをタッチする。



現在の設定内容を確認できます。
(確認のみで選局はできません。)

前へ / **次へ** ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールさせることができます。

② お好みチャンネルリストとして登録してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



：現在の設定内容をお好みチャンネルリストとして本機に登録します。

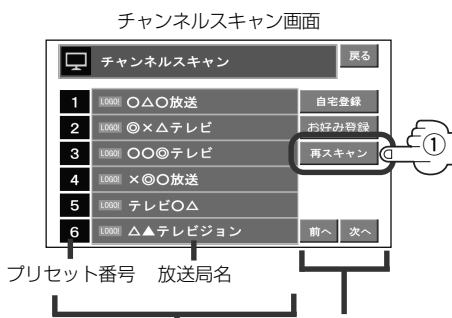
③ 設定を終わるには… **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。

※すでに設定されているチャンネルはそのまま残し、新たに追加となります。

① 再スキャン ボタンをタッチする。



現在の設定内容を確認できます。
(確認のみで選局はできません。)

前へ / **次へ** ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールさせることができます。



：全チャンネル(13ch~62ch)をスキャンし、放送局を **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に追加プリセット(メモリー)します。

Digital TVを使う(7)

選局する

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局／10キー選局)

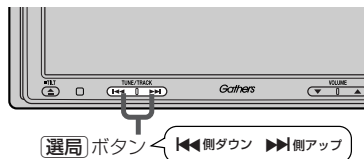
※自宅登録／お好み登録したエリアの選局をする場合はあらかじめそのエリア(リスト)を呼び出しておく必要があります。

「**選局**」(「**自宅チャンネルリスト／お好みチャンネルリストを呼び出す**」) 208、209ページ

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの**選局**ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの**選局**ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に**選局**ボタン(◀◀/▶▶)を押すと、自動選局は止まり、自動選局をする前のチャンネルに戻ります。



アドバイス

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)にメモリーされた放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に放送局をメモリーしておく必要があります。

[F] 「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 197、198ページ

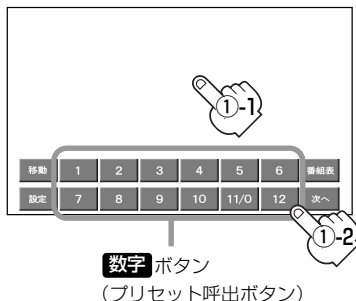
「**エリアスキャンをする**」 199ページ

「**再スキャンをする場合**」 201ページ

①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、

数字 ボタン(プリセット呼出ボタン)の中で呼び出したい数字をタッチする。

： **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に放送局が割り当てられていない場合、“このキーには、プリセットの設定がされていません。”と表示されます。



アドバース

- **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)をタッチすることによって設定されたチャンネルを順に選局します。
- **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面([F] 204ページ)またはプリセット一覧([F] 310、311ページ)より確認できます。

映像
デジタル

(選局) (手動・自動・プリセット選局)

Digital TVを使う(8)

■ チャンネルリストにて放送局を選ぶ場合

リスト選局は、視聴エリアの変更やスキャンによってチャンネルリストにメモリーされた放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめチャンネルリストに放送局をメモリーしておく必要があります。

「 視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」 197、198ページ

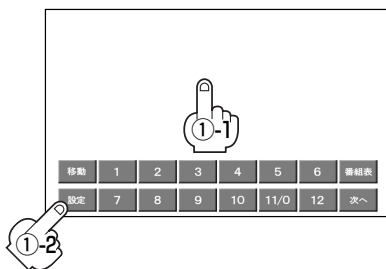
「 エリアスキャンをする」 199ページ

「 再スキャンをする場合」 201ページ

- ①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- ②画面の**チャンネルリスト** ボタンをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- ③リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面



プリセット番号 放送局名

現在の設定内容を確認できます。

「 **前へ**／**次へ**」ボタンをタッチして設定内容(リスト)をスクロールさせることができます。



アドハイス

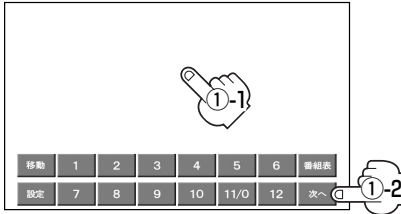
- チャンネルリスト画面は操作ボタン2の**リスト** ボタンからも表示させることができます。192ページ
- チャンネルリストに表示されるプリセットと放送局の組み合わせはプリセット一覧( 310～311ページ)より確認できます。

■ 10キーにて放送局を選ぶ場合

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合、3ケタのチャンネル番号を入力して選局できます。

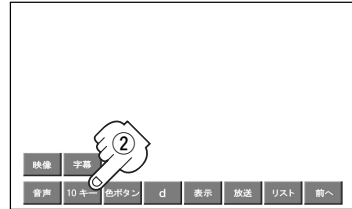
①画面をタッチし、**次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。



②画面の**10キー** ボタンをタッチする。

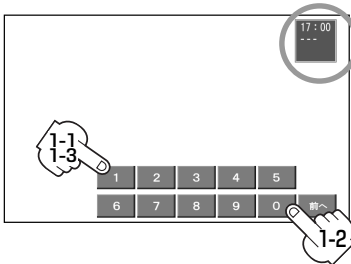
：10キーボタンが表示されます。



例 101チャンネルを選局

1. 10キーを**1**、**0**、**1**とタッチする。

：表示が“101”となります。



●10キーボタンを表示させているとき、チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内につづきの番号を入力しなかったときは、選局動作を行ないません。もう一度手順①からやりなおしてください。

●走行地域によって複数地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。このようなときは3桁のチャンネル番号の後に枝番(☆)が追加され、“チャンネルが重複しています。どれかを選択してください。”とメッセージが表示されます。

1.カーソルキー(▲/▼)で枝番(☆)を選択し、

2. **決定** ボタンをタッチして選局してください。

※なにも選択しなかった場合は選局されません。

●☆印：1つの**数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に複数のチャンネルが設定されている場合、その**数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)をタッチすることによって設定されたチャンネルを順に選局します。

(例) チャンネル番号(3桁) 枝番(☆)



Digital TVを使う(9)

番組表を見る

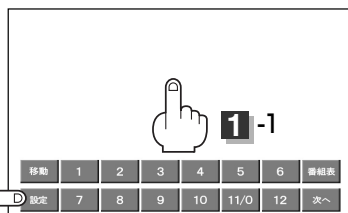
番組表(電子番組ガイド=EPG)を表示させ、1週間先までの情報を見ることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

1-2



- 2 画面の **番組表** ボタンをタッチする。

：番組表が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)

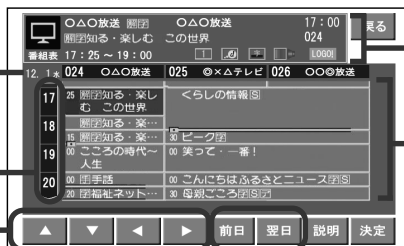


番組表(例)

日付曜日
チャンネル番号
放送局名表示

時間帯表示

カーソルキー(▲/▼/◀/▶)を
使って番組表をスク
ロールさせることが
できます。



選択中の番組のチャンネルや
放送局名などを表示

番組表示

翌日 ボタンタッチで翌日の番組表を表示し、**前日** ボタン
タッチで前日の番組表を表示します。

さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組の詳細情報を見る場合

- ①カーソルキー(▲/▼/◀/▶)で
見たい番組を選択し、**説明** ボタンを
タッチする。

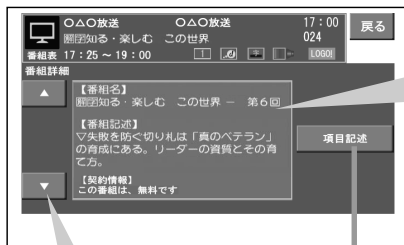
：番組詳細画面が表示されます。

番組表(例)

番組



番組詳細画面(例)



番組詳細画面の内容

番組名……番組のなまえ

番組記述……出演者など

契約情報……無料／有料などの情報

コピー情報……番組の録画・録音に関する情報

ジャンル……番組のジャンル

信号……525i、ステレオなどの情報

その他……中止や延長、シリーズ番組の情報など

つづきがある場合、/ ボタンタッチでスクロールさせることができます。

さらに詳しい情報がある場合は
項目記述を選択し、内容を確認
することができます。

3

番組表を見たら…

画面の **戻る** ボタンをタッチする。

：受信画面に戻ります。



アダプティブ

- 番組表を表示しているときにカーソルキー(, , ,)を使って見たい番組を選択し、**決定** ボタンをタッチすると選択した受信画面を表示させることができます。
※表示できる番組は現在の時間帯で放送中のものに限ります。また、現在放送していない時間帯の番組を選択決定した場合でも受信される番組は現在の時間帯で放送中のものとなります。
- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像が消える場合があります。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- 番組表は操作ボタン1の **番組表** ボタンからも表示させることができます。[P] 192ページ
- ワンセグの場合、表示できる時間帯が12セグより短くなります。
- 番組の詳細情報が表示されるまでには、多少の時間がかかることがあります。その間、画面には“データ取得中”と表示されます。番組の詳細情報が送られていない場合は“データがありません。”と表示されます。
- 525i(信号)につきましては用語説明[P] 317ページをご覧ください。

映像

デジタルTV

〔番組表を見る〕

Digital TVを使う(10)

自宅チャンネルリスト／お好みチャンネルリストを呼び出す

自宅呼び出しは旅行先などから自宅周辺に帰ったときに、お好み呼び出しはよく行く地域にきたときに、それぞれのエリアのチャンネルリストをすばやく呼び出すことができます。

※あらかじめチャンネルリストを登録しておく必要があります。

☞ 「■ 自宅登録をする場合」200ページ／「■ お好み登録をする場合」201ページ

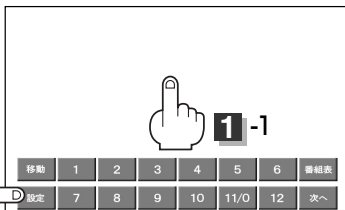
操作ボタン1表示画面

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

1-2



2

チャンネルリストを呼び出します。

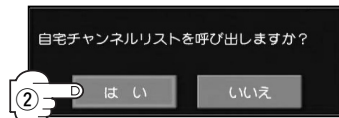
デジタルメニュー画面(例)



■ 自宅チャンネルリストを呼び出す場合

- ① **自宅呼出** ボタンをタッチする。
- ② 呼び出してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

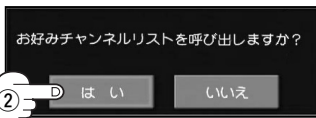
：チャンネルリストおよび **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)に自宅チャンネルリストとして登録した情報が呼び出され、チャンネルリストの一番上の放送局を表示します。



■ お好みチャンネルリストを呼び出す場合

- ① **お好み呼出** ボタンをタッチする。
- ② 呼び出してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

：チャンネルリストおよび **数字** ボタン(プリセット呼出ボタン)にお好みチャンネルリストとして登録した情報が呼び出され、チャンネルリストの一番上の放送局を表示します。





アドバイス

- 呼び出した時点でそれまでのチャンネルリストおよびプリセットされていた情報は消去されます。(呼び出した情報への上書きとなります。)
- 呼び出しをやめる場合は左記手順②のとき **いいえ** ボタンをタッチしてください。
- 手順①のとき、自宅／お好みチャンネルリスト未登録の場合はメッセージが表示されます。

Digital TVを使う(11)

映像を切り換える

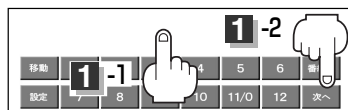
数種類の映像が同時に放送されている番組では、本機で映像を切り換えることができます。

操作ボタン1表示画面

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。



2

映像の切り換えは放送内容によって異なります。

■ 数種類の映像がある場合

① **映像** ボタンをタッチする。

：映像の種類が表示されます。

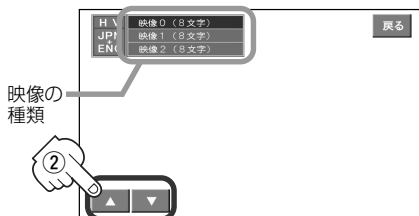
操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー

(▲/▼)をタッチして希望の映像を選ぶ。

：映像が切り換わります。



アドハイス

12セグの場合、数種類の映像が放送されているときはバナー表示の  が明るく表示されます。

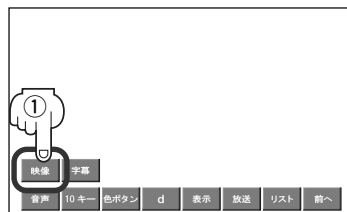
■ マルチビューテレビ放送の場合

マルチビューテレビ放送は、主番組、副番組の複数映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。

① **映像** ボタンをタッチする。

：映像の種類が表示されます。

操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー

(▲/▼)をタッチして希望の映像を選ぶ。

：映像が切り換わります。



アドハイス

- マルチビューテレビ放送を受信したときは画面に“マルチビューテレビ放送です。「映像切換」キーで選択できます。”とメッセージが表示されます。
- 本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

音声を切り換える

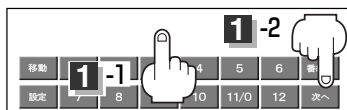
数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り換えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
画面の「次へ」ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面



2

音声の切り換えは放送内容によって異なります。

■ 二重音声の場合

① 「音声」ボタンをタッチする。

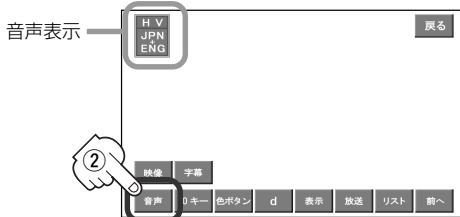
：音声が表示されます。

操作ボタン2



② 表示が出ている間に「音声」ボタンを
タッチする。

：タッチすることにより「JPN」、「ENG」、
「JPN+ENG」など切り換わります。



■ 数種類の音声がある場合

① 「音声」ボタンをタッチする。

：音声の種類が表示されます。

操作ボタン2



② 表示が出ている間にカーソルキー
(▲/▼)をタッチして希望の
音声を選ぶ。

：音声切り換わります。



● 音声の種類について

ステレオ ……………2チャンネル(左右)のステレオ放送です。

モノラル ……………左右が同じ音の、ステレオではない音です。

デュアルモノラル …複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

〔映像切換〕

映像
デュアル

〔音声切換〕



12セグの場合、数種類の音声放送されているときはバナー表示のが明るく表示されます。

Digital TVを使う(12)

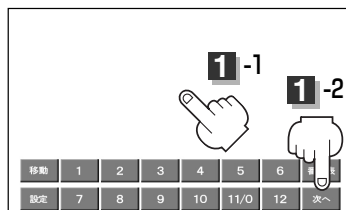
字幕表示を切り換える

映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 2 画面の **字幕** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより

→ 表示設定を第1言語にしました。

↓
表示設定を第2言語にしました。
(第2言語がない場合、第1言語)

↓
表示設定をオフにしました。

表示(例)



と切り換わります。

※表示が消えた場合はもう一度 **字幕** ボタンをタッチしなおしてください。



- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。
- バナー表示を表示させたとき、12セグの場合字幕サービスがあると明るく表示されます。



チャンネル表示の設定

選局時に表示されるチャンネル表示(バナー表示)の設定をすることができます。

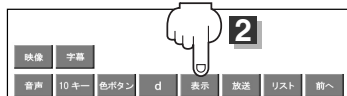
- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の「次へ」ボタンをタッチする。
：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の「表示」ボタンをタッチする。
：タッチすることにより
→ バナー表示を出す(大表示) → チャンネル表示(小表示)
← 何も表示しない ← 時計表示のみ ←
と切り換わります。

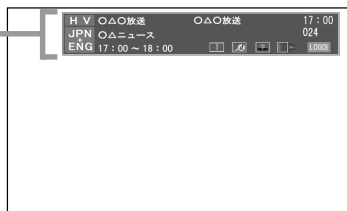
操作ボタン2表示画面(例)



●バナー表示のときは…

：チャンネル名や番組名など、番組の情報を表示します。

バナー表示



●チャンネル表示のときは…

：小さいチャンネル表示となります。(チャンネル番号、放送局のロゴマークと時刻を表示します。)



チャンネル表示

●時計表示のときは…

：時刻のみ表示します。



●何も表示しないときは…

：選局時、バナー表示(大表示)を約7秒間表示します。

- 3 操作ボタンの表示を止めるには…
画面をタッチする。



チャンネル表示(バナー表示/時計表示)は約7秒間表示されます。

※チャンネル表示につきましては「[「バナー表示について」](#)」190、191ページも参照ください。

Digital TVを使う(13)

郵便番号設定

郵便番号を設定することによって、地域特有のサービス情報やドライブ先の情報を知りたいときに便利です。

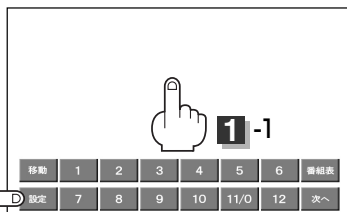
「データ放送を利用する」 230～232ページ

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

1-2



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の **郵便番号設定** ボタンをタッチする。

：郵便番号設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



- 4 画面の10キー(0～9)をタッチして郵便番号を入力し、**決定** ボタンを2回タッチする。

：システム設定画面に戻ります。

※天気予報などデータ放送の内容によっては、前3ケタの入力のみで利用できる場合もあります。

郵便番号設定画面



4-1

4-2



- 5 画面の **戻る** ボタンをタッチすると受信画面に戻ります。

文字スーパーを切り換える

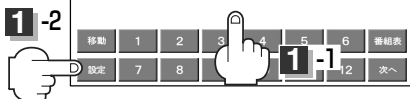
視聴者にお知らせしたい情報(臨時ニュースなど)を受信したとき、番組放送中の画面に表示するかどうかの設定をすることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



2

画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



3

画面の **表示設定** ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



4

表示方法(**第1言語**、**第2言語**、**表示しない**)を選択します。



■ 文字スーパーを表示させる場合

画面の **第1言語** ボタンまたは **第2言語** ボタンをタッチする。

：選択した言語で文字スーパーが表示されます。

■ 文字スーパーを表示させない場合

画面の **表示しない** ボタンをタッチする。：文字スーパーは表示されません。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

〔郵便番号設定〕

映像
デジタル

〔文字スーパー切替〕



アドバンス

- 工場出荷時は **第1言語** に設定されています。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは12セグのみのサービスです。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。[付]「**字幕表示を切り換える**」212ページ

Digital TVを使う(14)

現在地確認設定

お車の走行地域が変わって(県域をまたいで走行したときなどに)受信できなくなった場合、視聴エリアの変更をうながすメッセージが表示されます。

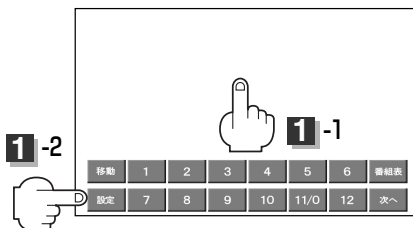
そのメッセージを表示させるかどうかの設定をすることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
画面の **設定** ボタンをタッチする。

: デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



2

画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

: システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



3

画面の **表示設定** ボタンをタッチする。

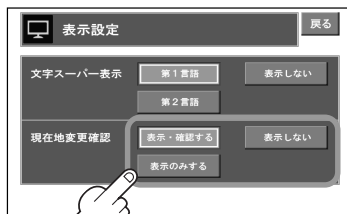
: 表示設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



4

メッセージを表示するかどうかの設定をします。



4

■ メッセージを表示させる場合

- ① **表示・確認する** または **表示のみする** ボタンをタッチする。

：走行地域が変わると視聴エリアの変更をうながすメッセージが表示されます。

※ **表示・確認する** を選択している場合は引き続き視聴エリアの変更を行なって地方／県域を設定しなおしてください。

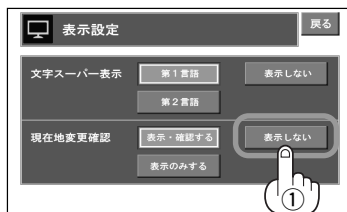
☞ 197、198ページ



■ メッセージを表示させない場合

- ① **表示しない** ボタンをタッチする。

：走行地域が変わってもメッセージは表示されません。



5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

映像
デジタル
〔現在地確認設定〕

Digital TVを使う(15)

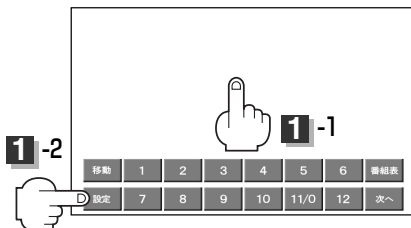
受信モード(ワンセグ・12セグ・切換なし)の設定をする

お車の受信状況によって優先的に受信するモードを自動でワンセグ・12セグと切り換えることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

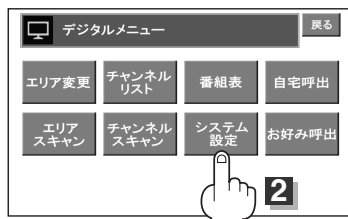
操作ボタン1表示画面



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の **受信モード設定** ボタンをタッチする。

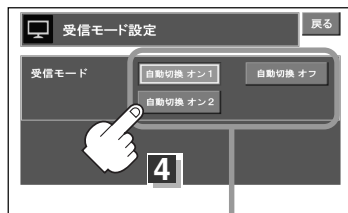
：受信モード設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



- 4 受信モードの設定をします。

受信モード設定画面



受信モード

■ ワンセグを優先的に受信する設定にする場合

自動切替オン1 ボタンをタッチする。

：受信状態が悪くなった場合、早々にワンセグに切り換えます。

※放送局によってワンセグ放送をしていない場合があります。その場合はワンセグ受信モードには切り換わりません。

■ 12セグを優先的に受信する設定にする場合

自動切替オン2 ボタンをタッチする。

：受信状態が悪くなっても、できるだけ12セグを優先して受信します。

■ ワンセグと12セグの切り換えを行なわない場合

自動切替オフ ボタンをタッチする。

：ワンセグと12セグの自動切替を行ないません。

選択しているセグメント(12セグまたはワンセグ)のままとなります。



アドバイス

- セグメントは操作ボタン2の **放送** ボタンをタッチして切り換えます。(P.192ページ)
※ワンセグ固定受信、12セグ固定受信と、状況によってワンセグと12セグを切り換える自動切替の中から選択できます。(自動切替は上記設定で **自動切替オフ** を選択している場合は表示されません。)
- 障害物などの影響により放送エリア内でも(ワンセグ／12セグともに)受信できない場合があります。
- ワンセグと12セグでは、放送内容が異なる場合があります。
- デジタルメニューから設定するここでの設定は、受信モードを設定するのみで現在の受信モードを変更するわけではありません。現在の受信モードを変更したい場合は操作ボタン2(P.192ページ)の **放送** ボタンをタッチして行なってください。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(16)

アンテナ電源の設定をする

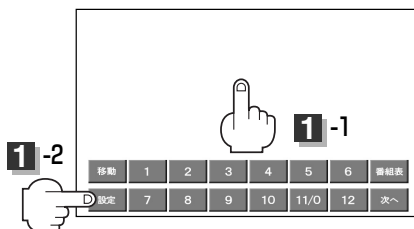
アンテナの電源設定を変更することができますが通常は**電源 入**に設定してください。

電源 切に設定すると正常に受信できません。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 2 画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の**アンテナ電源**ボタンをタッチする。

：アンテナ電源設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



- 4 画面の**電源 入**ボタンをタッチする。

アンテナ電源設定画面



設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(17)

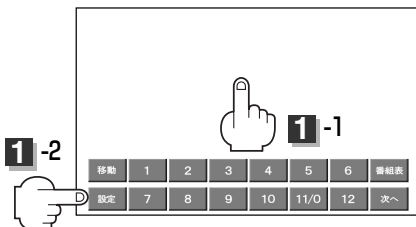
受信可能な放送局(チャンネル)および受信レベルを確認する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の **受信レベル確認** ボタンをタッチする。

：受信レベル確認画面が表示されます。

システム設定画面(例)



- 4 カーソルキー(▲/▼)をタッチする。

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から設定したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

受信レベル確認画面

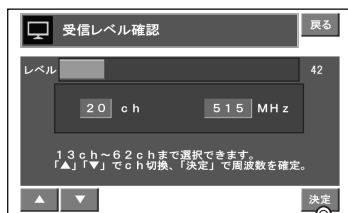


チャンネル表示 周波数表示

5

画面の **決定** ボタンをタッチする。

：周波数を確定します。



5

6

設定を終わるには…

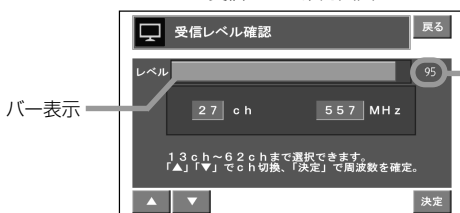
画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さや数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面



MAXを100とし、100に近い程受信状態は安定しています。

映像

デジタル

〔受信レベル確認〕

Digital TVを使う(18)

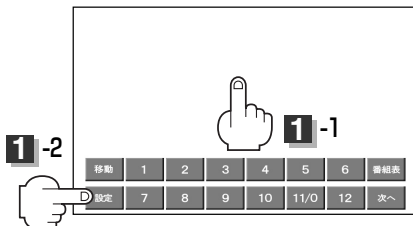
B-CASカード(ICカード)のテストをする

B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードテスト(ICカードテスト)を行ってください。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の **B-CASテスト** ボタンをタッチする。

：B-CASカードテスト画面が表示されます。

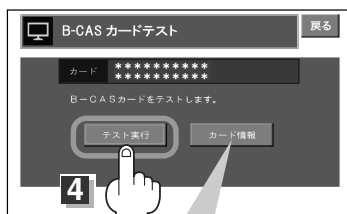
システム設定画面(例)



4

画面の **テスト実行** ボタンをタッチする。

: テストが実行され、正常に動作する状態であれば“正常です。”と表示されます。



カード情報 ボタンをタッチするとB-CASカードの情報を表示することができます。

グループ識別	カード I D、グループ I D					
A000		0000	0000	1234	5678	9012
A001	1	0000	0000	1234	5678	9012
A002	1	0000	0000	1234	5678	9012
A003	1	0000	0000	1234	5678	9012
A004	1	0000	0000	1234	5678	9012
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

映像

デジタル

〔B-CASカードテスト〕

Digital TVを使う(19)

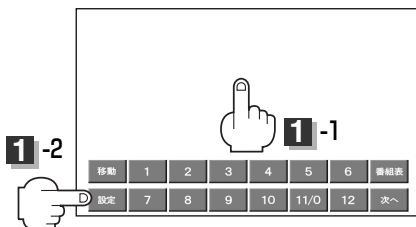
放送局からの情報を見る

放送局からのお知らせメールを見ることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

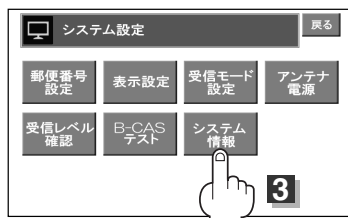
デジタルメニュー画面(例)



- 3 画面の **システム情報** ボタンをタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

システム設定画面(例)



- 4 画面の **受信変更情報確認** ボタンをタッチする。

：情報一覧画面が表示されます。

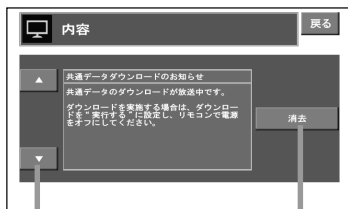
システム情報確認画面



ダウンロードの内容やスケジュールを確認したり、ダウンロードを実行することができます。[P] 右記

5 画面の確認したいメールをタッチする。

：選択したメールの内容が表示されます。



次ページがある場合、**前へ**／**次へ**
または **▲**／**▼** ボタンタッチで戻り／
送り表示することができます。

共有 ボタンをタッチすると
選択中のメールを消去する
ことができます。

6 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- 本機で受信できる情報(お知らせメール)は16件までです。
- メールにはトラブルを知らせるものなどがあります。
- B-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

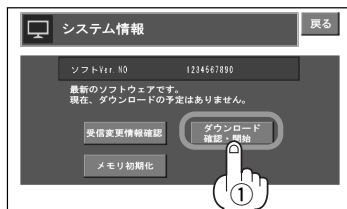
■ ダウンロードを確認・開始させる場合

本機内のデータや機能をバージョンアップすることができます。
(プリセット一覧が最新状態になるなど…)

①左記手順 **4** のとき画面の **ダウンロード確認・開始**
ボタンをタッチする。

：ダウンロード確認・開始画面が表示されます。

システム情報確認画面



Digital TVを使う(20)

② 内容とスケジュールを確認してダウンロードを行ないます。

■ ダウンロードする内容を確認する場合

1. **内容確認** ボタンをタッチすると…
：ダウンロードする内容を確認することができます。

■ スケジュールの確認をする場合

1. **スケジュール確認** ボタンをタッチする。
：現在のダウンロードスケジュールが表示されます。



※表示されている時間帯に **ダウンロード開始** ボタンをタッチするとダウンロードを行なうことができます。



2. 内容の確認とスケジュールの確認が終わったら **ダウンロード開始** ボタンをタッチする。
：ダウンロードが開始されます。

③ ダウンロードが終わったら…

：ダウンロードが完了したことを知らせるメッセージが表示されるので、車のエンジンスイッチを0(OFF)にし電源を切る。

※再び他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをⅡ(ON)にし電源を入れてください。



注意 ダウンロード中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたりⅠ(ACC)の状態からⅡ(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。また、受信状態が安定している場所でダウンロードを行なってください。

※受信状態は受信レベル確認画面より確認できます。  223ページアドバイス参照

設定を初期化する

デジタルメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

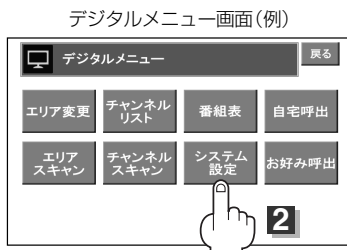
- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。



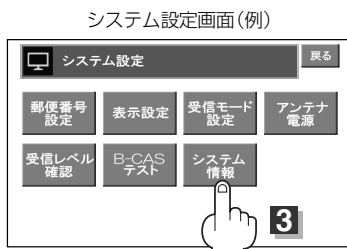
- 2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。



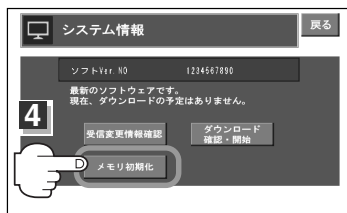
- 3 画面の **システム情報** ボタンをタッチする。

：システム情報画面が表示されます。



- 4 画面の **メモリ初期化** ボタンをタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると設定内容を初期化します。



- 5 初期化が終わったら…

車のエンジンスイッチをO(OFF)にし、電源を切る。

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをII(ON)にし、電源を入れてください。

 他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



- 初期化中は車のエンジンスイッチをO(OFF)にしないでください。

故障の原因となります。

- 初期化を行なうと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

「ダウンロードを確認・開始する」

映像
デジタルV

「設定を初期化する」

Digital TVを使う(21)

データ放送を利用する データ放送は12セグのみ対応しています。

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

※データ放送を利用するにはあらかじめ郵便番号を設定しておく必要があります。

「 郵便番号設定」214ページ

●データ放送には番組付加型と独立型があります。

番組付加型データ放送…天気やニュースなど番組に関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報など
を提供

独立型データ放送………データのみを専門に放送

1 202～205ページの手順にしたがって、番組付加型データ放送または独立型データ放送の放送局を選局する。

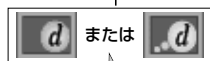
2 データ放送を見ます。

※バナー表示に“”または“”と表示されます。

バナー表示



■ 番組付加型データ放送を見る場合

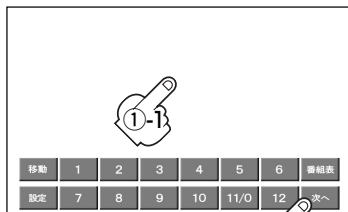


データ放送の場合表示されますが、番組付加型データ放送の場合はアイコンは表示されません。
※放送局の送信データによってはアイコンが表示されない場合でもデータ放送が放送されている場合があります。

①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1



②画面の **d** ボタンをタッチする。

操作ボタン2



：データ放送画面が表示されます。

- ③230ページ手順①にしたがって
操作し、②のとき画面の **色ボタン**
をタッチする。

データ放送画面(例)



- ④画面の色ボタンを使って見たい項目を
選択し、**決定** ボタンをタッチする。

データ放送画面(例)



色ボタン



アドハイス

- 番組によりカラーキー(青/赤/緑/黄)を使った画面や、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー(青/赤/緑/黄)/数字ボタン(0~12(※192ページ))をタッチして項目を選択してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。
- 色ボタンを使用しなくてもデータ放送画面に表示される各項目を直接タッチして選択できる場合もあります。**前へ** ボタンをタッチすると1つ前の操作ボタンを表示します。
- 操作ボタンを移動させたいときは **移動** ボタンをタッチしてください。(上下に移動します。)
- 受信する放送局によっては、表示するまでに時間がかかる場合があります。その間に **d** ボタンを数回タッチすると、データ放送画面が表示されない場合があります。

- ⑤データ放送を見たら…
画面の **d** ボタンをタッチする。

データ放送画面(例)



：受信画面に戻ります。



アドハイス

- 表示が“**d**”のときは、天気予報など番組とは直接関連しないデータ放送です。
- 表示が“**d**”のときは、出演者や選手の情報など番組内容に関連するデータ放送です。
- 放送電波からデータを取得している間は“データ取得中”と表示されます。“dボタンを押してください”と表示される番組もあります。
- 受信時に“dボタンを押してください”と表示される番組では、**d** ボタンをタッチしたときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- d** ボタンをタッチしなくても自動でデータ放送画面が表示される場合もあります。
- 画面の操作ボタンの表示が消えた場合は、再度画面をタッチし **次へ** をタッチし操作ボタン2を使用して色ボタンの表示や **d** ボタンタッチでデータ放送の終了をしてください。

映像

デジタル

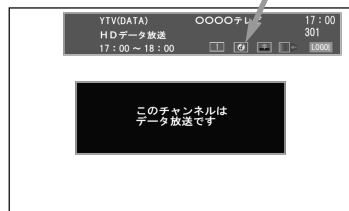
データ放送を利用

Digital TVを使う(22)

■ 独立型データ放送を見る場合

独立型データ放送では受信後のバナー表示に“**d**”と表示されます。

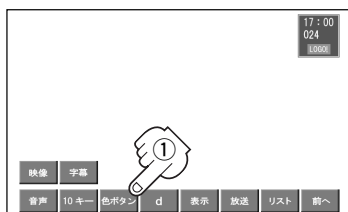
データ放送画面(例)



①230ページ手順①にしたがって

操作し、②のとき画面の**色ボタン**をタッチする。

操作ボタン2



②画面の色ボタンを使って見たい項目を

選択し、**決定** ボタンをタッチする。



色ボタン



アドハイス

- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が出る番組や動画が表示される番組があります。
- 独立型データ放送の画面は、番組付加型データ放送と同じようにカラーキー(青／赤／緑／黄)を使った画面(手順は上記参照)、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー(青／赤／緑／黄)／数字ボタン(0～12 (P 192ページ))をタッチして項目を選択してください。
- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示にしたがってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

リレーサービスの番組を見る

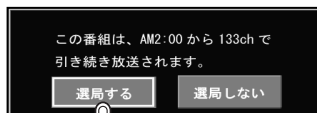
リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらない場合に別のチャンネルで番組の続きを放送するサービスです。

※リレーサービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

1

画面の **選局する** ボタンをタッチする。

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



1



アドバイス

番組の続きを見ない場合は、**選局しない** ボタンをタッチしてください。

臨時サービスの番組を見る

放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送する場合があります。

■臨時放送が始まると…

臨時放送が始まると、画面に“〇〇〇chで臨時サービスが放送されています。”と表示されます。

〇〇〇chで臨時サービスが
放送されています。

パネルの **選局** ボタン(◀◀/▶▶)を押すか、画面の10キーボタンを表示させ選局してください。

■臨時放送が終了すると・・・

臨時放送が終了すると、画面に“臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。”と表示され、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

臨時サービスは12セグのみのサービスです。

Digital TVを使う(23)

緊急放送を見る

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

■「現在地設定」をしてください。

緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に現在地設定(地方／県域の設定)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。

 「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 197、198ページ

■受信中に緊急放送が始まると…

緊急放送が始まると、画面に“緊急放送が始まりました。”と表示され、自動で緊急放送に切り換わります。

緊急放送が始まりました。

■緊急放送が終了すると…

緊急放送が終了すると、画面に“緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。”と表示され、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

緊急放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。Digital TVモード以外のモードを選択しているときや、車のエンジンスイッチをO (OFF) にしているときは緊急放送は受信できません。

エラーコードについて

画面にメッセージとエラーコード〔Exxx〕が表示された場合は以下の原因が考えられます。

メッセージ	エラーコード	本機の動作および処置
アンテナ接続が異常のためコンバータを切にしました。接続をもう一度確認してください。	〔E209〕	アンテナ線がショートしたとき。
信号が受信できません。	〔E202〕	アンテナ線が外れているとき。 受信状態が悪く、番組を提示できないとき。
現在放送されていません。	〔E203〕	放送休止中のとき。 (PAT/PMTが取得できず)
放送チャンネルではないため、視聴できません。	〔E200〕	非放送サービスを受信 (NIT) したとき。
データが受信できません。	〔E400〕	データ放送のBMLドキュメントが取得できないとき。
この受信機ではデータを表示できません。	〔E401〕	データ放送のBMLエンジンが、取得したBMLドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。
データの表示に失敗しました。	〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。
このチャンネルは存在しません。	〔E204〕	10キー選局において、存在しないチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。
この受信機では、このチャンネルは受信できません。	〔E210〕	10キー選局において、未対応チャンネルのチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。

【緊急放送】

映像

デジタル

【エラーコードについて】



VTR



VTR機能を使う

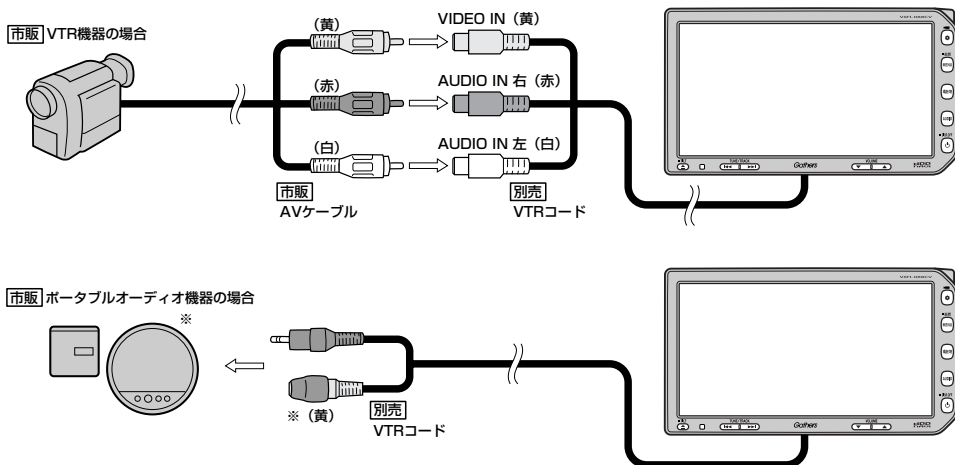
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。出力するには、別売のVTRコードをお買い求めください。



VTR機器などの映像は安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

市販の音声ケーブルやAVケーブルと別売のVTRコードなどを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



※DVDプレーヤー等の場合に使用します。

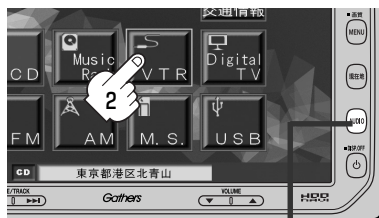
2

使用する機器の電源を入れる。

※他のモードになった場合は

1. パネルの **AUDIO** ボタンを押してAVソース画面を表示させ、
2. 画面の **VTR** ボタンをタッチして、VTRモードに切り替えてください。

AVソース画面(例)



1 **AUDIO** ボタン

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

注意

本機の電源をOFF(エンジンスイッチをO(OFF)に)する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～41ページ



アドハイス

VTRから入力された音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ



アドハイス

- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- **Quick** ボタンをタッチするとQuickメニュー画面が表示され、モードまたは機能選択をすることができます。(🔊 288ページ)
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子 (RCA×1系統)

映像入力レベル	1Vpp (入力インピーダンス75Ω)
音声最大入力レベル	2.0V (入力インピーダンス47KΩ)

映像
VTR

〔VTR機能を使う〕



M.S.(メモリースティック)

メモリースティックの音楽再生について	242～244
メモリースティックを使う	245～262
各部の名称とはたらき	245
表示部(再生画面)について	246、247
メモリースティックを聞く	248、249
M.S.モードを終了する	249
メモリースティックを取り出す	249
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	250
早戻し／早送りをする	250
トラックリストより好きなトラックを 選び再生させる	251
選曲メニューより選択し再生させる	252、253
MP3／WMA／AACの再生モードを選択する	254～257
メモリースティックPROオーディオの再生モードを 選択する(OMA)	258～261
好きなフォルダを選ぶ (MP3/WMA/AACの場合)	262
好きなアルバムを選ぶ (メモリースティックPROオーディオの場合)	262

メモリースティックの音楽再生について(1)

パソコンからメモリースティックにMP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。

※メモリースティックPROオーディオ (OMA形式) にも対応しています。その場合はATRAC3/ATRAC3Plus/MP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データの再生となります。

■ “Memory Stick” 及び  はソニー株式会社の商標または登録商標です。

■ 本製品では著作権保護された音楽データの再生にメモリースティックメディアおよびマジックゲートメモリースティックメディアをご使用いただけません。著作権保護された音楽データの再生には、メモリースティックPROメディアをご使用ください。

※メモリースティックPROを使用することでOpenMGオーディオ形式の再生にも対応しています。

■ MP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

■ AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用する音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては126ページを参照ください。

■メモリースティックについて

- メモリースティックに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。

- メモリースティックの初期化は本機で行なってください。

 「システムの設定について」290、291ページ

- メモリースティックの音楽再生中にメモリースティックを抜かないでください。

※M.S.モードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。

- メモリースティックDuo/メモリースティックPRO Duoを使用する場合は必ずメモリースティックDuoアダプター/メモリースティックPRO Duoアダプターを使用してください。

- メモリースティック/メモリースティックDuoはM.S.PROモードは使用できません。

- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはメモリースティックの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

- 端子部には手や金属などで触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

- 分解したり、改造したりしないでください。

- 水にぬらさないでください。

- 以下のような場所での使用や保存はしないでください。

- ・使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）

- ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■操作可能な機能と対応可能なメモリースティックの組み合わせは以下のとおりとなります。

機能		メモリースティックの種類		
		メモリースティック (マジックゲート非対応)	メモリースティック (マジックゲート対応)	メモリースティックPRO
静止画像の閲覧と本機への保存 [P] 66～71ページ		○	○	○
音楽データの再生 [P] 242～262 ページ	MP3	○	○	○
	WMA	○	○	○
	AAC	○	○	○
	ATRAC	×	×	○※1
Gracenoteデータベースアップ デート[P] 52～58ページ		○	○	○

※1：メモリースティックPROオーディオ(M.S.PROモード)で再生が可能です。

■OpenMGオーディオ(OMA)形式の音楽データをメモリースティックPROオーディオに転送するには…

マジックゲートに対応したメモリースティックスロットがあるパソコンまたはマジックゲートに対応したメモリースティックリーダー／ライターを使用し、Sonic Stage(ソニー社)／BeatJam(ジャストシステム社)などのアプリケーションから転送を行なってください。

※本機にアプリケーションは付属していません。

※OMAファイルをそのままメモリースティックにコピーしても再生できません。

※“ATRAC”、“OpenMG” およびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。

ATRAC OpenMG

※BeatJamは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

■MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3／WMA／AACファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。

メモリースティックの音楽再生について(2)

- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC (m4a) ファイルに画像データ (iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1フォルダ内の最大ファイル数255 (ファイル+フォルダ)／最大フォルダ数：50となります。
- 選曲メニュー (P252ページ) のフォルダやアルバム、トラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

■ファイル名について

- MP3／WMA／AAC／OMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”／OMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角31文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。

※：トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましてはP130、131ページを参照ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

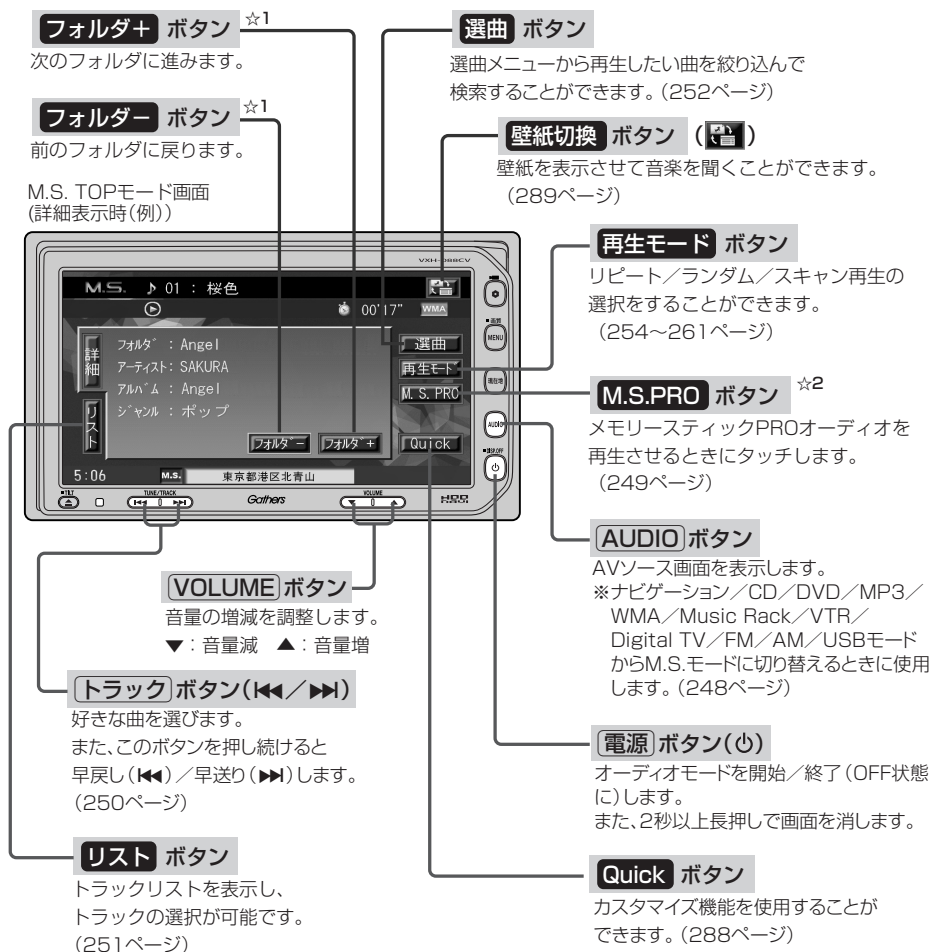
※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3plusを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

メモリースティックを使う(1)

各部の名称とはたらき

主な再生画面はメモリースティックにて説明しています。

※メモリースティックPROオーディオ独自機能の場合は別途説明しています。



「メモリースティックの音楽再生について」

M.S.再生

「各部の名称とはたらき」



アドバイス

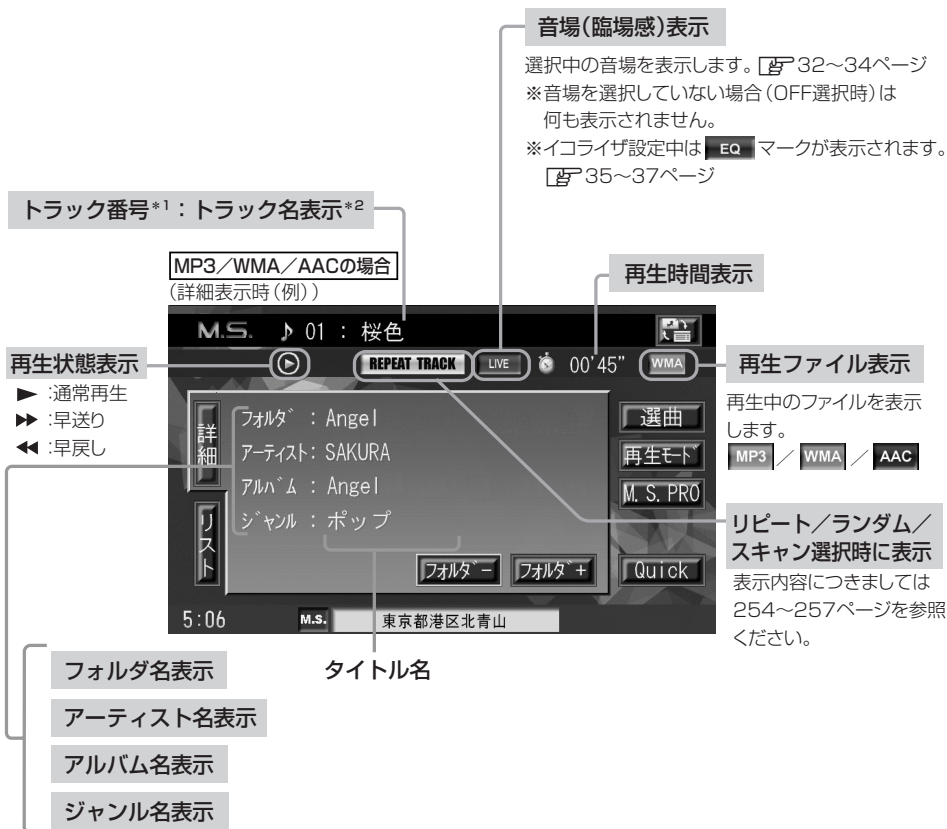
- メモリースティックPROメディアを挿入し、**M.S.PRO** ボタンをタッチした場合に **フォルダー** / **フォルダ+** (☆1) ボタンが **アルバム** / **アルバム+** ボタン表示に変わります。

📖 262ページ参照

- ☆2印: メモリースティックPROを挿入した場合に選択することができます。

メモリースティックを使う(2)

表示部(再生画面)について



メモリースティックPROオーディオ(OMA)の場合
(詳細表示時(例))



再生ファイル表示

メモリースティックPRO
オーディオの場合に表示

リピート/ランダム/
スキャン選択時に表示

表示内容につきましては
258～261ページを参照
ください。

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

タイトル名

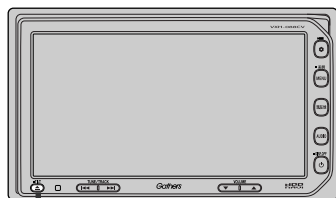


アダプティブ

- トラック名/フォルダ名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※ * 1印：トラック番号がない場合は表示されません。
※ * 2印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(MP3/WMA/AACの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(フォルダ名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

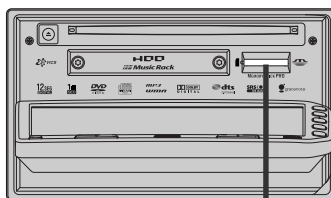
メモリスティックを使う(3)

[ディスプレイが閉じた状態]



1/3 **TILT** ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 メモリスティック挿入口

メモリスティックを聞く

■ メモリスティック未挿入の場合

- 1** パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイが開きます。



アドバイス

16、17ページおよび別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 37、41ページ

- 2** メモリスティック挿入口にメモリスティックを差し込む。

- 3** パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイ部が閉じます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回M.S.モード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回のつづきからメモリスティックの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションまたは前回M.S.モード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AVソース画面のときは…

②にすんでください。

- ラストモード*画面のときは…

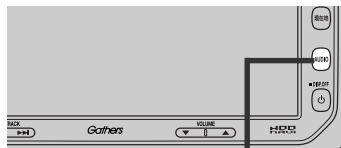
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

- ②画面の **M.S.** ボタンをタッチする。

：メモリスティックの再生を始めます。



↓ ① **AUDIO** ボタン

AVソース画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」26ページ／「映像の調整のしかた」27～29ページ／
「オーディオの調整をする」32～41ページ



メモリースティックの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」24ページ

□ メモリースティックPROオーディオ(M.S.PROモード)を再生させるには…

本機はメモリースティックの他にメモリースティックPROオーディオを使用して音楽再生することができます。

※ATRAC3／ATRAC3plus／MP3／WMA／AAC形式のファイル(OMA)を再生します。

1. メモリースティックPROを本機に挿入する。

2. **M.S.PRO** ボタンをタッチする。



●メモリースティックを挿入した場合

M.S.PRO ボタンは選択できません。

●メモリースティックで再生できるファイル形式はMP3／WMA／AACとなります。

●本書では主にメモリースティック再生時の画面にて操作説明しています。



メモリースティックPRO
オーディオ再生時に表示

M.S.モードを終了する

1

パネルの**電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されメモリースティックの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)

メモリースティックを取り出す

1

パネルの**TILT** ボタン(▲)を押す。：ディスプレイが自動で開きます。

2

メモリースティックを1回押し取り出す。



●メモリースティックを取り出して、再度再生を始めると前に再生していたつづきから再生を始めます。

※メモリースティック認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。

●音楽再生中にメモリースティックを取り出すとデータがこわれたり、メモリースティックが破損する恐れがあります。必ずM.S.モードを終了(OFF)にして取り出してください。

メモリースティックを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」右記

早戻し／早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

▶▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(☞ 252ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ/アルバム)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

M.S. TOPモード画面(詳細表示(例))



TOPモード画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。



M.S.モード画面(例)



詳細表示

→ **リスト** ボタンタッチ

M.S.モード画面(例)



トラックリスト表示

← **詳細** ボタンタッチ

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

M.S. TOPモード画面(トラックリスト表示時(例))



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示



TOPモード画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

(「一曲ずつ選曲」/「早戻し/早送り」)

M.S.再生

(「リストより選択」)

メモリスティックを使う(5)

選曲メニューより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲メニューから絞り込んで検索できるので便利です。

M.S. TOPモード画面(詳細表示時(例))

1

画面の **選曲** ボタンをタッチする。

: 画面右側に選曲メニュー画面がポップアップ表示されます。

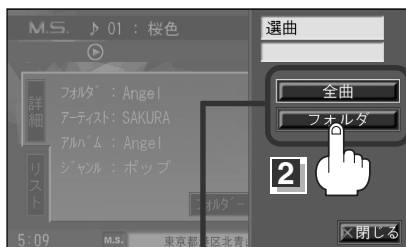


2

選曲メニューより選曲する方法を選択します。

■ MP3/WMA/AACの場合

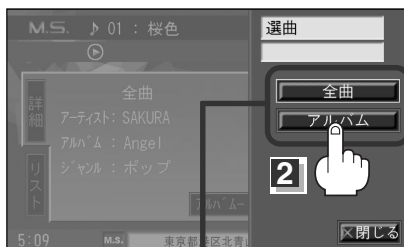
全曲 / **フォルダ** ボタンより選択する。



選曲メニュー

■メモリスティックPROオーディオの場合 (OMA)

全曲 / **アルバム** ボタンより選択する。



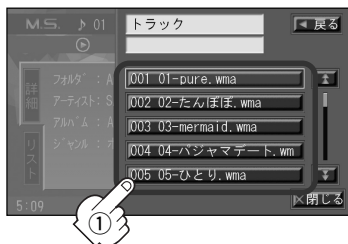
選曲メニュー

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

: トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

■ フォルダ ボタンをタッチした場合 (MP3/WMA/AAC再生時)

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



■ アルバム ボタンをタッチした場合 (メモリースティックPROオーディオ再生時)

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。



3

設定を終るには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチすると再生TOP画面に戻ります。



次ページがある場合 / ボタンタッチでページ戻し/送り表示をします。

メモリースティックを使う(6)

MP3/WMA/AACの 再生モードを選択する

※メモリースティックPROオーディオの場合は258～261ページを参照ください。

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

M.S. TOPモード画面(例)



2 再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン**)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。



選択中の再生モードの状態を表示

：リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)

今聞いているフォルダの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT FOLDER マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)

■ ランダム（順序不同）再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。

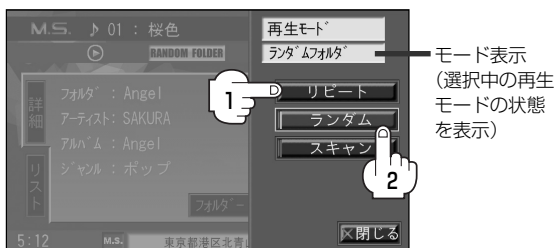
：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。（TOP画面で **RANDOM** マーク表示有）

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。（マーク表示無）
全曲のランダム再生以外にもフォルダのランダム再生をすることができます。（下記）

□ フォルダのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からランダム再生

（TOP画面でマーク表示は **RANDOM FOLDER** となります）

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし（空白）にしてください。（TOP画面でマーク表示無）



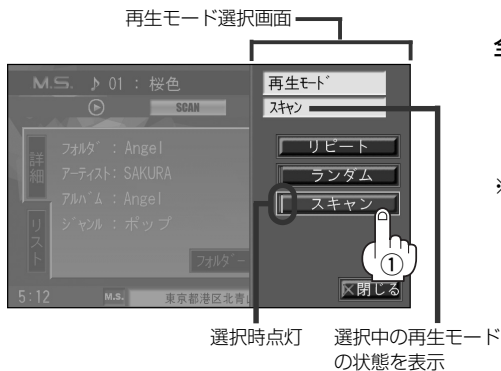
アドバイス

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

メモリースティックを使う(7)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

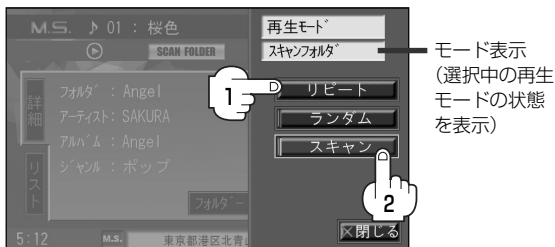
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもフォルダのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ フォルダまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN FOLDER** となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



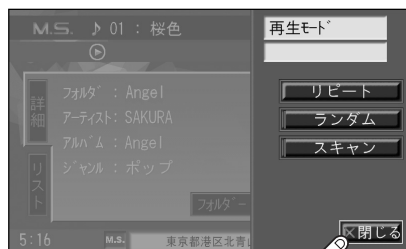
スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：M.S. TOPモード画面に戻ります。



3



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

「メモリースティックの再生モード選択（スキャン）」

M.S.再生

メモリースティックを使う(8)

メモリースティックPROオーディオの再生モードを選択する (OMA)

※MP3/WMA/AACの場合は254～257ページを参照ください。

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

M.S. PRO TOPモード画面 (例)



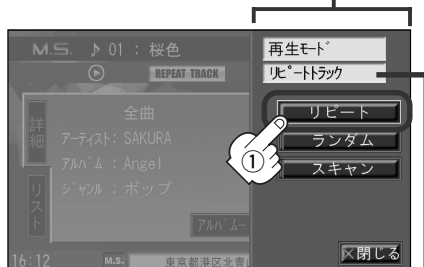
2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン**)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

：リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)

今聞いているアルバムの
リピート再生

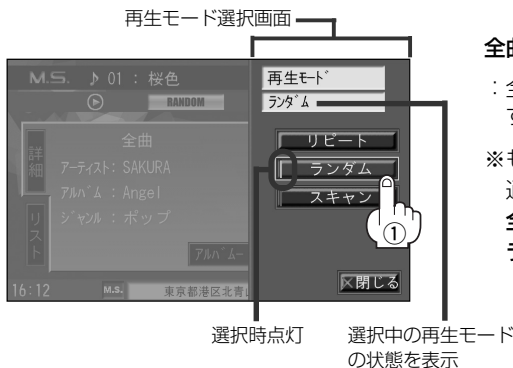
(TOP画面のとき
REPEAT ALBUM マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)

■ ランダム（順序不同）再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。

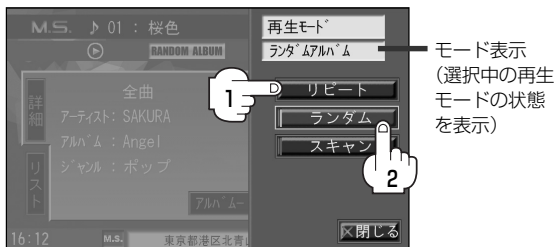
：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。（TOP画面で **RANDOM** マーク表示有）

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。（マーク表示無）
全曲のランダム再生以外にもアルバムのランダム再生をすることができます。（下記）

□ アルバムのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムにする。

※すでにリピートアルバム再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からランダム再生

（TOP画面でマーク表示は **RANDOM ALBUM** となります）

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし（空白）にしてください。（TOP画面でマーク表示無）

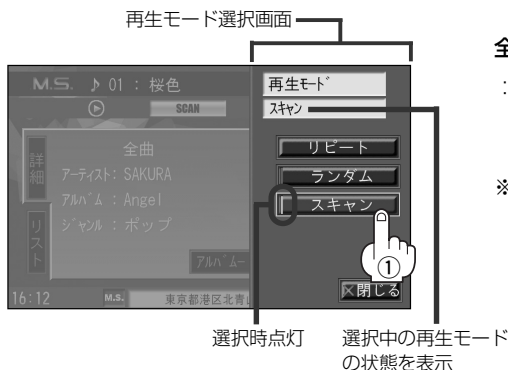


曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が回数連続で再生されることがあります。

メモリースティックを使う(9)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

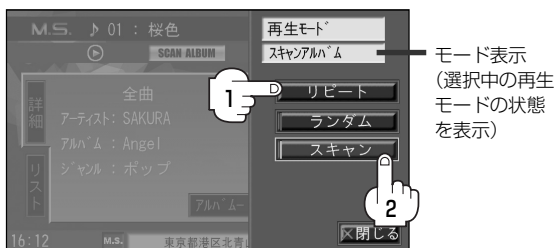
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもアルバムのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ アルバムまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートアルバム再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN ALBUM** となります)

※通常再生に戻れる場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



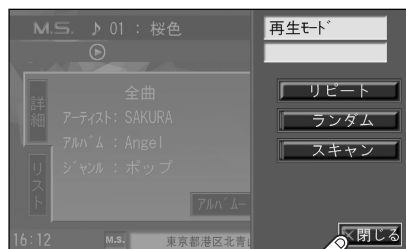
スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

： M.S. PRO TOPモード画面に戻ります。



3



アドハイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

〔メモリスティックPROオーディオの再生モード選択(スキャン)〕

M.S.再生

メモリースティックを使う(10)

好きなフォルダを選ぶ (MP3/WMA/AACの場合)

聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

画面の **フォルダー** / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



1

好きなアルバムを選ぶ (メモリースティックPROオーディオの場合)

聞きたいアルバムを選ぶことができます。

1

画面の **アルバム** / **アルバム+** ボタンをタッチする。

■ 前のアルバムに戻る場合

アルバム ボタンをタッチする。

■ 次のアルバムに進む場合

アルバム+ ボタンをタッチする。



1

USB

USBメモリデバイスの音楽再生について …264～266

USBメモリデバイスを使う ……267～286

各部の名称とはたらき ……	267
表示部(再生画面)について ……	268、269
USBメモリデバイスを本機に接続するには ……	270
USBメモリデバイスを聞く ……	270、271
USBモードを終了する ……	271
USBメモリデバイスの接続をやめるには ……	271
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める) ……	272
早戻し／早送りをする ……	272
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる ……	273
選曲メニューより選択し再生させる ……	274～277
USBフラッシュメモリの再生モードを選択する (MP3／WMA／AAC) ……	278～281
ウォークマンの再生モードを選択する(OMA) ……	282～285
好きなフォルダを選ぶ (USBフラッシュメモリの場合) ……	286
好きなアルバムを選ぶ (ウォークマンの場合) ……	286

USBメモリデバイスの音楽再生について(1)

別売のUSB接続コードを接続することにより、パソコンからUSBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ)にMP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。

※ソニー社製のATRAC AD対応のウォークマン(OMA形式)にも対応しています。

■MP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用する音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては126ページを参照ください。

■USBメモリデバイスについて

- マストレージクラスのUSBフラッシュメモリ(USBメモリデバイス)および、ATRAC AD対応のウォークマンに対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16/FAT32のファイルシステムに対応しています。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 別売のUSB接続コードを使用して接続してください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

□ウォークマン(ATRAC AD対応)について

- 本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン(Eシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズ)を接続し、再生することができます。
※2007年4月現在に発表されているものに限りです。
- ウォークマンの種類によりウォークマンの対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマンに転送できる音楽フォーマットはウォークマンに依存しますのでウォークマンの取扱説明書を参照してください。
- ウォークマンに転送されたATRAC Advanced Lossless/WAV(PCM)形式の曲には対応していません。

“ウォークマン”はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless”は、ソニー株式会社の商標です。

■MP3/WMA/AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3/WMA/AACファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層/フォルダ内の最大ファイル数：255(ファイル+フォルダ)/最大フォルダ数：50となります。
- 選曲メニューのリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3/WMA/AAC/OMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”/OMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。

※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

USBメモリデバイスの音楽再生について(2)

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角31文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名／トラック番号*です。

*：トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては[P.130、131ページ](#)を参照ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3plusを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

USBメモリデバイスを使う(1)

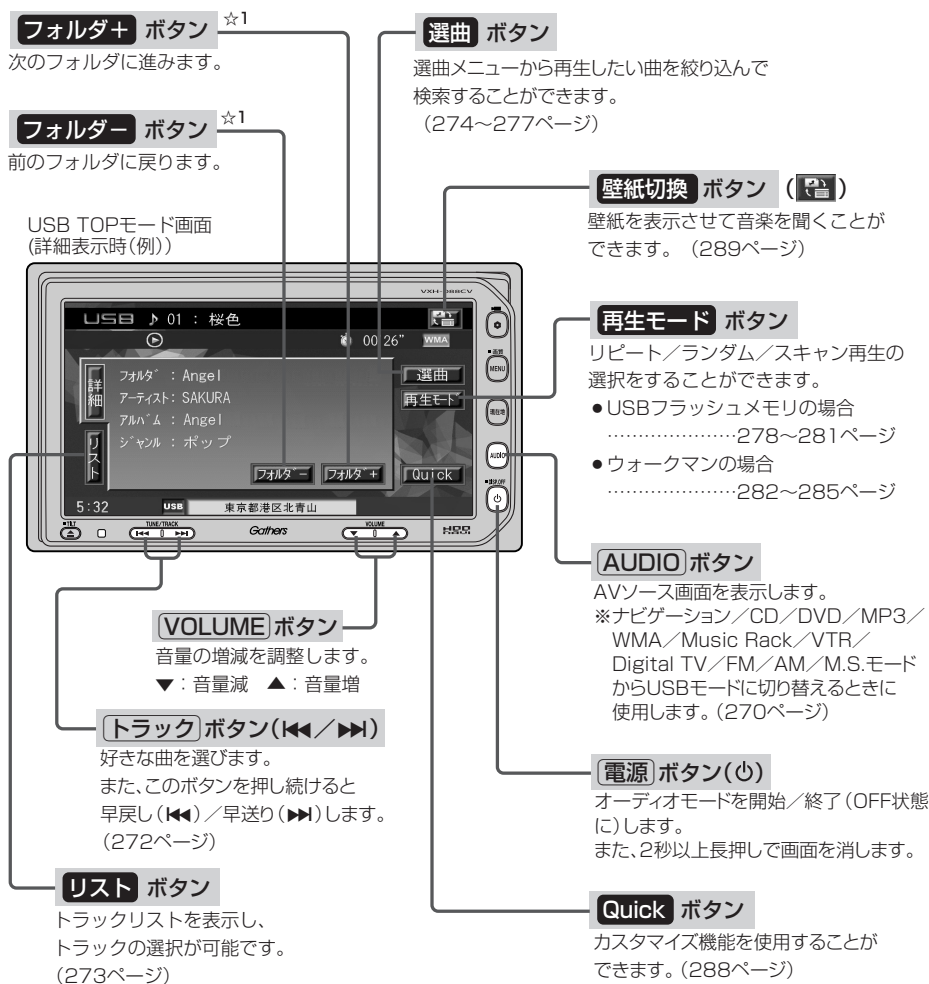
各部の名称とはたらき

主な操作画面は代表としてUSBフラッシュメモリ接続時を記載しています。

※ATRAC AD対応ウォークマン接続時のみの機能の場合は、別途説明しています。

〔USBメモリデバイスの音楽再生について〕／〔各部の名称とはたらき〕

USB再生

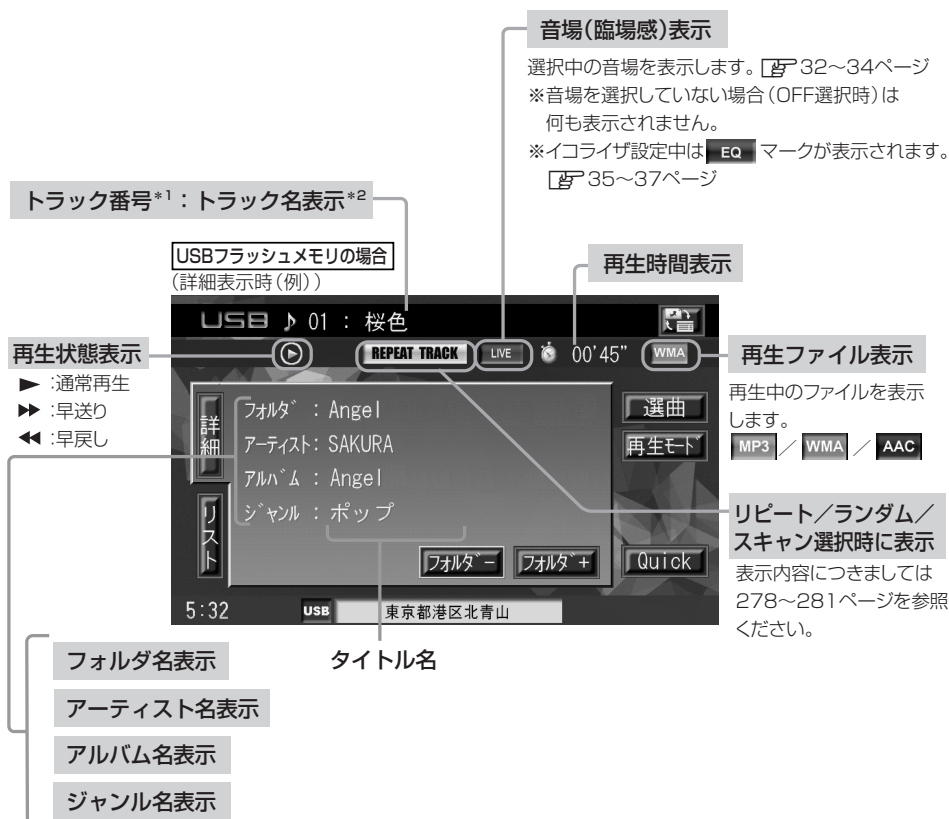


アドバンス

☆1印: ソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン(Eシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズ)を接続している場合、**フォルダー**／**フォルダ+** (☆1) ボタンが **アルバム**／**アルバム+** ボタン表示に変わります。📖 286ページ参照

USBメモリデバイスを使う(2)

表示部(再生画面)について



ウォークマンの場合
(詳細表示時(例))



再生ファイル表示

ウォークマンの場合に表示

リピート/ランダム/
スキャン選択時に表示

表示内容につきましては
282～285ページを参照
ください。

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

タイトル名



アドハイス

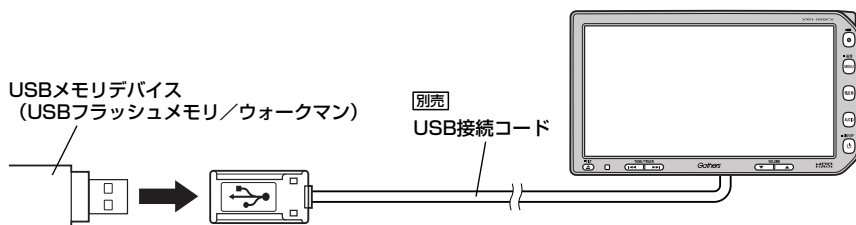
- トラック名／フォルダ名／アーティスト名／アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※＊1印：トラック番号がない場合は表示されません。
※＊2印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(USBフラッシュメモリの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(フォルダ名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

USBメモリデバイスを使う(3)

USBメモリデバイスを本機に接続するには

別売のUSB接続コードを使用します。

1 別売のUSB接続コードにUSBメモリデバイスを接続する。



USBメモリデバイスを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回USBモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからUSBメモリデバイスの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションまたは前回USBモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AVソース画面のときは…

② にすすんでください。

- ラストモード*画面のときは…

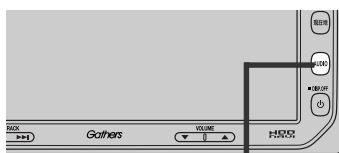
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AVソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

② 画面の **USB** ボタンをタッチする。

：USBメモリデバイスの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン
↓
AVソース画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「映像の調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 32～41ページ



アドバース

USBメモリデバイスの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

USBモードを終了する

1 パネルの「電源」ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されUSB機器の再生を止めます。(オーディオモード終了)



① 「電源」ボタン(⏻)

USBメモリデバイスの接続をやめるには

1 パネルの「電源」ボタン(⏻)を押す。

：電源をOFF(オーディオモード終了)します。

2 USBメモリデバイスを外す。

USBメモリデバイス
(USBフラッシュメモリ/ウォークマン)



アドバース

- USBメモリデバイスを外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※USBメモリデバイス認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSBメモリデバイスを外すとデータがこわれたり、USBメモリデバイスが破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

USBメモリデバイスを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの[トラック]ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

1 [トラック]ボタン

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」右記

早戻し／早送りをする

1 パネルの[トラック]ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

1 [トラック]ボタン



それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲メニュー(☞ 274ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ/アルバム)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

USB TOPモード画面(詳細表示(例))



トピックモード画面は選択するボタン(**詳細** / **リスト**)によって詳細表示/トラックリスト表示となります。

アドバイス

USBモード画面(例)



詳細表示

USBモード画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

USB TOPモード画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

(一曲ずつ選曲) / (早戻し/早送り)

USB再生

(リストより選択)

USBメモリデバイスを使う(5)

選曲メニューより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲メニューから絞り込んで検索できるので便利です。

USB TOPモード画面(詳細表示時(例))

1

画面の **選曲** ボタンをタッチする。

: 画面右側に選曲メニュー画面がポップアップ表示されます。

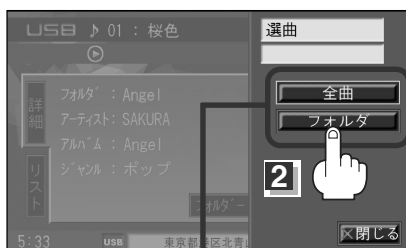


2

選曲メニューより選曲する方法を選択します。

■ USBフラッシュメモリの場合 (MP3/WMA/AAC)

全曲 / **フォルダ** ボタンより選択する。



選曲メニュー

■ ウォークマンの場合 (OMA)

全曲 / **アルバム** / **アーティスト** /
ジャンル / **グループ** ボタンより選択
する。



選曲メニュー

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

: トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

■ **フォルダ** ボタンをタッチした場合 (USBフラッシュメモリ再生時)

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

フォルダリスト画面



フォルダリスト

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



トラックリスト

■ **アルバム** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面

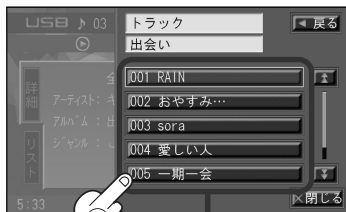


アルバムリスト

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



トラックリスト

USBメモリデバイスを使う(6)

■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

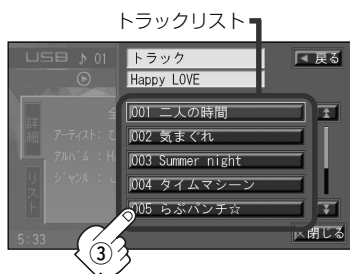
: アーティストリストが表示されます。

- ①再生させたいアーティストをタッチする。



: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

- ③再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。

- ②再生させたいアルバムをタッチする。

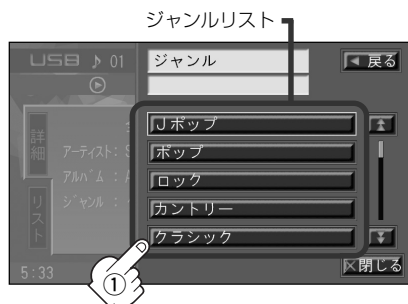


: 選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: ジャンルリストがポップアップ表示されます。

- ①再生させたいジャンルをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリストのポップアップ表示とともに曲が再生されます。

- ②再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



ウォークマン再生時のジャンル(ジャンルリスト)はお客様が入れたものとなります。

■ グループ ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

：グループリストがポップアップ表示されます。

①再生させたいグループをタッチする。



：選択したグループのトラックリストのポップアップ表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチすると再生TOP画面に戻ります。



次ページがある場合 / ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

USBメモリデバイスを使う(7)

USBフラッシュメモリの 再生モードを選択する (MP3/WMA/AAC)

※ウォークマンを接続した場合の再生モードの選択につきましては282～285ページを参照ください。

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

USB TOPモード画面(例)



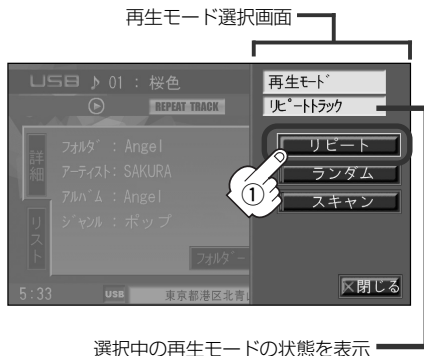
2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン**)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

: リピート再生されます。



- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)

今聞いているフォルダの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT FOLDER マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。



全曲のランダム再生となります。

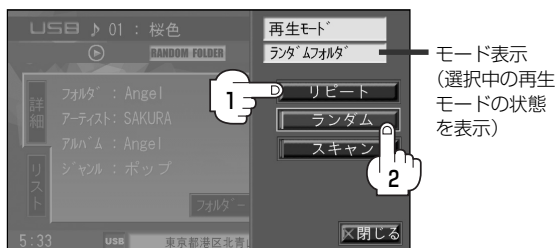
：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。(TOP画面で **RANDOM** マーク表示有)

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。(マーク表示無)
全曲のランダム再生以外にもフォルダのランダム再生をすることができます。(下記)

□ フォルダのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からランダム再生

(TOP画面でマーク表示は **RANDOM FOLDER** となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



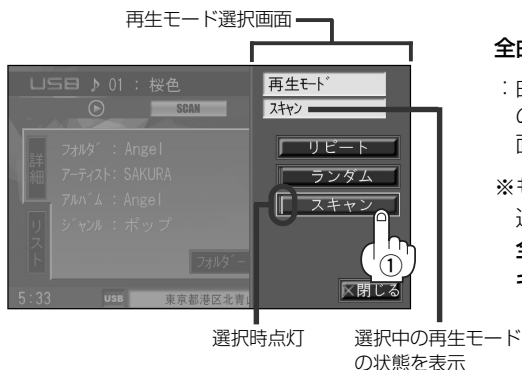
アドバイス

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

USBメモリデバイスを使う(8)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

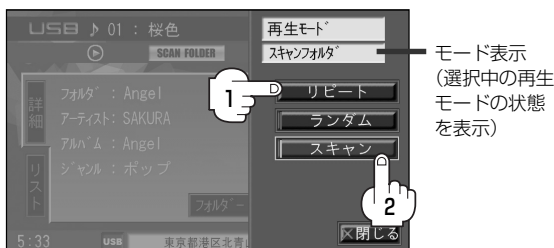
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもフォルダのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ フォルダまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートフォルダにする。

※すでにリピートフォルダ再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートフォルダ”のとき

今聞いているフォルダの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN FOLDER** となります)

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



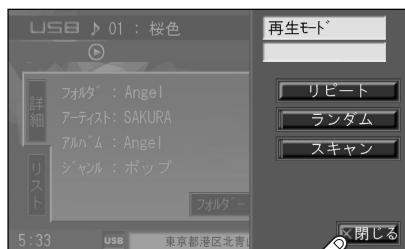
スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：USB TOPモード画面に戻ります。



3



〔USBフラッシュメモリの再生モード選択（スキラン）〕

USB再生



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

USBメモリデバイスを使う(9)

ウォークマンの 再生モードを選択する (OMA)

※USBフラッシュメモリを接続した場合の再生モードの選択につきましては278～281ページを参照ください。

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

USB TOPモード画面(例)



2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン**)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。



選択中の再生モードの状態を表示

：リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)

今聞いているアルバムの
リピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT ALBUM マーク表示有)

今聞いているアーティストの
中からリピート再生

(TOP画面のとき
REPEAT ARTIST マーク表示有)

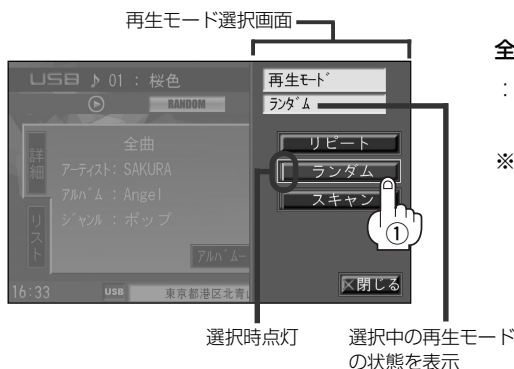
通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)



選曲メニュー( 274ページ)の中で **ジャンル** / **グループ** を選択し、再生させている場合は今聞いているトラックのリピート再生のみとなります。

■ ランダム（順序不同）再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

全曲のランダム再生となります。

：全ての録音曲の中から順序不同で再生します。（TOP画面で **RANDOM** マーク表示有）

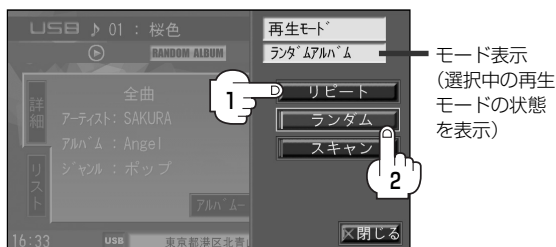
※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。（マーク表示無）

全曲のランダム再生以外にもアルバム／アーティストのランダム再生をすることができます。（下記）

□ アルバムまたはアーティストのランダム再生をするときは…

1. **リピート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリピートアルバムまたはリピートアーティストにする。

※すでにリピートアルバム／リピートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。

2. **ランダム** ボタンをタッチする。

：リピートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リピートアルバム”のとき

今聞いているアルバムの中からランダム再生

（TOP画面でマーク表示は **RANDOM ALBUM** となります）

●再生モードが“リピートアーティスト”のとき

今聞いているアーティストの中からランダム再生

（TOP画面でマーク表示は **RANDOM ARTIST** となります）

※通常再生に戻る場合は **リピート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし（空白）にしてください。（TOP画面でマーク表示無）



アドバイス

- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- 選曲メニュー（P.274ページ）の中で **ジャンル** / **グループ** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのランダム再生はできません。

USBメモリデバイスを使う(10)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。



全曲のスキャン再生となります。

：曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。(TOP画面で **SCAN** マーク表示有)

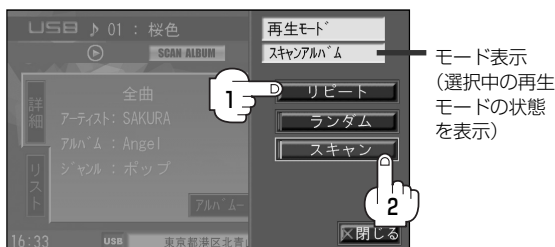
※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチすると通常再生に戻ります。

全曲のスキャン再生以外にもアルバム／アーティストのスキャン再生をすることができます。(下記)

□ アルバムまたはアーティストのスキャン再生をするときは…

1. **リビート** ボタンをタッチしていき、再生モードをリビートアルバムまたはリビートアーティストにする。

※すでにリビートアルバム／リビートアーティスト再生をしている場合は手順1を省略することができます。



2. **スキャン** ボタンをタッチする。

：リビートの再生モードによって下記のように用途が変わります。

●再生モードが“リビートアルバム” のとき

今聞いているアルバムの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN ALBUM** となります)

●再生モードが“リビートアーティスト” のとき

今聞いているアーティストの中からスキャン再生

(TOP画面でマーク表示は **SCAN ARTIST** となります)

※通常再生に戻る場合は **リビート** ボタンをタッチしていき、モード表示をなし(空白)にしてください。(TOP画面でマーク表示無)



アドハイス

●スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

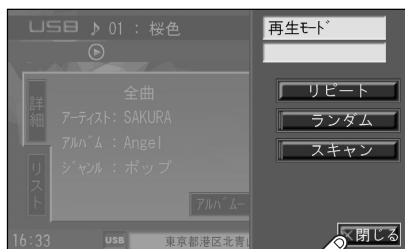
●選曲メニュー(274ページ)の中で **ジャンル** / **グループ** を選択しているときはアルバムまたはアーティストのスキャン再生はできません。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：USB TOPモード画面に戻ります。



3



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

ウォークマンの再生モード選択（スキャン）

USB再生

USBメモリデバイスを使う(11)

好きなフォルダを選ぶ (USBフラッシュメモリの場合)

聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダー** / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



1

好きなアルバムを選ぶ (ウォークマンの場合)

聞きたいアルバムを選ぶことができます。

1 画面の **アルバム** / **アルバム+** ボタンをタッチする。

■ 前のアルバムに戻る場合

アルバム ボタンをタッチする。

■ 次のアルバムに進む場合

アルバム+ ボタンをタッチする。



1

その他

カスタマイズ(Quick)機能について	288
壁紙を表示する	289
システムの設定について	290、291
リアモニターについて(別売)	292
初期設定一覧	293
メッセージ表示について	294、295
故障かな?と思ったら	296~308
個人情報の取り扱い(初期化)について	309
プリセット一覧	310、311
用語説明	312~317
索引	318~320

カスタマイズ(Quick)機能について

オーディオとナビゲーションの各項目選択を1つの画面から操作することができます。

1

各モードのTOP画面で、
画面の **Quick** ボタンをタッチする。

：Quickメニュー画面が表示されます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



2

切り替えたいモードボタンまたは機能(メニュー)ボタンをタッチする。

：選択したモード画面または選択した機能画面が表示されます。

※地図画面(ナビゲーションモード)からカスタマイズソースを選択したときは、地図画面を表示したときに同時起動するモードの選択となります。

例) 地図画面を表示しながらCDを聞く→地図画面を表示しながらFMを聞くなどの切り替えとなります。

Quickメニュー画面(例)

カスタマイズソース

カスタマイズソースの内容(ボタン)は、お好みにあわせて設定しなおすことができます。

「カスタマイズソース(Quick)を設定するには」42、43ページ



カスタマイズメニューナビゲーションモードで使用回数の多い機能を登録しておくことができます。

「別冊の取扱説明書ナビゲーション編205、206ページ

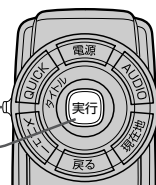


アドハイス

- 次ページがある場合 **次へ** ボタンタッチでつづきを表示します。
- オーディオモードとナビゲーションモードでよく使用するモードボタン／メニューボタンをカスタマイズすることにより、より使いやすくなることができます。
- Digital TVモードの場合 **Quick** ボタンは選択できません。
- Quickメニュー画面のとき、別売のリモコンのカーソルキー(+)はNAVI／AV切替スイッチがAV側にあると使用できません。これはリアモニターの接続(「292ページ)を考慮してリアモニターに表示されるモード(DVD／VTR／Digital TV)のカーソルキー動作を優先させるための仕様となっています。

NAVI／AV切替スイッチ

カーソルキー(+)は使用できません。



壁紙を表示する

選択中モードの情報を一部残し、広範囲を壁紙表示にすることができます。

1

各モードのTOP画面で、
画面の **壁紙切替** ボタン()をタッチする。

：画面中央の情報が消えます。

※映像を表示するモードの場合、本設定はできません。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



再度、画面を表示する場合

画面の **壁紙切替** ボタン()をタッチする。

：消えていた部分が表示されます。



アドバース

- 音声はそのままで全画面を消すこともできます。

 「音声はそのまま、画面を消す」 25ページ

- お好みの画像を壁紙にすることができます。

 「**画像を変える**」 63～65ページ／「**画像を追加する**」 66～68ページ

〔カスタマイズ機能〕／〔壁紙表示〕

その他

システムの設定について

キー操作音のON/OFFやメモリースティックの初期化はシステム設定より変更します。

1

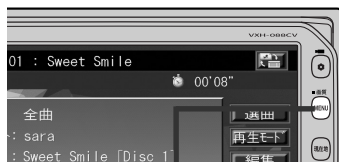
オーディオモード画面でパネルの

[MENU] ボタンを押す。

：AVメニューのAUDIO設定またはシステム設定画面が表示されます。

※すでにシステム設定画面を表示している場合、手順 **2** を省略することができます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



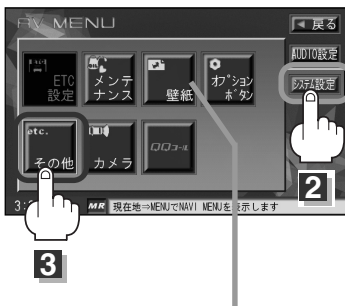
1 **[MENU]** ボタン

2

画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システムの各種設定画面が表示されます。

システム設定画面(例)



3

3

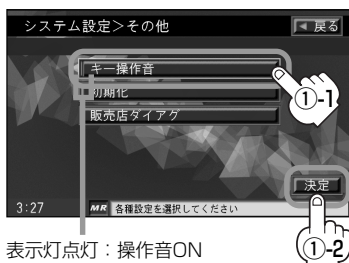
画面の **その他** ボタンをタッチする。

4

キー操作音のON/OFFの設定またはメモリースティックの初期化をします。

■ 操作音をOFFにする場合

- ① **キー操作音** ボタンをタッチし、
決定 ボタンをタッチする。



表示灯点灯：操作音ON
表示灯消灯：操作音OFF

：パネルおよびタッチパネル操作時の“ピッ”という音を消します。

※再び操作音を出すには **キー操作音** ボタンをタッチして表示灯を点灯させ、**決定** ボタンをタッチしてください。

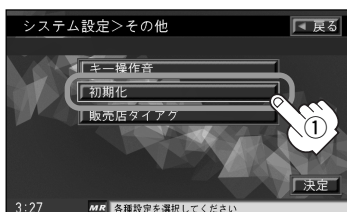
壁紙設定につきましては「[P.63～71](#)」ページを参照ください。

※その他のシステム設定(ETC設定/メンテナンス/オプションボタン/カメラ/QQコール)につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編を参照ください。

- ・ETC設定 [P.228、229](#)ページ
- ・メンテナンス [P.233～236](#)ページ
- ・オプションボタン [P.245、246](#)ページ
- ・カメラ [P.250～255](#)ページ
- ・QQコール [P.256、257](#)ページ

■ メモリースティックの初期化をする場合

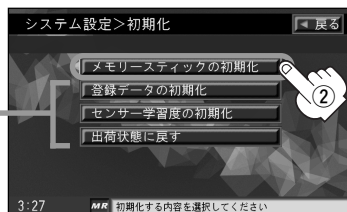
① 初期化 ボタンをタッチする。



：初期化設定画面を表示します。

その他の設定につきましては別冊の
取扱説明書 ナビゲーション編
248、249ページを参照ください。

② メモリースティックの初期化 ボタンをタッチする。



：メモリースティックを初期化しても
いいかどうかのメッセージが表示さ
れるので、画面にしたがって **はい**
ボタンを選択してください。

5 設定を終わるには…

パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



アドバイス

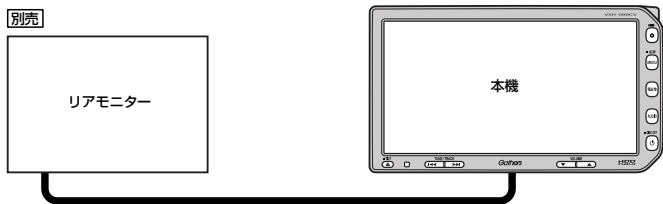
- 手順 **1** で **MENU** ボタンを押したときに表示される画面は、選択しているボタン (**AUDIO設定** / **システム設定**) によって異なります。 **23** ページアドバイス参照
- システム設定画面について
 - ・ **カメラ** ボタンは別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時に表示されます。
 - ・ **QQコール** ボタンは販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

⚠ 注意

- 初期化中は他の操作 (モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを **O (OFF)** にしたり **I (ACC)** の状態から **II (ON)** にしてエンジンを始動したり電源を切ったり) をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **“はい”** を選択すると、お客様の画像データ／音楽データは消去され、二度と復帰しません。
※すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”メディアを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
(メモリースティック内全てのデータが消去されます。)

リアモニターについて(別売)

別売のリアモニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”*などの使い方ができます。
*：DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーションモードとオーディオモードを本機で同時起動した場合のリアモニターとの表示関係について

本機モード		本機に 表示される画面	リアモニターに 表示される画面
ナビ	－	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV (VTR)	ナビ	Digital TV (VTR)
Digital TV (VTR)	－	Digital TV (VTR)	Digital TV (VTR)
DVD	－	DVD	DVD
ナビ	CD／MP3／WMA／ Music Rack／FM／ AM／M.S.／USB	ナビ	表示されません
CD／MP3／WMA／ Music Rack／FM／ AM／M.S.／USB	－	CD／MP3／WMA／ Music Rack／FM／ AM／M.S.／USB	表示されません

※Digital TVを受信している場合、本機からリアモニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。



アドバイス

- オーディオモードを終了(OFF状態)にするとリアモニター側の表示も消えます。
- リアモニターでは映像出力のみを行ないます。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- リアモニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。

初期設定一覧

オーディオ設定

📖 32～51ページ

臨場感

音場選択=OFF

イコライザ設定

音質選択=OFF

スピーカー設定

フロント=LARGE

リア=LARGE

フェード・バランス設定

各項目の調整値=0

録音設定

自動録音(等速リッピング)

高音質モード

カスタマイズソース

Music Rack、CD/DVD、Digital TV、AM、FM

システム設定

📖 63～65、290ページ

画像設定

Brilliant Road

※プリインストールに既存の壁紙30枚あり

その他

キー操作音=ON(表示灯点灯)

映像調整

📖 27～29ページ

明るさ=31(イルミネーションON時は12)

コントラスト=16(DVDモード時は22)

色の濃さ=16

色合い=16

ディスプレイ=フル(TVモード時はワイド)

メニューの配色

📖 30、31ページ

メニュー配色=配色1

透過率=20%

DVD

📖 181、182ページ

ダイナミックレンジ圧縮=OFF

モニター設定=ワイド

視聴制限レベル=制限なし

Digital TV

📖 197～221ページ

視聴エリア=東京都

プリセット登録(**数字**ボタン)=登録済(東京都)

チャンネルスキャン

自宅チャンネルリスト=未登録

お好みチャンネルリスト=未登録

チャンネル表示=なし(何も表示しない)

システム設定

郵便番号設定=未設定

文字スーパー=第1言語

現在地確認表示=表示のみする

受信モード設定=自動切換オン1

(ワンセグを優先的に受信)

アンテナ電源=電源入

メッセージ表示について

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンが違います”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオは、本機では再生できません。	—
“視聴制限により再生できません”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。	177、 182
“入力されたパスワードが間違っています”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	177、 182、 183
“走行中は音声をお楽しみください”	走行中にDVDを再生または“VTR(映像がある場合)” Digital TVを見ようとしたとき。	安全のため停車中のみご覧になることができます。安全な場所に車を停車させてから操作してください。	—
“登録最大件数をオーバーしています。” “録音可能曲数を超過しました。これ以上録音できません。” “録音可能容量を超過しました。これ以上録音できません。” “フォルダに保存できる画像は200個までです。フォルダまたは画像を再選択してください。”	HDDの容量が一杯になったため。	HDD内のデータを削除してから、再度、各操作をしておいてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	●本機で再生できないディスクをいれているとき。 ●CDが逆にセットされているとき。 ●ディスクに汚れ／異常があるとき。 ●ディスクが入っていないとき。 ●音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。	●本機で再生できるディスクを入れてください。 ●ディスクを正しくセットしてください。 ●ディスクの汚れを拭きとってください。 ●別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ●正しいディスクをセットしてください。	—
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
“録音中に電源が落ちたためデータベースの修復を行なっています。時間がかかる場合がありますが、絶対に電源（エンジンスイッチ）を切らないでください。”	録音中に車のエンジンスイッチをO(OFF)やII(ON)にした可能性があります。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源（エンジンスイッチ）を切ってください。復帰しない場合は音楽データの初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のエンジンスイッチを一旦O(OFF)にしてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをI(ACC)またはII(ON)にしてください。	—

参考ページの見方

(例) ナビ2→別冊の取扱説明書 ナビゲーション編2ページ目参照／2→本書の2ページ目参照

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“画像を表示できません。”	●画像サイズが大きすぎるため。 ●壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	●横832×縦496ドット以下の画像ファイルとしてください。 ●画像データを確認してください。 ●ファイル容量を1Mバイト以下としてください。	—
●“録音に失敗しました。” ●“CDを読めませんでした。録音を中止します。”	CDに汚れ、傷があるとき。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	ナビ36
“信号が受信できません。”	放送エリア外にいるとき。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。	223
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
“信号を受信できないため、選択できないメニューがあります。”	放送エリア内にいるが、受信できないとき。	社団法人地上デジタル放送推進協会（D-Pa）で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	放送エリア外にいて、 設定 ボタンタッチでデジタルメニュー画面を表示したとき。	放送エリア外では選択できない場合があります。	—
“このキーにはプリセットの設定がされていません。”	プリセット設定がされていない 数字 ボタン(プリセット呼出ボタン)をタッチしたとき。	チャンネルリスト画面またはプリセット一覧でプリセットを確認してください。	204、310～311
“ICカードの交換が必要です。カスタマーセンターへ連絡してください。”	B-CASカード(ICカード)の故障が考えられるとき。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	189
●“メモリスティックの管理データが読みとれません。対応ソフトに接続し、再度転送してください。”(メモリスティックPRO)	再生中にメモリスティック／ウォークマンを外したとき。	オーディオモードを終了(OFF)状態にし、再接続してからUSB／M.S.モードにしてください。	—
●“デバイスの管理データが読み取れません。対応ソフトと接続し、再度転送してください。”(ウォークマン)	デバイスの管理データファイルがこわれている、または存在しないとき。	一度デバイスをフォーマットし、Sonic Stageなどから転送しなおしてください。	—

「メッセージ表示について」

その他

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

参考ページの見方

(例)

ナビ2→別冊の取扱説明書 本編2ページ目参照

2 →本書の2ページ目参照

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
低温時(0℃以下)に車のエンジンスイッチをⅡ (ON) にすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。 本体の温度が上がると元に戻ります。	—
エンジンスイッチをⅡ (ON) にした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	[音量] ボタン(—/+)で調整してください。	26
	バランス・フェードが片方に寄っている。	バランス・フェードを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	40、 41
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	●本機の使用をやめた ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	メモリースティックが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイ部は閉じません。	—

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ディスクが出ない	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	ナビ 36
メモリースティックを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	メモリースティックに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—

故障かな？と思ったら(2)

モニター

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。 音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が 暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してくだ さい。	27～ 29
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させて ください。	25
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他の モードに切り替えてください。 (VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づ らい。	車両のライティングスイッチが ONになっている。	画面の明るさはイルミに連動します。 (トンネル内など画面が急に暗くなります。) イルミ連動に設定した場合ライトをON にしていると画面は暗くなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無 線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる 場合があります。液晶画面の近くにこ れらを近づけないでください。	—
DVDやテレビな どの映像色や色 合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、 色合いを調整してください。	27～ 29
映像にはん点や しま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュ ア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してく ださい。	—
ディスプレイに 光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有 効画素がありますが、0.01%以 下の画素欠けや常時点灯するもの が生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご 使用ください。	—
リアモニターに CDやMusic Rackなど音楽関 連の画面が表示 されない。	音楽関連の画面は表示されませ ん。	故障ではありません。 リアモニターに表示されるのは映像関 連(DVDやDigital TVなど)となります。	—

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	146
“ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

故障かな？と思ったら(3)

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像がでない。	B-CASカードを挿入していない。	B-CASカードを正しく挿入してください。	189
文字スーパーが出ない。	●文字スーパーのある番組を選局していない。 ●文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。 ●受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で“表示する”に設定してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	215、 219
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。 12セグの場合、バナー表示の  のアイコンが明るく表示されます。	212
受信できない。	エリアを変更していない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	197、 198
	放送エリア内にいない。	地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	アンテナ電源を 電源入 に設定してください。	220、 221
映像が止まったりモザイクがかかる。	セグメントを12セグ固定にしている。	自動切換に設定しておくで受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り換わるため映像が止まりにくくなります。 ※自動切換またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。 その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。	186、 187、 192
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	・ 初期化を行なった ・ 本機の使用を誤った ・ 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

故障かな？と思ったら(4)

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。	—
	字幕がオフになっている。	DVDメニューで設定を変えてください。	164、165
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送信中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	12、 13
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	19
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	177、 182
“⊙” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	振動の生じる場所で使用している。	本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声言語／字幕 言語が切り替わ らない。	再生しているDVDビデオには、 1つの言語しか収録されていない。	複数の言語が収録されていないディス クの場合は、言語を切り替えることは できません。	—
	再生しているDVDビデオが、言 語の切り替えを禁止している。	言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選ん だ音声言語／字 幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録 されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には 切り替えられません。この場合は、デ ィスクに収録されている言語のいすれ かで再生されます。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字 幕を消すことを禁止している。	字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選ん だアスペクト比 にならない。	再生しているDVDビデオに収録 されていないアスペクト比を選 んでいる。	ディスクに収録されていないアスペク ト比には切り替えられません。この場 合は、ディスクに収録されているアス ペクト比のいずれかで再生されます。	—
アングルを切り 替えることがで きない。	再生しているDVDビデオには、 1つのアングルしか収録されてい ない、または、一部の場面にの み、複数のアングルが収録され ている。	複数のアングルが収録されていないデ ィスク／場面では、アングルを切り替 えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、ア ングルの切り替えを禁止している。	アングルを切り替えることはできませ ん。	—
タイトルを選ん で決定(実行)して も、再生が始ま らない。	視聴制限の機能が働いて、本機 がDVDビデオの再生を禁止して いる。	初期設定の視聴制限レベルを確認して ください。	177、 182
視聴制限をして いるのに、再生 が制限されない。	再生しているDVDビデオには、 視聴制限が収録されていない。	視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除 できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが 外国語で表示さ れる。	“メニュー言語” が、外国語に設 定されている。または外国語のみ で収録されている。	“メニュー言語” を日本語に設定すると、 ディスクに日本語が収録されていれば、 DVDメニューが日本語で表示されます。	177、 182
CPRMディスク を再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズ処理してく ださい。	12、13、 153

(故障かな?と思ったら)
その他

故障かな？と思ったら(5)

CD、MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CD、MP3／WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3／WMAが挿入されていない。	CD、MP3／WMAを挿入してください。	—
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音がとんだり音質が悪い。	CD、MP3／WMAの不良。	他のCD、MP3／WMAを聞いてみてください。よくなればCD、MP3／WMAの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと言切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
CD、MP3／WMAが入らない。	結露している。	CD、MP3／WMAを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにCD、MP3／WMAが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているCD、MP3／WMAを取り出してから、次のCD、MP3／WMAを入れてください。	—
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—

CD、MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	—
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。	—
CDのアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデートをしてタイトル情報を更新してください。	56～58

(故障かな?と思ったら)

その他

故障かな？と思ったら(6)

M.S.、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
M.S.、USBの再生画面を表示しない。	メモリースティック未挿入／USBメモリデバイス未接続。	メモリースティックを挿入またはUSBメモリデバイスを接続してください。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	242～ 244、 264～ 266
AACファイルを再生できない。	AACファイルに画像データ(iTuneのアートワークを除く)、映像データが混在しているメモリースティックまたはUSBメモリデバイスを再生しようとした。	AACファイルに画像データ(iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	メモリースティックまたはUSBメモリデバイスに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
ウォークマンでMP3／WMA／AACファイルが再生できない。	ウォークマンで再生できるファイル形式はOMAのみです。	MP3／WMA／AACファイルはUSBフラッシュメモリを使用して再生させてください。	—
		Sonic Stage(ソニー社)／BeatJam(ジャストシステム社)などのアプリケーションを使用してウォークマンに転送してください。	
メモリースティックでOpenMGオーディオ(OMA形式)が再生できない。	専用アプリケーションを使用していない。	Sonic Stage(ソニー社)／BeatJam(ジャストシステム社)などのアプリケーションを使用して転送したメモリースティックPROオーディオを使用してください。	—

M.S.、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
USBメモリデバイスを認識していない。	対応しないUSBメモリデバイスの可能性があります。	別のUSBメモリデバイスで試してください。	264
		本機で対応しているウォークマンはソニー社製ATRAC AD対応のEシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズとなります。	264
メモリースティックの再生が始まらない。	本機で再生できないメモリースティックを挿入している。	再生可能なメモリースティックを挿入してください。	243
	結露している。	メモリースティックを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
メモリースティックPROの再生が始まらない。	M.S.PRO ボタンをタッチしていない。	メモリースティックPROオーディオを再生させるには M.S.PRO ボタンをタッチしてください。	—
メモリースティックを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	メモリースティックに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(7)

Music Rack

録音(REC)／更新／初期化／コピー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	46
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。	—
録音できない。	録音中に車のエンジンスイッチを0 (OFF) したりⅡ (ON) にしたりしてエンジンを始動した。	音楽データ修復 ボタンをタッチしてデータベースの修復を行なってください。	60
	ハードディスクの容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済の曲(アルバム)を削除すると新たに録音できます。	62、109、115、116、121～123
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✓)を消している。)	チェックマーク(✓)を付けてください。	109、114、116、120
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動等でデータに異常が発生した可能性がありますので 音楽データ修復 ボタンをタッチしてデータベースの修復を行なってください。	60
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくおまちください。	—
現在地 ボタンを押しても現在地が表示されない。	画像コピー中。	中止 をタッチしてコピーを止めるか、コピー後に押してください。	—
	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後に押してください。	—

個人情報取り扱い(初期化)について

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護および著作権保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞ 別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「データを初期化(消去)する」248、249ページ
※ナビゲーションに関する登録データや走行状況の学習度の初期化、個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ オーディオに関する設定をそれぞれの設定ヶ所で消去する場合

- 本機にコピーした画像の削除

☞ 「画像を変える」63ページ手順 **3** の②で **全画像削除** を選択決定

- 本機にアップデートしたGracenote データベースのデータの削除

☞ 「Gracenoteデータベースのデータを初期化するには」59ページ手順 **3** で **初期化** を選択決定

- 本機に録音した音楽データの削除

☞ 「音楽データの初期化するには」61ページ手順 **3** で **音楽データ初期化** を選択決定

- 本機に設定した地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除

・ 12+1セグ

☞ 「設定を初期化する」229ページ手順 **4** で **メモリ初期化** を選択決定

・ メモリースティックの初期化

☞ 「システムの設定について」290、291ページ手順 **4** で **初期化** を選択決定

〔故障かな?と思ったら〕
／
〔個人情報の取り扱いについて〕

その他

プリセット一覧

地上デジタルテレビ放送(Digital TV)の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、以下のようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログテレビ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

■ 表のみかた

徳島		お住まいの地域
		プリセット番号
③	NHK総合・徳島	放送局名
2	NHK教育・徳島	
1	四国放送	

※放送局名は放送局側の都合により変更になる場合があります。

(2007年5月現在)

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC札幌 2 NHK教育・札幌 3 NHK総合・札幌 5 STV札幌 6 HTB札幌 7 TVH札幌 8 UHB札幌	1 HBC函館 2 NHK教育・函館 3 NHK総合・函館 5 STV函館 6 HTB函館 7 TVH函館 8 UHB函館	1 HBC旭川 2 NHK教育・旭川 3 NHK総合・旭川 5 STV旭川 6 HTB旭川 7 TVH旭川 8 UHB旭川	1 HBC帯広 2 NHK教育・帯広 3 NHK総合・帯広 5 STV帯広 6 HTB帯広 7 TVH帯広 8 UHB帯広	1 HBC釧路 2 NHK教育・釧路 3 NHK総合・釧路 5 STV釧路 6 HTB釧路 7 TVH釧路 8 UHB釧路	1 HBC北見 2 NHK教育・北見 3 NHK総合・北見 5 STV北見 6 HTB北見 7 TVH北見 8 UHB北見

お住まいの地域	北海道(室蘭)	宮城	秋田	山形	岩手	福島
放送局名	1 HBC室蘭 2 NHK教育・室蘭 3 NHK総合・室蘭 5 STV室蘭 6 HTB室蘭 7 TVH室蘭 8 UHB室蘭	1 TBCテレビ 2 NHK教育・仙台 3 NHK総合・仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送	1 NHK総合・秋田 2 NHK教育・秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合・山形 2 NHK教育・山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 1 TBCテレビ 2 NHK教育・盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 NHK総合・福島 1 TBCテレビ 2 NHK教育・福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 6 福島テレビ 8 仙台放送

お住まいの地域	青森	長野	新潟	石川	福井	富山
放送局名	1 RAB青森放送 2 NHK教育・青森 3 NHK総合・青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 6 HTB函館 8 UHB函館	1 NHK総合・長野 2 NHK教育・長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 NHK総合・新潟 2 NHK教育・新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合・金沢 1 KNB北日本放送 2 NHK教育・金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 NHK総合・福井 2 NHK教育・福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ 8 福井朝日放送	1 KNB北日本放送 2 NHK教育・富山 3 NHK総合・富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	愛知	静岡	三重	岐阜	東京	神奈川
放送局名	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 岐阜テレビ 10 テレビ愛知	1 NHK総合・静岡 2 NHK教育・静岡 4 静岡第一テレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ABCテレビ 10 三重テレビ 10 よみうりテレビ	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 岐阜テレビ 10 テレビ愛知	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレビ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 7 テレビ朝日 8 東京MXテレビ 8 フジテレビジョン 9 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 放送大学

お住まいの地域	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	山梨
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・甲府
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・甲府
	3 群馬テレビ	3 チバテレビ	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	4 YBS山梨放送
	4 テレ玉	4 日本テレビ	3 tvk	4 日本テレビ	3 群馬テレビ	5 テレビ朝日
	4 日本テレビ	5 テレビ朝日	3 テレ玉	5 テレビ朝日	3 チバテレビ	6 UTY
	5 テレビ朝日	6 TBS	4 日本テレビ	6 TBS	4 日本テレビ	6 TBS
	6 TBS	7 テレビ東京	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	5 テレビ朝日	7 テレビ東京
	7 テレビ東京	8 フジテレビジョン	6 TBS	8 フジテレビジョン	6 TBS	8 フジテレビジョン
	8 フジテレビジョン	12 放送大学	7 テレビ東京	9 東京MXテレビ	7 テレビ東京	
	9 東京MXテレビ		8 フジテレビジョン	12 放送大学	8 フジテレビジョン	
	12 放送大学		9 東京MXテレビ		9 東京MXテレビ	
			12 放送大学		12 放送大学	

お住まいの地域	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良	滋賀
放送局名	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・大津
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	3 サンテレビ	3 サンテレビ	3 サンテレビ	4 MBS毎日放送	3 サンテレビ	3 BBCびわ湖放送
	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	5 テレビ和歌山	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	5 KBS京都	5 KBS京都	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	5 KBS京都	5 KBS京都
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	7 テレビ大阪	8 関西テレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	7 テレビ大阪	7 テレビ大阪	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	7 テレビ大阪	8 関西テレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ		8 関西テレビ	10 よみうりテレビ
	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ			9 奈良テレビ	
					10 よみうりテレビ	

お住まいの地域	愛媛	香川	徳島	高知	広島	岡山
放送局名	1 NHK総合・松山	1 NHK総合・高松	1 四国放送	1 NHK総合・高知	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山
	4 南海放送	4 RNC西日本テレビ	3 NHK総合・徳島	4 高知放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ
	4 RNC西日本テレビ	4 MBS毎日放送	3 サンテレビ	6 テレビ高知	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送
	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	4 MBS毎日放送	8 さんさんテレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSKテレビ
	5 愛媛朝日	6 RSKテレビ	5 テレビ和歌山		8 TSS	7 テレビせとうち
	5 広島ホームテレビ	7 テレビせとうち	6 ABCテレビ			8 OHKテレビ
	6 あいテレビ	8 OHKテレビ	7 テレビ大阪			
	7 テレビせとうち	10 よみうりテレビ	8 関西テレビ			
	8 テレビ愛媛		10 よみうりテレビ			

お住まいの地域	島根	鳥取	山口	福岡	熊本	長崎
放送局名	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	1 NHK総合・山口	1 KBC九州朝日放送	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎
	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・福岡	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送
	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	2 NHK教育・山口	2 NHK教育・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎
	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 tysテレビ山口	3 NHK総合・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送
	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	3 OBS大分放送	3 NHK総合・北九州	3 STSサガテレビ	3 RKK熊本放送
			4 KRY山口放送	3 RKK熊本放送	4 KKTくまもと県民	4 NIB長崎国際テレビ
			4 RKB毎日放送	3 STSサガテレビ	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送
			5 yab山口朝日	4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 KKTくまもと県民
			5 FBS福岡放送	5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送	5 NCC長崎文化放送
			7 TVQ九州放送	7 TVQ九州放送	8 TKUテレビ熊本	8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	鹿児島	宮崎	大分	佐賀	沖縄
放送局名	1 MBC南日本放送	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇
	2 NHK教育・鹿児島	1 MBC南日本放送	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・那覇
	3 NHK総合・鹿児島	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	3 RBCテレビ
	3 UMKテレビ宮崎	3 UMKテレビ宮崎	3 OBS大分放送	3 STSサガテレビ	5 QAB琉球朝日放送
	4 KYT鹿児島読売TV	5 KKB鹿児島放送	4 TQSテレビ大分	3 RKK熊本放送	8 沖縄テレビ(OTV)
	4 KKTくまもと県民	6 MRT宮崎放送	4 南海放送	3 NBC長崎放送	
	5 KKB鹿児島放送	8 KTS鹿児島テレビ	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送	
	5 KAB熊本朝日放送		5 OAB大分朝日放送	5 FBS福岡放送	
	6 MRT宮崎放送		5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送	
	8 KTS鹿児島テレビ		7 TVQ九州放送	8 TNCテレビ西日本	

お住まいの地域	鹿児島	宮崎	大分	佐賀	沖縄
放送局名	8 TKUテレビ熊本		8 TNCテレビ西日本	8 TKUテレビ熊本	8 KTNテレビ長崎

用語説明(1)

DTS : Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 CHANNEL

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4:3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。

VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

ID3タグ/WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、IDタグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が追加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

用語説明(2)

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DRM (デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機はWMAのDRMに対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“保護された音楽を録音する(Ver.によって表現が異なる場合があります。)”の項目にチェックを付けないでください。

Joliet (ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

メモリースティック

小型、軽量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

マストストレージクラス

正式名称はUSBマストストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言います。プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行いません。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

マジックゲート

“MagicGate”（マジックゲート）は、ソニー社が開発した、著作権を保護する技術の総称です。対応機器（本機など）と“メモリースティック”の間で、お互いに「記録・再生が正しく行えるか」を確認する認証、およびデータの暗号化が行われます。データの再生時も同様に認証が行われ、認証が成功した場合のみ暗号化以前のデータに戻され（複合化）、再生されます。認証された機器以外では、著作権保護されたデータは再生できません。

OpenMG（オープンエムジー）

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。（本機では再生中に「OMA」マークが表示されます。）

Gracenoteデータベース

Gracenote®は、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴ標記および“Powered by Gracenote” ロゴはグレースノート社の商標です。音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト（ホームページ）です。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ATRAC AD（アトラックエーディー）

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン等で採用されているメディアフォーマットです。Sonic StageやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

PC（パソコン）などで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



用語説明(3)

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

B-CASカード(ICカード)

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。

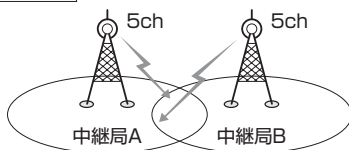
地上デジタルテレビ放送の番組の著作権保護等に利用されていて、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要となります。

MFN方式

MFNとはMultiple Frequency Networkの略です。

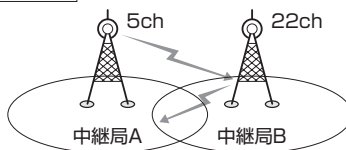
放送中継を用いない(各中継局と周波数を同じにする)SFN方式に対し、MFN方式では放送区域内で中継局の送信チャンネルを複数用いる方法です。

SFN方式



放送波中継を用いないため中継局AとBの周波数を正確にそろえる(伝える)必要があります。

MFN方式



中継局Bでは中継局Aの放送波を受信して別のチャンネルで送信します。

※今までの放送局が受信できなくなった場合でも他のチャンネルにすることにより、その放送局を受信しなおすことが可能です。

 「MFNサーチを実行する」

198ページ

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り換えたりできます。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。

例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、チラツキが少なくなります。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、チラツキが少なくなります。

カスタマイズ

お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

索引(1)

五十音順

え

映像調整27～29

お

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について18

音量調整26

音声はそのまま画面を消す25

音声はそのままナビゲーション画面を
表示する24

か

各部の名称とはたらき(表示部含む)

ラジオ(AM／FM)142、143

CD74、75

Digital TV190～194

DVD154～156

M.S.245～247

MP3／WMA132、133

Music Rack86、87

USB267～269

カスタマイズソース42、43

画像(壁紙)63～71、289

局管理(アルバムリスト編集／
トラックリスト編集)109～121

こ

故障かな？と思ったら296～308

個人情報の取り扱いについて309

さ

再生できるディスク12、13

し

システムの設定

キー操作音のON／OFF290

メモリスティックの初期化291

初期化309

初期設定一覧293

て

テレビ

地上デジタルテレビ放送について186

地上デジタルテレビ放送の番組受信について187

B-CASカードについて188

B-CASカードを入れる／取り出す189

B-CASカードに関するお問い合わせ先 189

データ管理

ローカルアップデート／カスタム

アップデート52～58

(指定Webサイト)45

データベースについて14、15

は

配色を変える30、31

はじめに20、21

ふ

プリセット一覧

(地上デジタルテレビ放送)310、311

め

メッセージ表示294、295

メモリスティック／USBメモリデバイス
について16、17

メモリスティックの

音楽再生について242～244

メモリスティックを使う245～262

よ

用語説明312～317

ら

ラジオ(交通情報含む)142～149

り

リアモニターについて292

アルファベット

A

AUDIO設定

- イコライザ設定……………35～37
- カスタマイズソース ……42、43、288
- スピーカー設定……………38、39

データ管理

- 音楽データの修復……………60
- 音楽データの初期化……………61
- HDD情報……………62
- フェード・バランス……………40、41
- 臨場感……………32～34
- 録音設定(手動／自動の選択)……………46

Gracenoteデータベース

- ローカルアップデート／
カスタムアップデート……………52～58
- データの初期化……………59
- Quickメニュー……………42、43

AVソース画面のモードボタンについて……………22

AVメニュー画面について……………23

B

B-CASカード ……188、189、224、225

C CD

CDプレーヤーを使う……………74～83

D

Digital TVを使う……………190～235

- アンテナ電源の設定……………220、221
- 映像切替……………210
- エラーコードについて……………235
- エリアスキャン……………199
- 音声切換……………211
- 緊急放送を見る……………234
- 自宅チャンネルリスト／お好みチャンネル
リストを呼び出す……………208、209
- 字幕切換……………212
- 現在地確認設定……………216、217
- 視聴エリアの変更
(地方／県域の設定)……………197、198
- 受信可能な放送局および受信レベルを
確認する……………222、223
- 受信モードの設定……………218、219
- 設定の初期化……………229
- 選局する……………202～205
- チャンネルスキャン
(自宅・お好みチャンネルリスト登録／
再スキャン)……………200、201
- チャンネル表示の設定……………213
- バナー表示……………190、191
- データ放送を利用する……………230～232
- 番組の詳細情報を見る……………206、207
- 番組表を見る……………206、207
- 放送局からの情報を見る(ダウンロードを
確認・開始する)……………226～228
- 文字スーパー切換……………215
- 郵便番号設定……………214
- リレーサービスの番組を見る……………233
- 臨時サービスの番組を見る……………233
- B-CASカードテスト……………224、225

DVDビデオについて……………19

DVDプレーヤーについて……………152、153

DVDプレーヤーを使う……………154～175

DVDの初期設定について……………176～183

索引(2)

アルファベット

H HDD

HDDの情報62

M MP3/Music Rack

MP3/WMAについて126~131

MP3/WMAを使う132~139

Music Rack

Music Rackについて47、49

Music Rackを使う86~123

録音方法の手動/自動を選択する46

録音方法/録音音質49~51

Q

Quickメニュー(カスタマイズ機能)

.....42、43、288

U USB(USBオーディオ)

USBメモリデバイスの音楽再生に

ついて264~266

USBメモリデバイスを使う267~286

V

VTR機能を使う238、239

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く)

販売元 株式会社 ホンダ アクセス

〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 三洋電機株式会社

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号